

F 0 4 - 0 2

研究報告 第 4 4 8 号

令和3年度

学力向上の手引き

全国学力・学習状況調査を生かした取組

～自校の課題を捉え、学校全体で取り組むために～

令和4年2月

千葉県総合教育センター

序

令和3年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により、5月27日に2年ぶりに実施されました。

今年度の学校質問紙調査の回答において、千葉県は、「全国学力・学習状況調査の結果の活用状況」が全国と比較して、低い結果となっていました。今後、各学校で分析結果を十分に活用し、学習指導の充実や学習状況の改善に向けた取組をすることが必要です。

そこで、今年度は、「全国学力・学習状況調査結果の学校現場での活用を促すこと」「調査結果を活用することは授業改善や学校経営に役立つことを学校現場に実感してもらえること」を念頭に、本書を作成しました。各教育事務所にも執筆を依頼し、指導主事の方々のアイデアを集めて「課題別実践アイデア例」として掲載しました。

また、校内の全ての先生方に活用していただくため、ページの構成を1ページごと、または見開き2ページとすることで、必要な部分を取り出して印刷しやすくしました。研修や教材研究など様々な場面で活用いただける形となっております。

「Ⅰ部」 令和3年度の調査内容についての概要です。

「Ⅱ部」

1. 令和3年度の調査結果についての概要です。

「教科に関する調査」では、千葉県と全国との平均正答率を表にまとめて比較できるようにしました。また、各校種・教科の結果の経年変化をグラフで示し、それぞれの結果について全国と比較できるようにしました。

「質問紙調査」では、児童生徒質問紙と学校質問紙について、チャート図で千葉県と全国との比較をしています。また、千葉県の特徴を領域別の表にまとめました。

2. 令和3年度の調査結果についての詳細です。

各校種・教科の結果の詳細を、表とグラフにまとめました。また、課題となる設問について、何が課題となっているのか、文部科学省の資料を基にまとめました。自校の結果と比較することで課題をより明確にできます。

「Ⅲ部」 県の分析ツールの活用の仕方についてまとめました。

誤答分析シートや経年分析シートなどの使い方を示しています。校内研修などで全校の先生方が活用し、授業改善に役立てていただけるものです。

「Ⅳ部」 課題別実践アイデア例です。

各教育事務所の指導主事の方々が、全国学力・学習状況調査の結果からみられる課題を基に、現場で役立つアイデア例として作成したものを、まとめました。自校の課題に合わせて活用していただけるものです。

「Ⅴ部」 巻末資料として、児童生徒質問紙調査と学校質問紙調査の結果をまとめました。

小学校及び中学校の回答結果を表にし、千葉県と全国を比較できるようにまとめたものです。自校の結果と比較することで、課題をより明確にできます。

本書作成にあたっては、学習指導課、各教育事務所をはじめ、多くの方々に御協力をいただきました。御協力をいただいた皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。管理職の強いリーダーシップのもと、授業者や担任の先生方だけでなく、全ての先生方が積極的に本書を活用することで、学校全体で課題を見だし、改善に取り組んでいただきたいと思います。そして、子供たちがより一層、笑顔で学校生活を送れるようになることを願っています。

令和4年2月

千葉県総合教育センター 所長 酒井 昌史

目 次

序	1
I 全国学力・学習状況調査の概要	3
1 調査の概要	4
2 令和3年度の具体的な設問例	4
☆全国学力・学習状況調査を活用した学力向上のための取組についてのチェックシート例・・・	6
II 令和3年度 千葉県の調査結果	7
1 結果の概要	8
(1) 教科に関する調査	
①令和3年度教科区分別調査結果（平均正答数及び平均正答率）	
②問題形式別調査結果	
③学校種別・教科別の平均正答率（全国比）の経年変化	
(2) 質問紙調査	
①児童生徒質問紙調査	
②学校質問紙調査	
2 結果の詳細	12
(1) 教科に関する調査	
①小学校国語	
②中学校国語	
③小学校算数	
④中学校数学	
(2) 質問紙調査	
①主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	
②国語科の指導方法に関する取組状況	
算数・数学科の指導方法に関する取組状況	
③全国学力・学習状況調査の結果等の活用に関する取組状況	
III 県の分析ツールの活用について	33
1 分析ツールについて	34
(1) 分析ツールとは	
(2) 分析ツールの入手方法	
(3) 分析ツールの活用場面	
2 4つの分析シートの活用について	36
(1) 教科・質問紙分析シート	
(2) 経年分析シート	
(3) 誤答分析シート	
(4) クロス集計シート	
☆ICTを活用した学習に関する取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・	42
IV 課題別実践アイデア例	43
☆令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例・・・・・・・・	60
V 質問紙調査回答結果集計データ	61
1 児童生徒質問紙調査	62
2 学校質問紙調査	68

I 全国学力・学習状況調査の概要

- 1 調査の概要
- 2 令和3年度の具体的な設問例

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査実施日

令和3年5月27日(木)

(3) 本県の実施状況

公立小学校	756校	第6学年(648校)	第6学年)
公立中学校	363校	第3学年(310校)	第3学年)
合 計	1,119校	(958校)	

※義務教育学校・特別支援学校を含む

※()内は千葉市を除いた数

(4) 調査内容

①教科に関する調査

- ・小学校 国語、算数
- ・中学校 国語、数学

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

2 令和3年度の具体的な設問例

調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基礎的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立てるという視点から、新しい学習指導要領が求める育成を目指す資質・能力を踏まえ、具体的なメッセージとして示すものとなる問題が出題されている。

(1) 小学校国語

具体的な設問例

○【話すこと・聞くこと】調べたことについて、資料を使ってスピーチをする (大問1 津田梅子の紹介)

三 目的や意図に応じ、資料を使って話す問題

【スピーチ】の練習で、資料を使って話す内容として適切なものを選択する問題

- 1 黒丸の印(・)の分布が示すように、教師になった卒業生は、一生懸命に学びました。
- 2 黒丸の印(・)の分布が示すように、教師になった卒業生は、日本のさまざまな地域で働きました。
- 3 黒丸の印(・)の分布が示すように、教師になった卒業生の数は、年ごとに増えていきました。
- 4 黒丸の印(・)の分布が示すように、教師になった卒業生の勤務校は、一部の地域にかたよっていました。

正答率:81.1%



指導改善のポイント

目的や意図に応じて、資料を選択し、聞き手に提示する資料のどの部分に着目してほしいのか、どのような説明を加えると話の内容を分かりやすく伝えられるのか等について検討し、自分の表現に生かすことができるように指導することが大切です。

(2) 小学校算数

具体的な設問例

○【変化と関係】日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること
(大問1 地域めぐり)

(3) 速さを求める除法の式から、商の意味として適切なものを選ぶ問題

正答率:56.0%

道のりと時間		
	道のり (m)	時間 (分)
㊦ インターネット	1600	20
㊧ たけるさんたち	500	7

どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

㊦ インターネット $1600 \div 20 = 80$
㊧ たけるさんたち $500 \div 7 = 71.4 \dots$

上の計算からどのようなことがわかりますか。

1 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、㊦のほうが速い。

2 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、㊧のほうが速い。 … 22.8%

3 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、㊦のほうが速い。 … 6.8%

4 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、㊧のほうが速い。 … 9.4%

(5) 速さと道のりを基に、時間を求める式に表す問題

(正答) <式> $2700 \div 540$

正答率:85.2%

指導改善のポイント

速さを比べる場合には、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、それらの関係を用いたり、単位量当たりの大きさの意味及び表し方を理解し、単位量当たりの大きさを用いて比べたりできるように指導することが大切です。

(3) 中学校国語

具体的な設問例

○【読むこと】文学的な文章を読む
(大問3 「吾輩は猫である」)

三 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する問題

正答率:71.5%

・「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す。

(正答例)

- ・彼は喟然として大息するという
- ・すこぶるおこったようすで背中を逆立てている

指導改善のポイント

文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする力を身に付けるため、「読むこと」の学習過程を意識しながら、例えば、文学的な文章を読んで考えたこと等を記録したり伝え合ったりする言語活動を通して指導することが効果的です。

(4) 中学校数学

具体的な設問例

○【資料の活用】与えられたデータから中央値を求めること
(大問5 資料の散らばりと代表値)

(2) 与えられたデータから中央値を求める問題

正答率:84.4%

下の記録は、ある中学校の男子生徒10人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

43 46 46 52 53 55 56 56 56 57

(単位:回)

(正答) 54(回)

反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

指導改善のポイント

相対度数の必要性や意味を理解するために、大きさの異なる2つ以上の集団のデータについて、その傾向を比較する活動を充実することが大切です。

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上のための取組についてのチェックシート例

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上のための取組を進めるためのチェックシートを例示します。各学校の実態に合わせて活用してください。

No.	チェック項目	☒
調査実施前の取組（前年度末～年度初め）		
1	これまでの調査結果について、学校全体で確認し、課題を明確にした。	
2	教育課程の編成に当たり、これまでの調査結果を参考にした。	
3	教育課程の編成に当たり、これまでの調査内容や質問項目を参考にした。	
4	校内研修等で、前年度までの調査結果を、取組の方針や手立ての構築等の参考にした。	
5	指導改善サイクルについて、県の施策とともに学校全体で確認した。	
調査実施後の取組（結果公表前）		
6	学校全体で教科の調査問題を解き、内容と出題の意図を確認した。	
7	学校全体で質問紙調査の質問項目を読み合わせ、各質問紙の内容を確認した。	
8	学校全体で児童生徒の解答を確認した。または、採点した。	
9	校内研修等で、問題及び解説資料を基に指導改善のための話し合いを行った。	
結果公表後の取組（分析について）		
10	文部科学省からの結果データを速やかにダウンロードし、保管している。	
11	報告書や授業アイデア例など、文部科学省からの資料を学校全体で共有している。	
12	教科に関する調査の結果について全国や県と比較し、分析結果を学校全体に周知している。	
13	各質問紙調査の結果について全国や県と比較し、分析結果を学校全体に周知している。	
14	県の分析ツールを総セの Web サイトからダウンロードし、分析シートを作成した。	
15	印刷した分析シートと文部科学省からの資料は、活用しやすいように保管されている。	
16	「教科・質問紙分析シート」を基に分析し、課題を学校全体で共有し、改善方を検討した。	
17	「経年分析シート」を基に分析し、課題を学校全体で共有し、改善方を検討した。	
18	「誤答分析シート」を基に分析し、課題を学校全体で共有し、改善方を検討した。	
19	「クロス集計シート」を基に分析し、課題を学校全体で共有し、改善方を検討した。	
20	分析シートの活用の仕方について、「学力向上の手引き」を参考にした。	
指導改善についての取組		
21	「思考し、表現する力」を高める「実践モデルプログラム」を基に指導改善を行った。	
22	県教育委員会が作成した「授業改善のリーフレット」を指導改善の参考にした。	
23	「学力向上の手引き」の「課題別実践アイデア例」を指導改善の参考にした。	
24	教科指導について関係する学年間で課題を共有し、学年に応じた手立てを講じた。	
25	教科指導について検討した改善方を基に授業を実践した。	
26	各質問紙の結果を基に課題を学校全体で検討し、授業改善を行った。	
27	検討した改善方を基にした授業実践を評価し、改善点を話し合った。	
28	過去の調査問題を活用し、児童生徒の実態把握を行った。	
29	S-P 表を活用し、実態に即した指導の充実を図った。	
30	各質問紙の結果を基に課題を学校全体で検討し、学校経営に生かした。	
31	保護者や地域の人との学校教育活動への協力・連携を進めるため、調査結果の提供を行った。	
32	保護者や地域の人と協力・連携して、検討した改善方を活用した取組を行った。	
調査に関連する資料について		
33	調査問題を、校内研修や授業づくり、または授業を行う中で活用している。	
34	調査問題を、教材やテスト、児童生徒への課題作成の参考にしている。	
35	調査に関連する資料をファイルし、全職員が積極的に活用している。	

Ⅱ 令和３年度 千葉県の実施結果

- 1 結果の概要
- 2 結果の詳細

1 結果の概要

(1) 教科に関する調査

①令和3年度教科区分別調査結果(平均正答数及び平均正答率)

※平均正答数及び平均正答率の上段(白)は、千葉県(千葉市を含む)、()内は、千葉県(千葉市を除く)
下段(網掛け)は、全国(公立)を示す。

小学校	平均正答数	平均正答率(%)	中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語 〈全14問〉	9.0 (9.0)	65 (64)	国語 〈全14問〉	9.1 (9.0)	65 (64)
	9.1	64.7		9.0	64.6
算数 〈全16問〉	11.3 (11.2)	70 (70)	数学 〈全16問〉	9.0 (8.9)	56 (56)
	11.2	70.2		9.1	57.2

*文部科学省からの発表に基づき、平成28年度からは、県の平均正答率について、小数点以下を四捨五入した結果を示す。

②問題形式別調査結果

※網掛けは、課題となる設問を示す。

※平均正答率が高いまたは低い設問と無解答率10%以上の設問の一部を抽出

※表中の「形式」において、選択式は「選」、短答式は「短」、記述式は「記」と表示している。

教科 区分	全国との比較		問題番号	形式	問題の趣旨
小学校 国語	正 答 率	1.7 ポイント高	2 一	選	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する
		10.7 ポイント高	3 三 (1) ウ	短	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
		1.5 ポイント低	2 四	記	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する
		4.2 ポイント低	3 二	記	目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する
小学校 算数	正 答 率	2.6 ポイント高	2 (1)	短	三角形の面積の求め方について理解している
		1.3 ポイント高	2 (2)	選	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる
	無 解 答 率	1.1 ポイント高	3 (4)	記	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる
		1.4 ポイント高	4 (3)	記	小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して基準量を 1 としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる
中学校 国語	正 答 率	1.5 ポイント高	3 一	選	文脈の中における語句の意味を理解する
		1.6 ポイント高	4 二	選	事象や行為などを表す多様な語句について理解する
		1.4 ポイント低	2 一	選	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く
中学校 数学	正 答 率	0.3 ポイント高	3	選	扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している
		0.8 ポイント高	6 (1)	短	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる
	無 解 答 率	5.1 ポイント高	6 (3)	記	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる
		5.3 ポイント高	8 (3)	記	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる

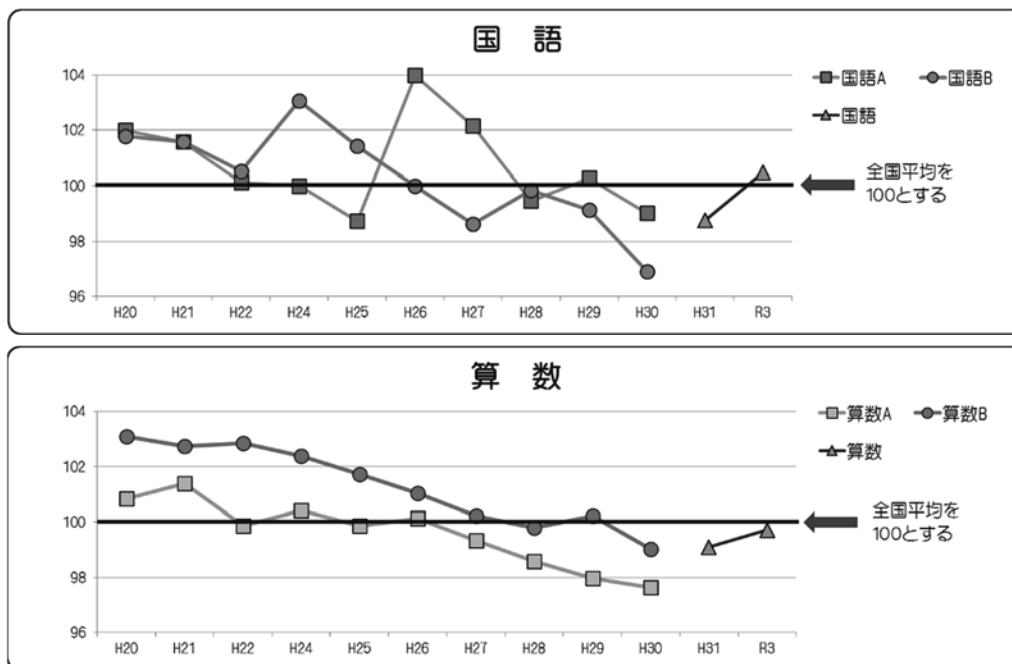
1 結果の概要

③学校種別・教科別の平均正答率(全国比)の経年変化

平成31年度の結果と比較すると、令和3年度の平均正答率は、全ての学校種・教科において、全国との差が改善されました。また、国語については、小学校、中学校ともに全国平均を上回りました。

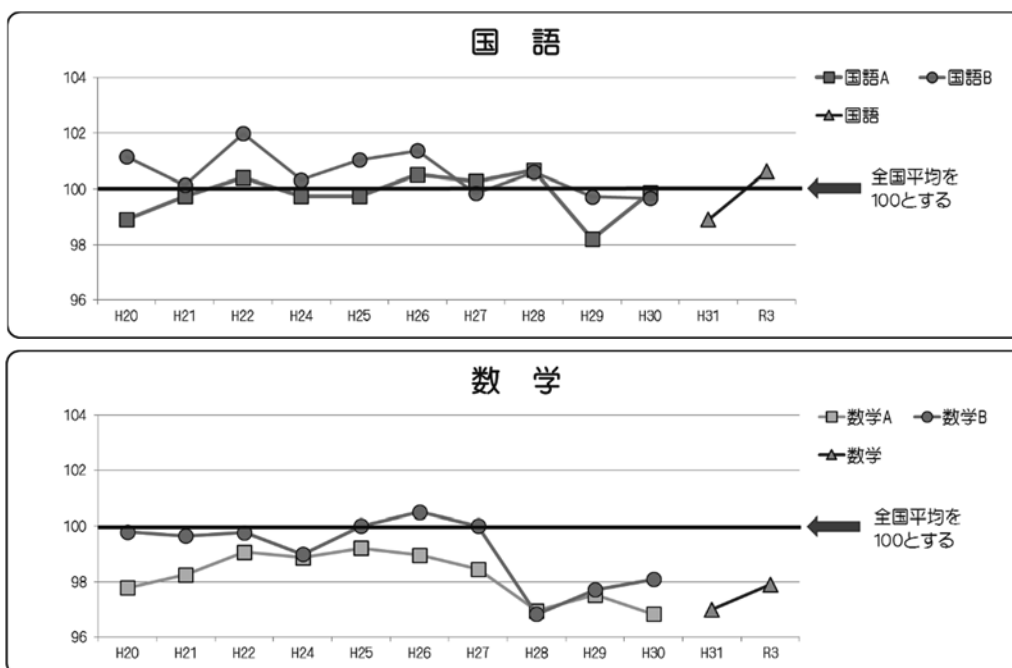
小学校における平均正答率の経年変化

※平成31年度（令和元年度）からは、A、B問題を一体化して出題



中学校における平均正答率の経年変化

※平成31年度（令和元年度）からは、A、B問題を一体化して出題



1 結果の概要

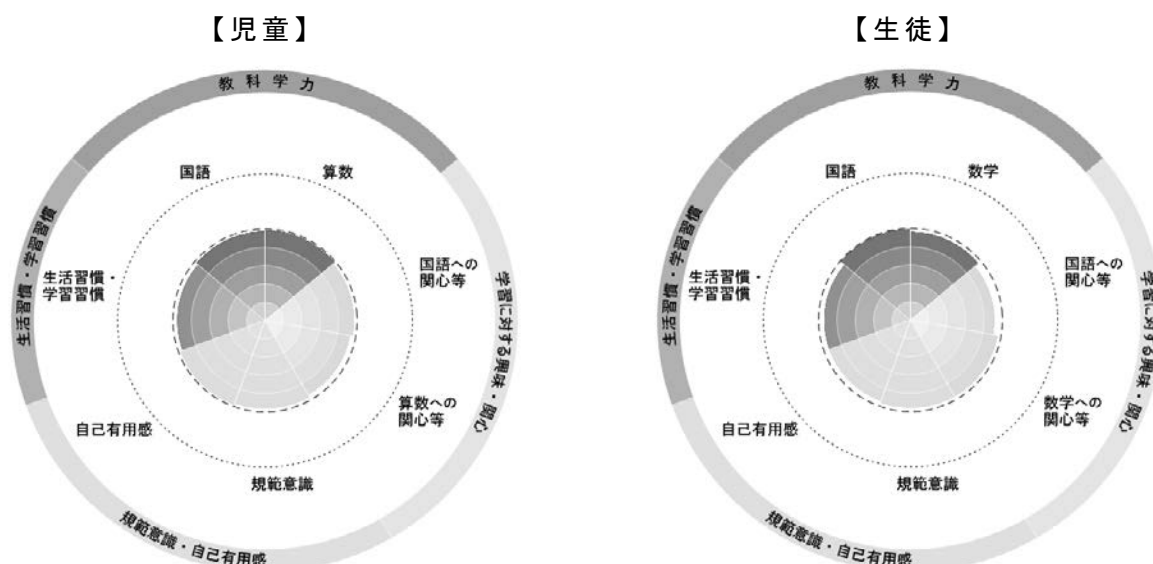
(2) 質問紙調査

※チャート図は、千葉県の実験結果について、全国を母集団として標準化したものである。内側の破線が全国平均を表している。
※◇は成果を、◆は課題を示している。

①児童生徒質問紙調査

千葉県は多くの項目で、肯定的な回答の割合が、全国に比べ低くなっている。
領域別に見ると、「国語への関心等」は、生徒の肯定的回答が全国に比べいずれの項目でも低く、「算数・数学への関心等」は、児童の肯定的回答が全国に比べいずれの項目でも低くなっている。「規範意識」は、児童生徒ともに全国に比べ低い項目が多くなっている。「自己有用感」は、生徒が全国に比べ低く、「生活習慣・学習習慣」は、児童生徒ともに全国に比べ全ての項目において低くなっている。

〈児童生徒質問紙調査と教科の結果〉



領域名		対応する質問番号	成果と課題
学習に対する 興味・関心	国語への関心等	児生 43～46	◇「数学への関心等」は全国より高い項目がある。
	算数・数学への関心等	児生 52～55	◆「国語への関心等」「算数への関心等」は、児童生徒ともに、全国に比べ低い項目が多い。
規範意識・ 自己有用感	規範意識	児生 10～12	◇「規範意識」は、85%以上の児童生徒が肯定的な回答をしている。
	自己有用感	児生 6、7	◆生徒の「自己有用感」は、全国に比べ低くなっている。
生活習慣・学習習慣		児生 1～3、17	◇「朝食を毎日食べている」の質問には、90%以上の児童生徒が肯定的な回答をしている。 ◆「生活習慣」・「学習習慣」は、児童生徒ともに全国に比べ低くなっている。

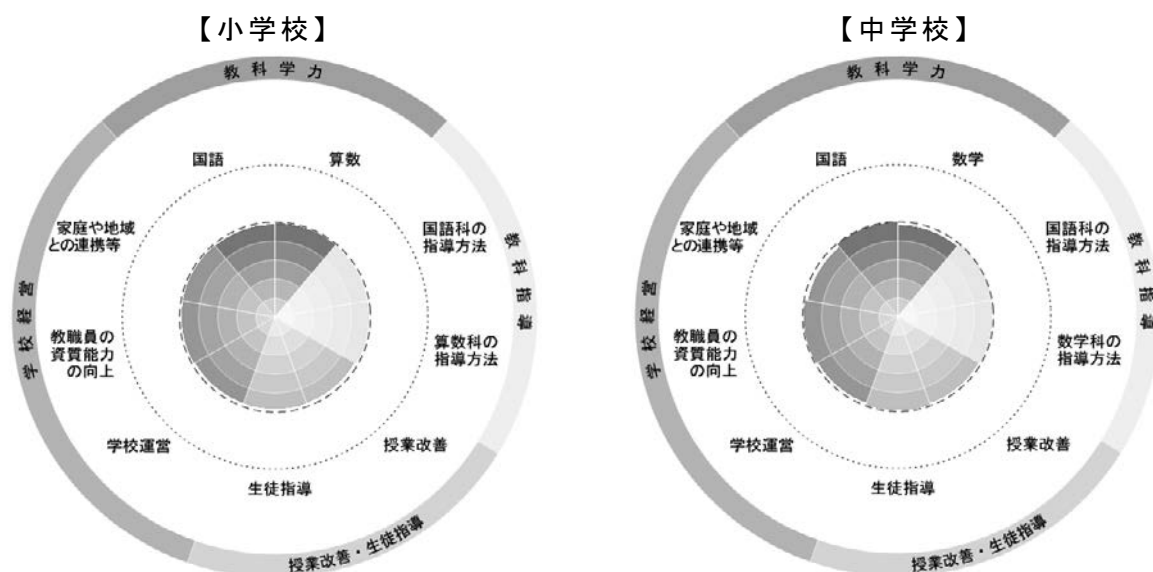
※表中の「対応する質問番号」において、児童質問紙は「児」、生徒質問紙は「生」と表示している。

1 結果の概要

②学校質問紙調査

千葉県は、多くの項目で肯定的な回答の割合が、全国に比べ低くなっている。
 領域別に見ると、「国語科の指導方法」は、小学校、中学校ともに全国に比べ高い項目があるが、「算数・数学の指導方法」は、全ての項目において小学校、中学校ともに全国に比べ低くなっている。「授業改善」は、全ての項目において小学校、中学校ともに全国に比べ低くなっている。「教職員の資質能力の向上」は、校内研修についての項目で小学校、中学校ともに全国に比べ低くなっているものが多い。「家庭や地域との連携」は、小学校は全国に比べ高い項目があるが、中学校は全ての項目において全国に比べ低くなっている。

〈学校質問紙調査と教科の結果〉



領域名		対応する質問番号	成果と課題
教科指導	国語科の指導方法	小中 49～54	◇国語の授業において、補充的・発展的な学習の指導を行った中学校の割合は全国に比べ高くなっている。 ◆国語の授業において、「目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業」を行った小学校、中学校の割合は全国に比べ低くなっている。 ◆算数の授業において「数量や図形について実感を伴った理解をする活動」を行った小学校と、「数学の授業において、数量や図形などの性質を見いだす活動」を行った中学校の割合が全国に比べ低くなっている。
	算数科・数学科の指導方法	小中 55～60	
授業改善・生徒指導	授業改善	小中 29、36、37	◇「授業中の私語が少なく、落ち着いている」と回答した中学校は全国に比べ高くなっている。 ◆「授業改善」に関する項目は、小学校、中学校ともに全国に比べ低くなっている。
	生徒指導	小中 7～11	
学校経営	学校運営	小中 16、18～21、91	◇「各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加」する教員の割合は、小学校、中学校とも全国に比べ高くなっている。 ◆全国学力・学習状況調査の結果を分析し、「具体的な教育指導の改善や指導計画等」へ反映させている割合は、小学校、中学校ともに全国に比べ低くなっている。 ◆「保護者や地域の人との協働による活動」を行ったと回答した割合は、小学校、中学校ともに全国に比べ低くなっている。
	教職員の資質能力の向上	小中 17、22～28	
	家庭や地域との連携等	小中 80～84	

※表中の「対応する質問番号」において、小学校質問紙は「小」、中学校質問紙は「中」と表示している。

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

① 小学校国語

ア 平均正答率

▼：全国の平均正答率を下回るもの

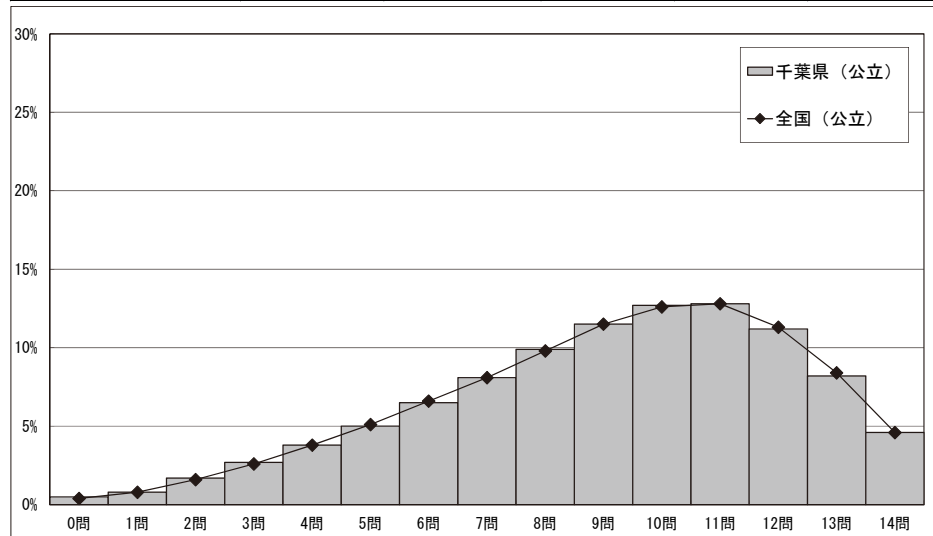
対象学校数		千葉県（公立）	全国（公立）	対象児童数	千葉県（公立）	全国（公立）
		756	18,857		49,600	993,975

分類		区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）	
				千葉県（公立）	全国（公立）
全体			14	65	64.7
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	6	68.9	68.3
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0		
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0		
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	▼77.6	77.8
		B 書くこと	2	▼58.4	60.7
		C 読むこと	3	▼46.8	47.2
評価の観点		知識・技能	6	68.9	68.3
		思考・判断・表現	8	▼61.3	62.1
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	8	▼71.2	71.7
		短答式	3	73.4	70.6
		記述式	3	▼37.9	40.2

イ 正答数の分布

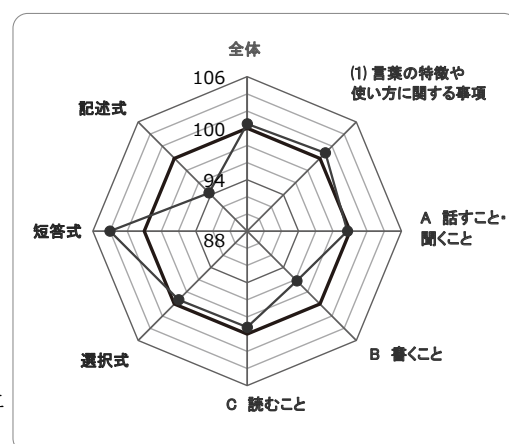
	児童数	平均正答数	平均正答率（％）	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	49,600	9.0 / 14	65	9.0	3.1
全国（公立）	993,975	9.1 / 14	64.7	9.0	3.1

横軸：正答数
縦軸：児童の割合



ウ 指数

※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。



小学校・国語		
	全体(活用)	100.5
領域	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	100.9
	(2) 情報の扱いに関する事項	
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	
	A 話すこと・聞くこと	99.7
問題形式	B 書くこと	96.2
	C 読むこと	99.2
	選択式	99.3
	短答式	104.0
	記述式	94.3

2 結果の詳細

Ⅰ 各設問の結果

※ : 課題となるもの

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等				千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	
			(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと								
1ー	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する	目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える				5 6 イ			思 判 表	選 択	76.6	77.5	-0.9	0.3	0.3	0.0
1二	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選択する	資料を用いた目的を理解する				5 6 ウ			思 判 表	選 択	75.1	74.9	0.2	0.5	0.4	0.1
1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の「」の部分で話す内容として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、資料を使って話す				5 6 ウ			思 判 表	選 択	81.1	81.0	0.1	0.5	0.4	0.1
2ー	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する						5 6 ア	思 判 表	選 択	79.3	77.6	1.7	0.4	0.4	0.0
2二	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う	5 6 オ						知 技	選 択	87.4	87.5	-0.1	0.4	0.3	0.1
2三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける				5 6 ウ			思 判 表	記 述	33.0	34.4	-1.4	4.3	4.1	0.2
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する						3 4 ウ	思 判 表	記 述	28.2	29.7	-1.5	5.9	5.5	0.4
3ー	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する	自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える				5 6 イ			思 判 表	選 択	64.3	64.8	-0.5	2.2	2.1	0.1
3二	丸山さんの【文章の下書き】の「」部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す	目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する				5 6 ウ			思 判 表	記 述	52.4	56.6	-4.2	10.1	9.6	0.5
3三(1)ア	丸山さんの【文章の下書き】の中の「」部アを、漢字を使って書き直す(こががっている)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5 6 エ						知 技	短 答	78.9	78.3	0.6	9.8	8.8	1.0
3三(1)ウ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「」部ウを、漢字を使って書き直す(つみ重ね)		5 6 エ						知 技	短 答	65.1	54.4	10.7	11.7	14.4	-2.7
3三(1)エ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「」部エを、漢字を使って書き直す(げんいん)		5 6 エ						知 技	短 答	76.1	79.0	-2.9	7.2	6.6	0.6
3三(2)イ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「」部イで、「残されています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係をつかむ	3 4 力						知 技	選 択	63.7	67.0	-3.3	3.8	3.8	0.0
3三(2)オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「」部オで、「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係をつかむ	3 4 力						知 技	選 択	42.1	43.6	-1.5	4.0	4.1	-0.1

※評価の観点について 「知識・技能」:「知技」
「思考・判断・表現」:「思判表」

才 課題のある設問

(学習指導要領)〔第5学年及び第6学年〕思考力、判断力、表現力等 B 書くこと ウ

誤答を解答類型別にみてみましょう！

解 答 類 型		反 応 率 (%)
3	条件①a(意見)、①b(理由)の両方は満たしているが、②は満たしていないもの 【西田さんの話】を用いて詳しく書き直そうとしている丸山さんの意図を捉えることができていないと考えられます。	全 国 12.0 千葉県 11.2 自校 ()
4	条件①a(意見)、②は満たしているが、①b(理由)は満たしていないもの 詳しく書き直すために、反対する理由を明確にして書こうとしている丸山さんの意図を捉えることができていないと考えられます。	全 国 11.8 千葉県 14.2 自校 ()
5	条件①a(意見)は満たしているが、①b(理由)、②は満たしていないもの 詳しく書き直すために、【西田さんの話】を用いながら、反対する理由を明確にして書こうとしている丸山さんの意図を捉えることができていないと考えられます。	全 国 7.3 千葉県 9.2 自校 ()

目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように詳しく書く力を付けるには

- 「自分の**考え**」
- 「(自分の考えを支える) **理由**」
- 「(客観的な事実に裏付けられた) **事例**」

**これらの関係性が明確かを確かめ、
自分の考えを深めることができる
ように指導すると効果的です！**

2 結果の詳細

オ 課題のある設問

3三(2)イ オ (趣旨) 文の中における主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係を捉えることができるかどうかをみる。

(学習指導要領)〔第3学年及び第4学年〕知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 カ

(2)
イ

全国と千葉県との比較

正答率(%)

全 国	67.0
千葉県	63.7
自 校	

4 かたづけられずに

③ 一輪車が

2 使っていた

1 みんなが

イ「残されています」の主語として適切なもの
イ時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。

(2) 丸山さんは、——部イとオについて、言葉の使い方を確認しています。

三 丸山さんは、「文章の下書き」を読み返しています。次の(2)の問いに答えましょう。

主語と述語との関係を捉えることに課題！

【解答類型4】主語が文の中で「何が／だれが」を表す言葉であることを理解できていない。

解答 類型	反応率(%)		
	全 国	千葉県	自 校
1	4.6	5.0	
2	4.0	4.8	
4	20.3	22.5	

(2)
オ

全国と千葉県との比較

正答率(%)

全 国	43.6
千葉県	42.1
自 校	

4 むずかしい

③ かたづける

2 遊具を

1 遊び終わったら

オ「すぐに」はどの言葉をくわしくしているか
オ その他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあるでしょう。

修飾と被修飾の関係を捉えることに課題！

【解答類型1】文の中でどの語句に係るかを理解できていない。

解答 類型	反応率(%)		
	全 国	千葉県	自 校
1	30.1	31.0	
2	18.7	19.7	
4	3.3	3.0	

主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解するには

- 主語と述語、修飾と被修飾との関係に気を付けて文を整える
- 読み手の立場で、主語を省略せずに示す、主語と述語のねじれがないかチェックする
- 修飾語は離れた語句を修飾する場合があることも理解できるようにする



「B書くこと」の「推敲」との関連を図ることも効果的です！

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

② 中学校国語

ア 平均正答率

▼：全国の平均正答率を下回るもの

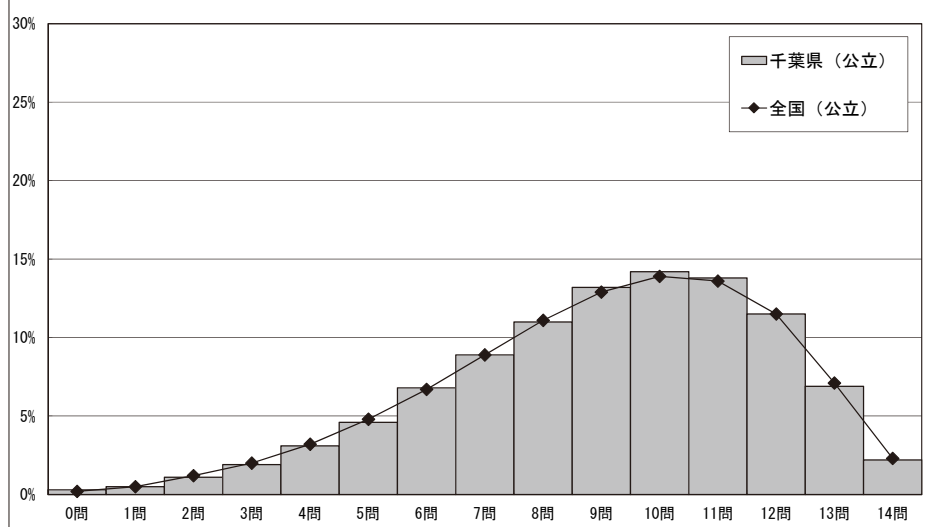
対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	千葉県（公立）	全国（公立）
	363	9,319		44,577	903,157

分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）	
			千葉県（公立）	全国（公立）
全体		14	65	64.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	79.9	79.8
	書くこと	3	▼56.2	57.1
	読むこと	4	49.5	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	▼74.7	75.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	56.0	56.0
	話す・聞く能力	3	79.9	79.8
	書く能力	3	▼56.2	57.1
	読む能力	4	49.5	48.5
	言語についての知識・理解・技能	4	▼74.7	75.1
問題形式	選択式	6	64.5	63.9
	短答式	4	▼73.7	74.4
	記述式	4	56.0	56.0

イ 正答数の分布

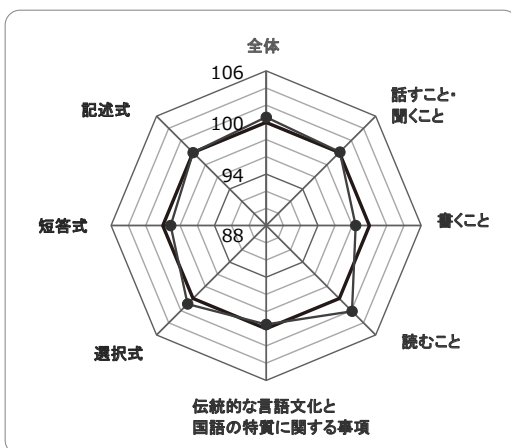
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	44,577	9.1 / 14	65	9.0	2.8
全国（公立）	903,157	9.0 / 14	64.6	9.0	2.8

横軸：正答数
縦軸：生徒の割合



ウ 指数

※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。



中学校・国語		
	全体(活用)	指数
領域	話すこと・聞くこと	100.1
	書くこと	98.4
	読むこと	102.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	99.5
問題形式	選択式	100.9
	短答式	99.1
	記述式	100.0

2 結果の詳細

工 各設問の結果

※ : 課題となるもの

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝達的な言語文化と国語の特質に関する事項			千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	1才				話聞	選択	89.9	89.7	0.2	0.3	0.2	0.1
1二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1工				話聞	選択	92.7	92.5	0.2	0.4	0.2	0.2
1三	参加者の誰がどのようなことについて発言するとういこと、そのように考えた理由を書く	話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える	1才				関意話聞	記述	57.2	57.1	0.1	4.1	3.4	0.7
2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く		2工			書	選択	23.4	24.8	-1.4	0.3	0.3	0.0
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える		2才			関意書	記述	73.0	74.5	-1.5	9.8	8.5	1.3
3一	「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア		読	選択	45.2	43.7	1.5	0.4	0.4	0.0
3二	「喝采してやる」と「とった」のそれぞれについて、誰の動作なのかを選択する	場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			1ウ		読	選択	60.1	58.7	1.4	0.5	0.4	0.1
3三	「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ		読	短答	71.3	71.0	0.3	8.1	7.3	0.8
3四	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ			1才		関意読	記述	21.7	20.5	1.2	26.1	24.1	2.0
4一①	漢字を読む(伸ばして)	文脈に即して漢字を正しく読む				2(1)ウ(7)	言語	短答	97.3	97.5	-0.2	1.6	1.5	0.1
4一②	漢字を読む(詳細)					2(1)ウ(7)	言語	短答	88.7	88.8	-0.1	2.4	2.3	0.1
4二	「随時」の意味として適切なものを選択する	事象や行為などを表す多様な語句について理解する				1(1)イ(7)	言語	選択	75.6	74.0	1.6	1.2	1.1	0.1
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	相手や場に応じて敬語を適切に使う				2(1)イ(7)	言語	短答	37.4	40.3	-2.9	2.2	1.7	0.5
4四	事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く		2ウ			関意書	記述	72.1	71.9	0.2	10.0	9.7	0.3

※評価の観点について

「国語への関心・意欲・態度」:「関意態」
「話す・聞く能力」:「話聞」
「書く能力」:「書」
「読む能力」:「読」
「言語についての知識・理解・技能」:「言語」

2 結果の詳細

才 課題のある設問

3 四 (趣旨) 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

(学習指導要領)〔第1学年〕C 読むこと 才

全国と千葉県との比較

正答率(%)	
全 国	20.5
千葉県	21.7
自 校	

無解答率(%)	
全 国	24.1
千葉県	26.1
自 校	

3 文学的な文章を読む(「吾輩は猫である」)

引用と、引用から分かること

自分の考え +

【解答類型1】(正答)

「吾輩」は「黒」を「はなはだ御しやすい猫」と評価しており、単純で扱いやすいと思いつながり接している。「黒」とどのように接したら面倒なことになるかを考えている感じがして、とても感心した。

条件1 「文章の一部」から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

四 (「紹介」に「様々に評価する」とありますが、「文章の一部」では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

正答率がとても低いことと、無解答率が高いことが課題!

誤答を主な解答類型別にみてみましょう!

	解 答 類 型	反 応 率 (%)
2	「吾輩」の「黒」への接し方について、 自分の考えを具体的に示すことができていない。	全 国 2.1 千葉県 2.1 自校 ()
3	引用した表現から「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを示すことができていない。	全 国 0.3 千葉県 0.3 自校 ()
4	「黒」を評価している表現を 適切に引用していない 、または 引用していない 。	全 国 44.6 千葉県 42.6 自校 ()

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつには

「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して**理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりする。**



その上で、改めて**自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返る**ことで自分の考えを確かなものにする。

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

③小学校算数

ア 平均正答率

▼：全国の平均正答率を下回るもの

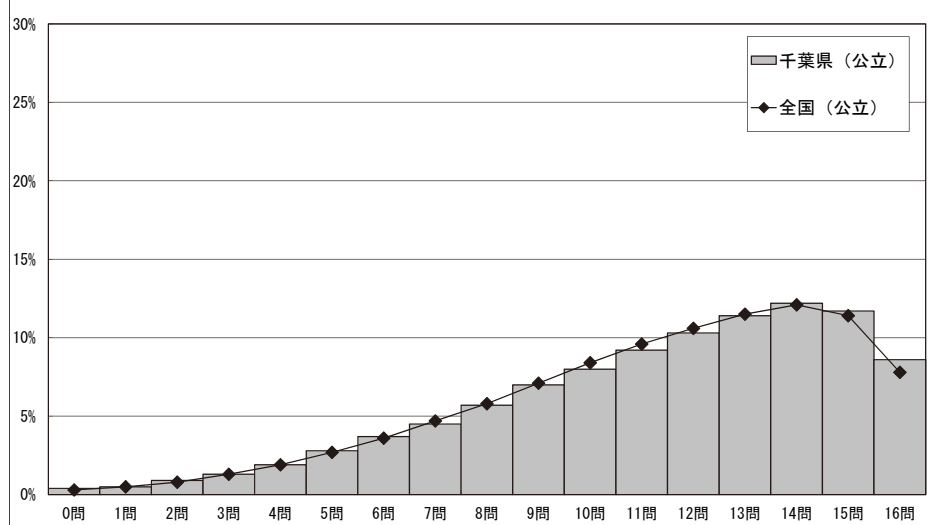
対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象児童数	千葉県（公立）	全国（公立）
	756	18,854		49,592	994,101

分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）	
			千葉県（公立）	全国（公立）
全体		16	▼ 70	70.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	4	▼62.9	63.1
	B 図形	3	59.0	57.9
	C 測定	3	▼74.6	74.8
	C 変化と関係	3	76.3	75.9
	D データの活用	5	76.0	76.0
評価の観点	知識・技能	9	74.8	74.1
	思考・判断・表現	7	▼64.8	65.1
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	6	76.4	76.0
	短答式	6	76.5	75.8
	記述式	4	▼52.3	53.0

イ 正答数の分布

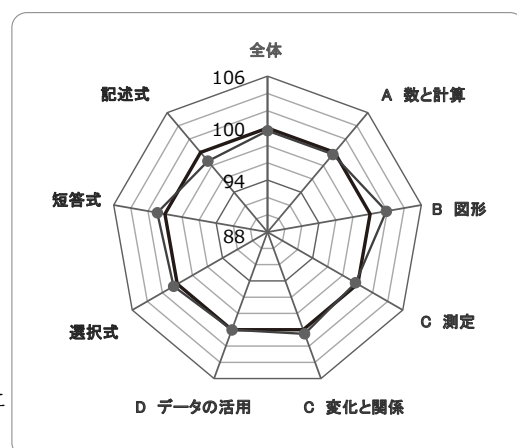
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	49,592	11.3 / 16	70	12.0	3.5
全国（公立）	994,101	11.2 / 16	70.2	12.0	3.5

横軸：正答数
縦軸：児童の割合



ウ 指数

※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。



小学校・算数		
領域	全体(活用)	99.7
	A 数と計算	99.7
	B 図形	101.9
	C 測定	99.7
	C 変化と関係	100.5
	D データの活用	100.0
問題形式	選択式	100.5
	短答式	100.9
	記述式	98.7

2 結果の詳細

Ⅱ 各設問の結果

※ : 課題となるもの

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用			千葉県 (公立)	全国 (公立)	全国との差	千葉県 (公立)	全国 (公立)	全国との差
1 (1)	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる	1(2) ア(イ) 3(2) ア(イ) *		2(1) ア(ア)			思 判 表	記 述	60.6	62.5	-1.9	1.8	1.7	0.1
1 (2)	500mを歩くのに7分かか ることを基に、1000mを歩く のにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる				5(1) イ(ア) 5(2) イ(ア)		思 判 表	短 答	86.9	86.7	0.2	1.9	1.7	0.2
1 (3)	㊦と㊧の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	速さを求める除法の式と商の意味を理解している				5(2) ア(ア)		知 技	選 択	56.3	55.8	0.5	1.6	1.4	0.2
1 (4)	午後1時35分から50分後の時刻を書く	条件に合う時刻を求めることができる			3(2) ア(イ)			知 技	短 答	89.5	89.2	0.3	0.8	0.7	0.1
1 (5)	分速540mのバスが2700mを進むにかかる時間を求める式を書く	速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる				5(2) ア(ア)		知 技	短 答	85.9	85.1	0.8	1.6	1.5	0.1
2 (1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	三角形の面積の求め方について理解している		5(3) ア(ア)				知 技	短 答	57.7	55.1	2.6	1.6	1.6	0.0
2 (2)	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる		5(3) ア(ア)	1(1) ア(イ)			知 技	選 択	73.8	72.5	1.3	1.1	1.0	0.1
2 (3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方捉えて、面積の求め方と答えを記述できる		5(3) ア(ア) *				思 判 表	記 述	45.4	46.0	-0.6	4.8	4.6	0.2
3 (1)	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、数量を読み取ることができる					3(1) ア(イ)	知 技	選 択	95.7	95.8	-0.1	0.4	0.4	0.0
3 (2)	学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる					3(1) ア(イ)	知 技	選 択	90.4	90.7	-0.3	0.4	0.4	0.0
3 (3)	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ	データを二次元の表に分類整理することができる					4(1) ア(ア)	知 技	選 択	67.7	67.5	0.2	1.9	1.7	0.2
3 (4)	帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる					5(1) ア(ア) *	思 判 表	記 述	51.7	52.0	-0.3	11.4	10.3	1.1
3 (5)	5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ	集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる					5(1) ア(イ) *	思 判 表	選 択	74.5	73.9	0.6	1.4	1.3	0.1
4 (1)	余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く	示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる	3(4) ア(ア) イ(イ)					思 判 表	短 答	83.0	83.0	0.0	1.8	1.7	0.1
4 (2)	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる		4(4) ア(エ)				知 技	短 答	56.2	55.5	0.7	2.0	2.0	0.0
4 (3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる	4(4) ア(ア) *					思 判 表	記 述	51.7	51.5	0.2	11.7	10.3	1.4

※評価の観点について 「知識・技能」:「知技」
「思考・判断・表現」:「思判表」

*本設問においては、思考力、判断力、表現力等をみるために用いる知識及び技能を示している。

2 結果の詳細

オ 課題のある設問

3(4) (趣旨) 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる

(学習指導要領)〔第5学年〕D データの活用 (1) ア (ア)、内容の取扱い (5)

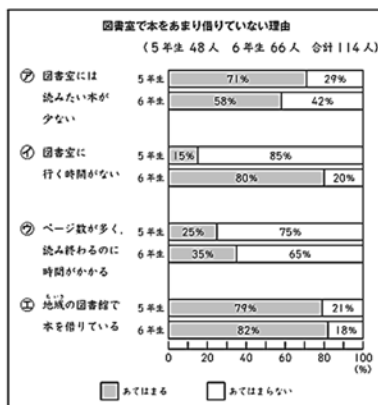
全国と千葉県との比較

正答率(%)

全 国	52.0
千葉県	51.7
自 校	

無解答率(%)

全 国	10.3
千葉県	11.4
自 校	



ひよりさんたちは、左のグラフをもとに、気づいたことについて話合っています。

そうたさんとあやのさんは、左のグラフの中の②から⑧までの4つの項目について、「あてはまる」と答えた人の割合に着目しました。



5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が同じくらいの項目があります。



5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が大きくちがう項目もありますね。

左のグラフについて、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何ですか。

項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

(正答例) 5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目は、④図書室に行く時間がないです。5年生が15%で、6年生が80%です。

誤答を解答類型別にみてみましょう！

<正答の条件> 次の①、②、③の全てを書いている。

① 「④ 図書室に行く時間がない」を表す言葉や記号

② 「④ 図書室に行く時間がない」について、5年生の「あてはまる」と答えた人の割合を表す数

③ 「④ 図書室に行く時間がない」について、6年生の「あてはまる」と答えた人の割合を表す数

	解 答 類 型	反 応 率 (%)
5	①を書いているもの 5年生と6年生で「あてはまる」と答えた人の割合の違いが、一番大きい項目は記述できているが、割合について、 5年生と6年生の合計の人数を基にしたときの5年生の人数の割合及び6年生の人数の割合を求めようとしている と考えられます。	全 国 8.9 千葉県 8.6 自校 ()
8	「エ 地域の図書館で本を借りている」を表す言葉や記号を書いているもの 5年生と6年生で「あてはまる」と答えた人の 割合の違いが一番大きい項目を 、5年生と6年生で「あてはまる」と答えた人の 割合が大きい項目と捉えている と考えられます。	全 国 14.6 千葉県 14.3 自校 ()

自分たちが出した結論について多面的に捉え、考察できるようにするには

集めたデータを分析する

- 「データの種類や項目の数」
- 「目的に応じ、適切なグラフを用いて表現」
- 「データの特徴や傾向を捉え、結論について判断」

複数のデータから項目間の違いに着目し、データの特徴や傾向を読み取ることができるよう指導する！

2 結果の詳細

才 課題のある設問

4(3) (趣旨) 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる

(学習指導要領)〔第4学年〕A 数と計算 (4) ア (ア)

全国と千葉県との比較

正答率(%)	
全 国	51.5
千葉県	51.7
自 校	

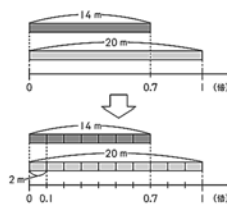
無解答率(%)	
全 国	10.3
千葉県	11.7
自 校	

(3) 14 m のテープと 20 m のテープがあります。
こはるさんたちは、14 m は 20 m の何倍かについて考えています。

こはる $14 \div 20 = 0.7$ で、0.7 倍です。0.7 倍というのは、20 m を1としたとき、14 m が0.7にあたることを表していましたね。

れん 20 m を1としたとき、14 m が半分に0.7にあたるのかな。

れんさんの話を聞いて、ゆうまさんは、20 m を1としたときに14 m が0.7にあたるわけについて、20 m を10等分した1つ分の長さが0.1にあたることをもとにして考え、下の図を書いて説明しました。



【ゆうまさんの説明】

ゆうま 20 m を1としたとき、0.1にあたる長さ3 mです。
14 m は、2 m の7つ分になるので、20 m を1としたときの0.7にあたるかな。

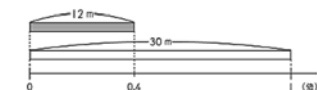
12 m のテープと 30 m のテープがあります。
たくみさんたちは、12 m は 30 m の何倍かについて考えています。

たくみ $12 \div 30 = 0.4$ で、0.4 倍です。

さくら 30 m を1としたとき、12 m が半分に0.4にあたるのかな。

30 m を1としたときに12 m が0.4にあたるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1にあたる長さがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図を使って考えてもかまいません。



(正答例) 30mを1としたとき、0.1にあたる長さは3 mです。
12mは、3 mの4つ分になるので、30mを1としたときの0.4にあたるかな。

誤答を解答類型別にみましょう！

<正答の条件> 次の①、②の全てを書いている。

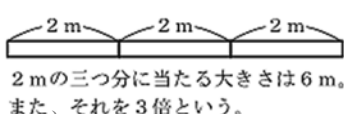
- ① 0.1にあたる長さが3 mであることを表す言葉や数
- ② 12mは3 mの四つ分になることを表す言葉や数

基準量を1としたときに比較量がいくつに当たるかという意味について理解できるようにすることが大切

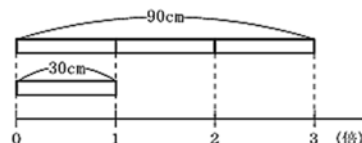
解答類型	反応率(%)
2 (解答例) 30mを1としたとき、0.1にあたる長さは3 mです。だから、0.4にあたるかな。 30mを1としたとき、0.1にあたる長さが3 mになることは記述できているが、 12mは3 mのいくつ分に当たるかについては記述できていない。	全 国 10.8 千葉県 10.5 自校 ()
8 (解答例) 30mを1としたとき、0.4にあたる長さは12mです。 30mを基にしているが、 0.1にあたる長さが3 mになることと、12mは3 mの四つ分になることは記述できていない。	全 国 8.9 千葉県 8.1 自校 ()

倍の意味について捉え直し、小数を用いた場合も、倍の意味を理解できるようにするには

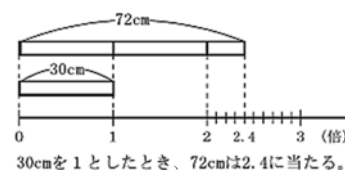
図などを用いて、もとにする大きさを意識できるようにする



「いくつ分」を「何倍」とみる。



基準量を1としたときに比較量がいくつに当たるかを求める。



倍が整数で表せない場合は、基準となる1に対する大きさを10等分し、0.1にあたる大きさを用いて、いくつに当たるかで倍を表すことができる。

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

④中学校数学

ア 平均正答率

▼：全国の平均正答率を下回るもの

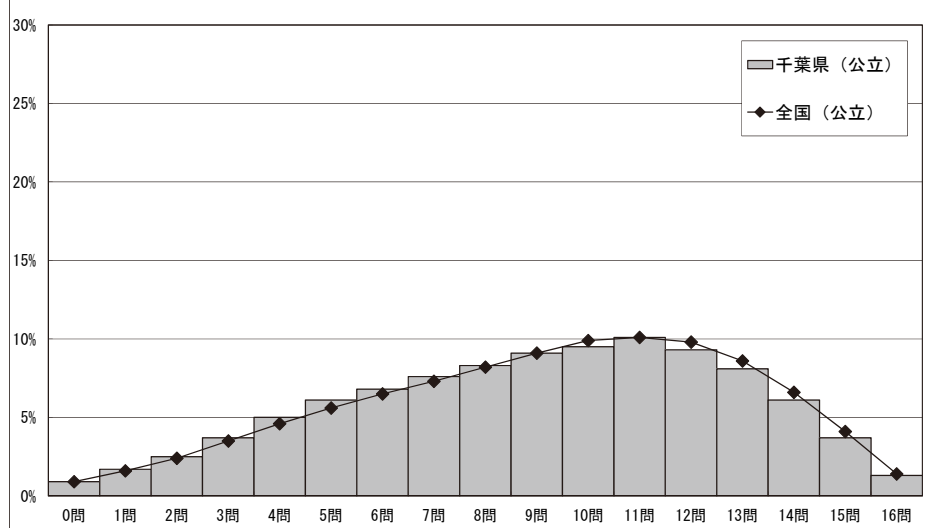
対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	千葉県（公立）	全国（公立）
	363	9,316		44,574	903,253

分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）	
			千葉県（公立）	全国（公立）
全体		16	▼ 56	57.2
学習指導要領の領域	数と式	5	▼64.0	64.9
	図形	4	▼51.1	51.4
	関数	3	▼55.0	56.4
	資料の活用	4	▼51.8	53.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	7	▼40.4	41.1
	数学的な技能	3	▼76.2	77.7
	数量や図形などについての知識・理解	6	▼64.2	65.6
問題形式	選択式	2	▼51.3	52.4
	短答式	9	▼69.4	70.5
	記述式	5	▼33.8	35.0

イ 正答数の分布

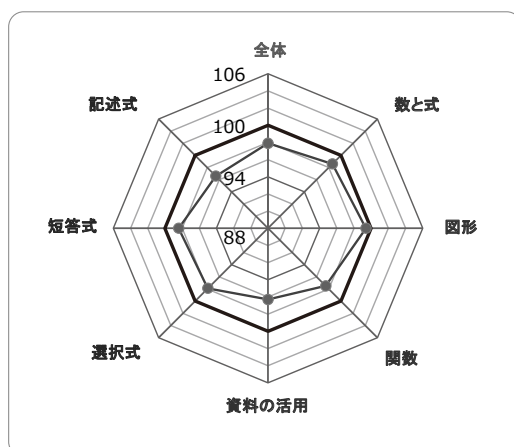
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	44,574	9.0 / 16	56	9.0	3.7
全国（公立）	903,253	9.1 / 16	57.2	10.0	3.7

横軸：正答数
縦軸：生徒の割合



ウ 指数

※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。



中学校・数学		
	全体(活用)	97.9
領域	数と式	98.6
	図形	99.4
	関数	97.5
	資料の活用	96.3
問題形式	選択式	97.9
	短答式	98.4
	記述式	96.6

2 結果の詳細

Ⅰ 各設問の結果

※ : 課題となるもの

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
			数と式	図形	関数	資料の活用			千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
1	$(5x+6y)-(3x-2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2 (1) ア				技能	短答	75.5	77.1	-1.6	1.0	0.8	0.2
2	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることのできる	1 (3) ウ				技能	短答	70.0	71.3	-1.3	8.7	7.6	1.1
3	中心角 60° の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ	扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している		1 (2) ウ			知理	選択	68.4	68.1	0.3	0.4	0.3	0.1
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している			1 (1) ア		知理	短答	46.3	48.0	-1.7	11.5	9.3	2.2
5	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることができる				1 (1) ア	技能	短答	83.1	84.5	-1.4	1.2	1.0	0.2
6 (1)	四角で囲んだ4つの数が12、13、17、18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2 (1) イウ				見考	短答	84.7	83.9	0.8	3.7	3.5	0.2
6 (2)	四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2 (1) イウ				見考	記述	60.2	61.8	-1.6	17.3	15.4	1.9
6 (3)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であることを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる	2 (1) イウ				見考	記述	29.5	30.3	-0.8	35.0	29.9	5.1
7 (1)	与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる			1 (1) ウ		知理	短答	93.5	93.5	0.0	2.1	2.0	0.1
7 (2)	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			1 (1) エオ		見考	記述	25.2	27.7	-2.5	28.6	24.7	3.9
8 (1)	気温差が 9°C 以上 12°C 未満の階級の度数を書く	ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる				1 (1) ア	知理	短答	79.7	83.0	-3.3	5.2	4.2	1.0
8 (2)	2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している				1 (1) ア	知理	選択	34.2	36.8	-2.6	1.1	1.0	0.1
8 (3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる				1 (1) イ	見考	記述	10.3	11.1	-0.8	37.5	32.2	5.3
9 (1)	四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる		2 (2) イウ			見考	記述	43.9	44.3	-0.4	3.8	3.6	0.2
9 (2)	錯角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて表す	錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している		2 (1) ア			知理	短答	63.1	64.3	-1.2	15.5	14.2	1.3
9 (3)	$\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる		2 (1) ア			見考	短答	28.9	28.8	0.1	32.8	28.7	4.1

※評価の観点について

「数学的な見方や考え方」:「見考」

「数学的な技能」:「技能」

「数量や図形などについての知識・理解」:「知理」

2 結果の詳細

オ 課題のある設問

7(2) (趣旨) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる

(学習指導要領)〔第1学年〕C 関数 (1)エ、オ

全国と千葉県との比較

正答率(%)	
全 国	27.7
千葉県	25.2
自 校	

無解答率(%)

全 国	24.7
千葉県	28.6
自 校	

(2) 健斗さんは、2分をはかるために、秒時計に必要な砂の重さを調べます。

そこで、調べた結果のグラフにおいて、原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとし、砂の重さが増えてもすべての点と同じ直線上にあると考えることにしました。

このとき、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に必要な砂の重さを求める必要はありません。



数学的に考察する場合でのアプローチの方法や手順を説明する問題

→構想を立てたり、それを評価・改善したりする力をみる

方法や手順を的確に表現

→用いるもの(表、式、グラフ)

使い方(x と y の関係式にある値を代入して求めるなど)

正答の条件を主な解答類型別にみましょう!

解 答 類 型		反 応 率 (%)
1	<グラフを用いることについて記述している場合> 次の(a)、(b)について記述している。	全 国 6.6
2	(a) 直線のグラフをかいて利用すること。用いるもの	千葉県 5.1
	(b) y 座標が120のときの x 座標を読むこと。用い方	自校 ()
5	<式を用いることについて記述している場合> 次の(c)、(d)について記述している。	全 国 5.8
6	(c) 比例の式又は一次関数の式を求めて利用すること。用いるもの	千葉県 6.5
	(d) $y=120$ を代入して、 x の値を求めること。用い方	自校 ()
9	<表の数値を用いることについて記述している場合> 次の(e)、(f)について記述している。	全 国 15.3
10	(e) 表や数値を用いて割合を求めて利用すること。用いるもの	千葉県 13.6
	(f) 砂が落ちきるまでの時間が120秒になる砂の重さを算出すること。用い方	自校 ()

得られたデータを理想化したり単純化したりして、その特徴を的確に捉えるには

理想化→表や数値を用いて求めた割合が一定であると考え

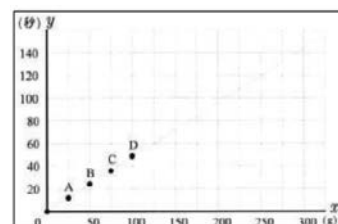
砂の重さ x (g)	0	25	50	75	100
砂が落ちきるまでの時間 y (秒)	0	11.9	24.2	36.0	48.3
		+11.9	+12.3	+11.8	+12.3

およそ12ずつ増えている。

x の値が25ずつ増えるごとに、 y の値はおよそ12ずつ増えているね。

x の値が2倍、3倍になると y の値も2倍、3倍になっているとみることができるよ。

単純化→座標平面上に表された点が原点を通る一直線上にあると考える



グラフは原点を通る直線とみることができそうだね。

2 結果の詳細

才 課題のある設問

8(3) (趣旨) データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる

(学習指導要領)〔第1学年〕D 資料の活用 (1) イ

全国と千葉県との比較

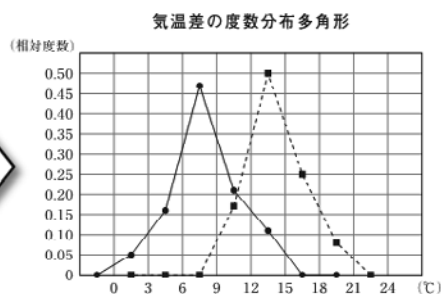
正答率(%)

全 国	11.1
千葉県	10.2
自 校	

無解答率(%)

全 国	32.2
千葉県	37.5
自 校	

(3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。



根拠

成り立つ事柄

<正答例>

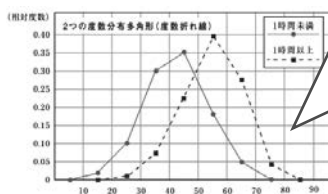
二つの度数分布多角形が同じような形で、6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にある。したがって、日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある。

誤答を主な解答類型別にみてみましょう！

解答類型	反応率(%)
99 横軸を気温と捉えており、日照時間が6時間以上の方が6時間未満よりも気温が高いことから気温差が大きい傾向にあることを説明しようとしていたと考えられる。 特徴(形や位置関係、分布の特徴)を読み取れない	全 国 31.6 千葉県 30.1 自校 ()
4 2つの度数分布多角形の形状のみを記述しているもの。(全国 4.7 千葉県 4.5)	
5 2つの度数分布多角形の山の高さの比較について記述しているもの。(全国 3.1 千葉県 3.3)	
6 上記5以外で、度数分布多角形について、最小値、最大値、最頻値など、ある点を比較して記述しているもの。(全国 5.8 千葉県 4.6)	
7 度数分布多角形の相対度数に着目して記述しているもの。(全国 8.1 千葉県 6.9)	
解答類型3～10は、一部誤った読み取りをしているもの	

判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにするには

体力テストの合計点の度数分布表



例) 分布の位置がずれていることが分かり、運動時間の目安を説明する際の根拠とすることができる。

- 二つの度数分布多角形の形や位置関係に着目して、二つの度数分布多角形における分布の特徴について話し合う。
- 見いだした分布の特徴から結論をいうためにふさわしい根拠となるものを取り上げ、判断したこととその理由について説明する。

2 結果の詳細

(2) 質問紙調査

◆千葉県の子題…児童生徒質問紙調査・学校質問紙調査ともに、**肯定的回答の割合が全国に比べ低いものが多い状況**です。ここでは、**学習指導の改善・充実に関連する質問**を取り上げて課題を示しました。

◆質問紙の活用…**自校の肯定的回答を千葉県や全国と比較して、課題を明確にし**、自校の実態に応じた対策を講じていくことができます。この他にも、各項目のテーマを参考に、自校の実態を明らかにしていくことができます。

※質問事項の「児生」は児童生徒質問紙を、「学校」は学校質問紙を、数字は質問番号を表します。

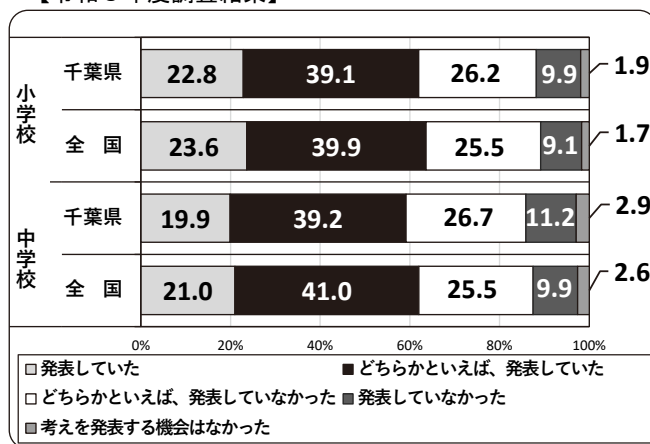
(本書「V 質問紙調査回答結果集計データ」参照)

①主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

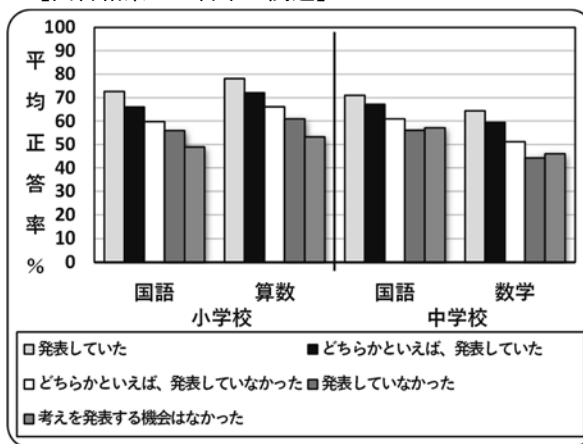
児童生徒 31～38、学校 29～40

【児生 3 2】前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

【令和3年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

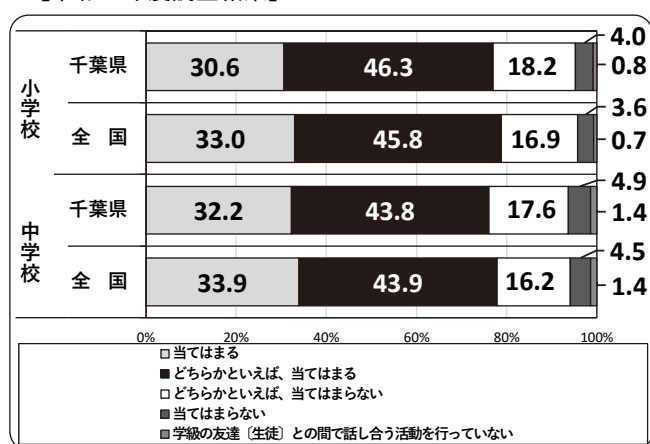


肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べ低くなっている。(自校…)

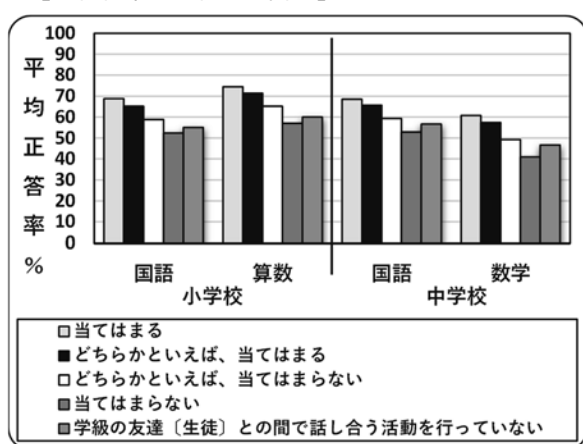
肯定的回答をしている児童生徒に、正答率が高い傾向がみられる。(自校…)

【児生 3 7】学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

【令和3年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



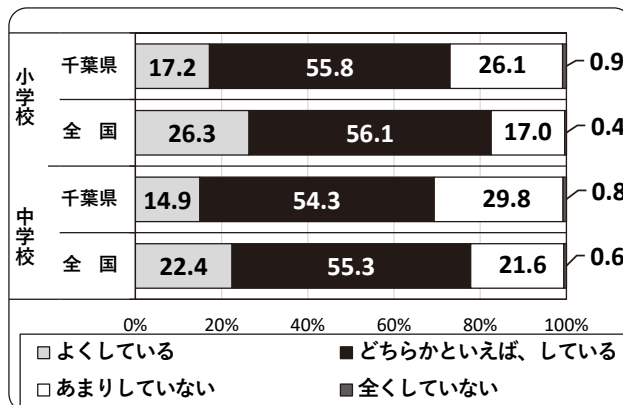
肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べ低くなっている。(自校…)

肯定的回答をしている児童生徒に、正答率が高い傾向がみられる。(自校…)

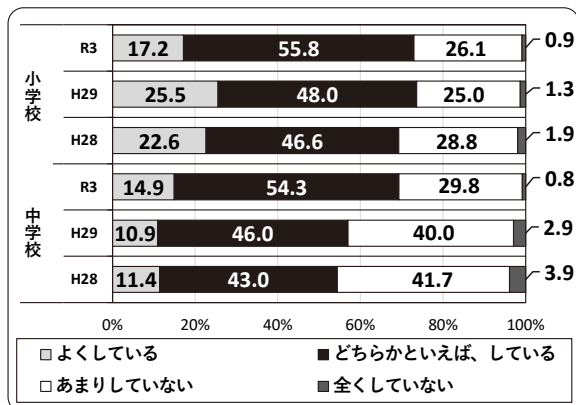
2 結果の詳細

【学校24】児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

【令和3年度調査結果】



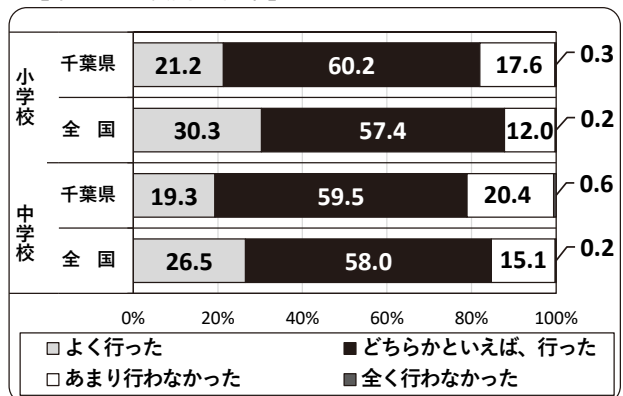
【経年変化】



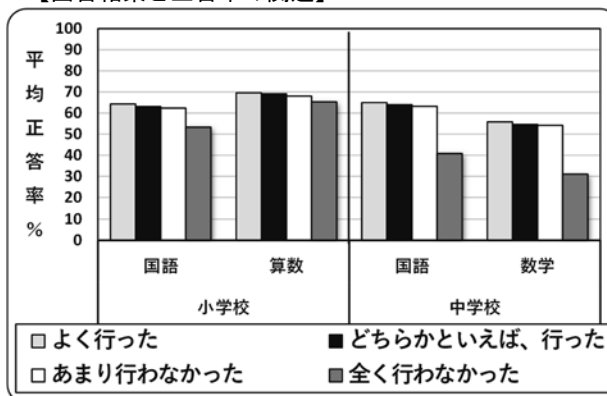
肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに全国に比べ低くなっている。（自校…）
 経年変化を見ると、肯定的回答の割合は小学校、中学校ともに増えている。（自校…）

【学校34】調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、授業において、児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

【令和3年度調査結果】

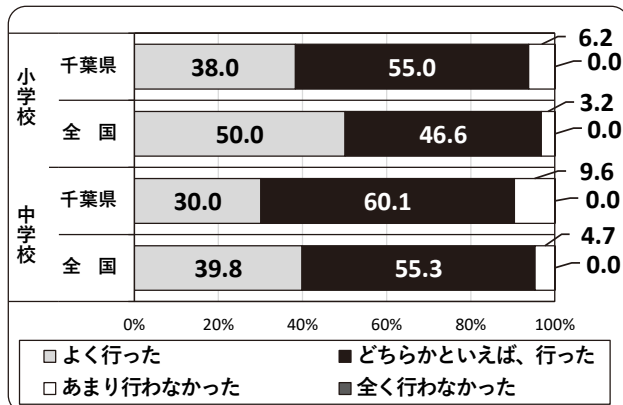


【回答結果と正答率の関連】

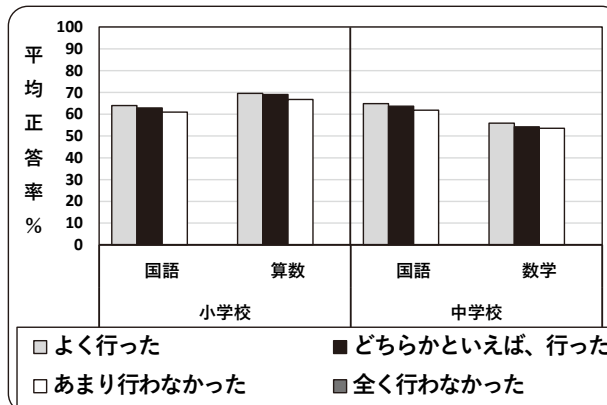


【学校35】調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか

【令和3年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



話し合いや表現などの学習活動を授業に取り入れていることについて肯定的な回答をした学校は、小学校、中学校ともにおよそ80～90%であるが、全国に比べ低くなっている。（自校…）
 肯定的回答をしている学校に、正答率が高い傾向がみられる（学校34、35）。（自校…）

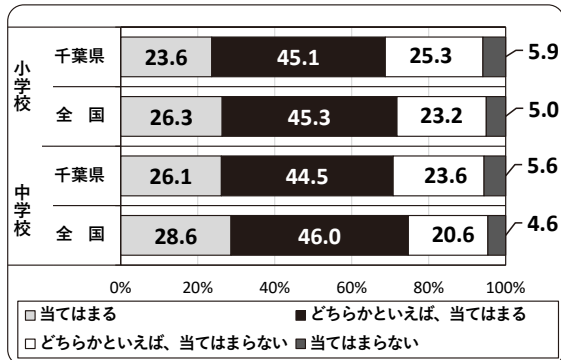
2 結果の詳細

②-1 国語科の指導方法に関する取組状況

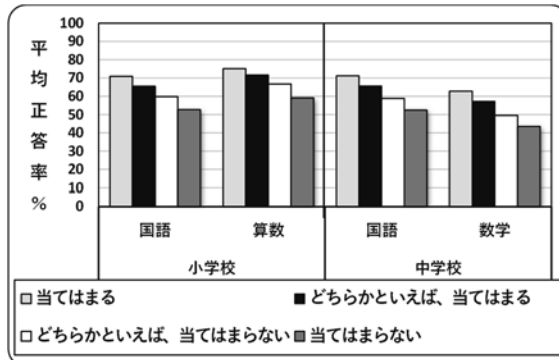
児童生徒 43～51、学校 49～54

【児生49】（児童）国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか
（生徒）国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか

【令和3年度調査結果】



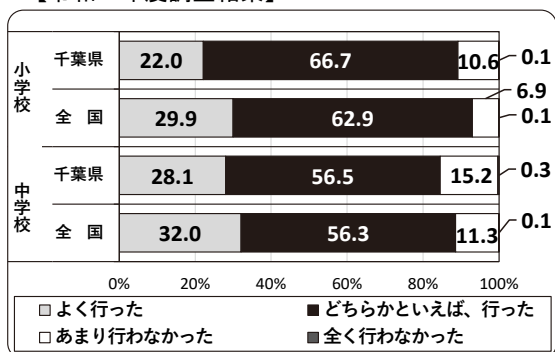
【回答結果と正答率の関連】



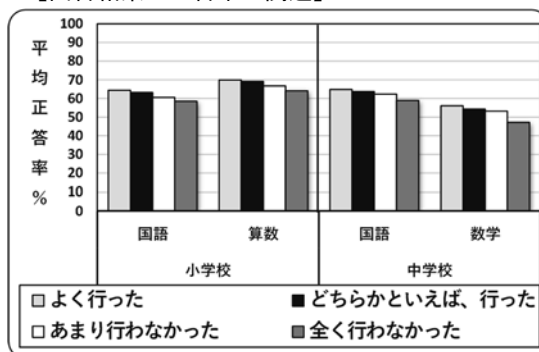
肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べ低くなっている。（自校…）
肯定的回答をしている児童生徒ほど、正答率が高い傾向がみられる。（自校…）

【学校52】調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか

【令和3年度調査結果】

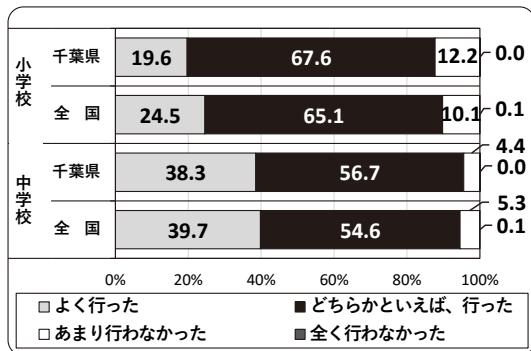


【回答結果と正答率の関連】

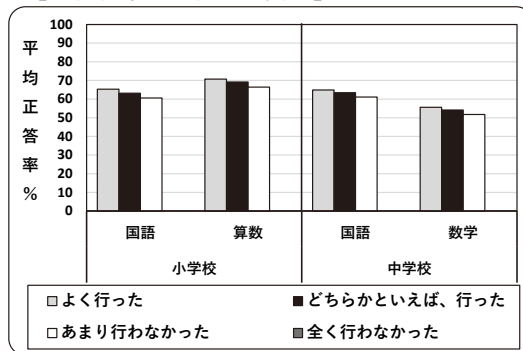


【学校53】（小学校）調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか
（中学校）調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか

【令和3年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べ低くなっている。（自校…）
肯定的回答をしている学校ほど、正答率が高い傾向がみられる。（自校…）

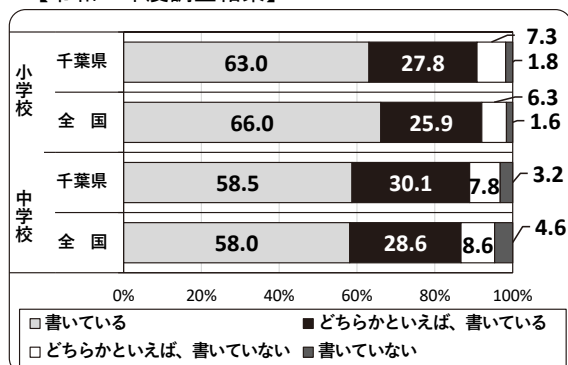
2 結果の詳細

②-2 算数・数学科の指導方法に関する取組状況

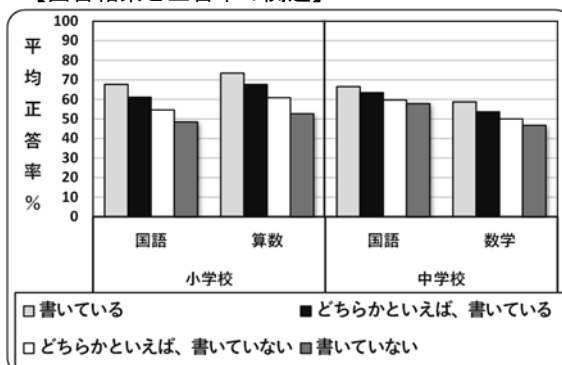
児童生徒 52～60、学校 55～60

【児生59】算数〔数学〕の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

【令和3年度調査結果】



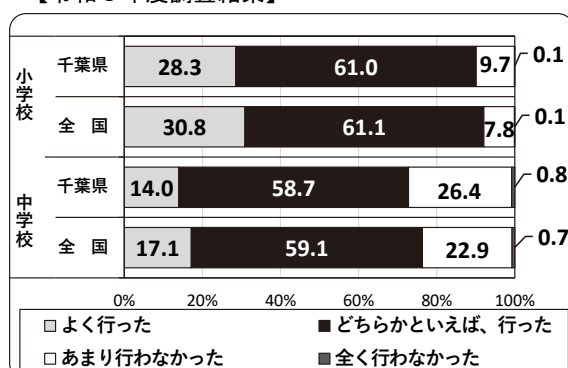
【回答結果と正答率の関連】



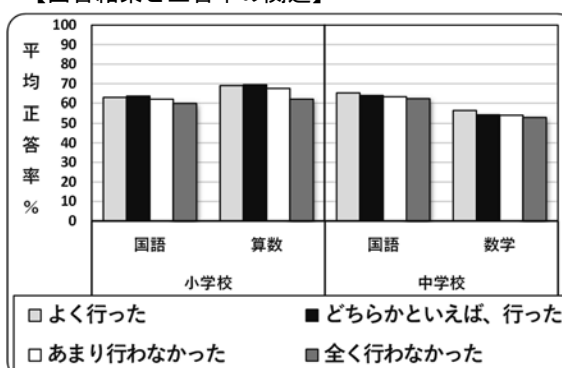
肯定的回答の割合が、小学校では、全国に比べ低くなっている。 (自校…)
 肯定的回答をしている児童生徒ほど、正答率が高い傾向がみられる。 (自校…)

【学校58】(小学校) 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか (中学校) 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行いましたか

【令和3年度調査結果】

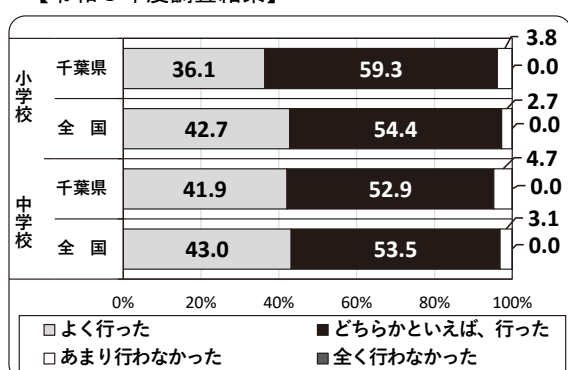


【回答結果と正答率の関連】

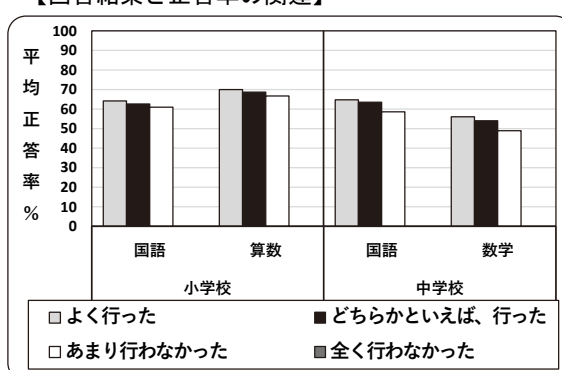


【学校59】(小学校) 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか (中学校) 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか

【令和3年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べ低くなっている。 (自校…)
 肯定的回答をしている学校に、正答率が高い傾向がみられる。 (自校…)

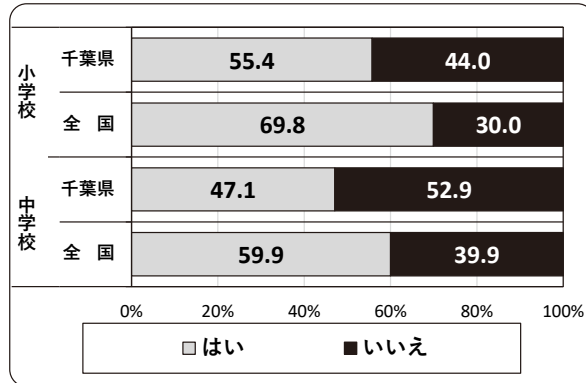
2 結果の詳細

③ 全国学力・学習状況調査の結果等の活用に関する取組状況

学校 88-1～9、89、90-1～7、91

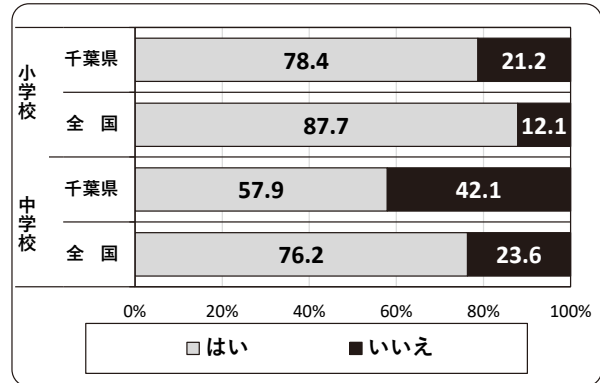
【学校 88-4】全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか
④問題全体を活用し、校内研修等を通じて、授業の改善を行っている

【令和3年度調査結果】



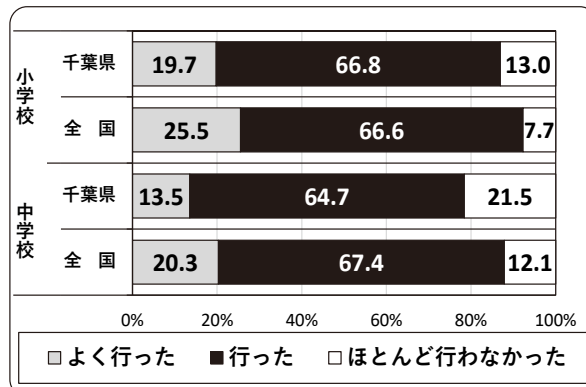
【学校 90-7】全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ⑦課題が見られた点を中心として校内研修を実施し、授業改善に活用している

【令和3年度調査結果】

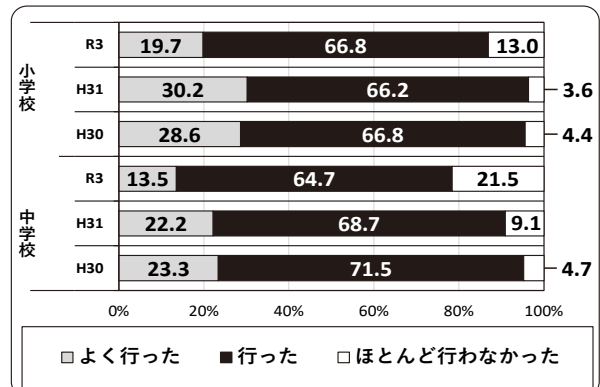


【学校 89】平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

【令和3年度調査結果】

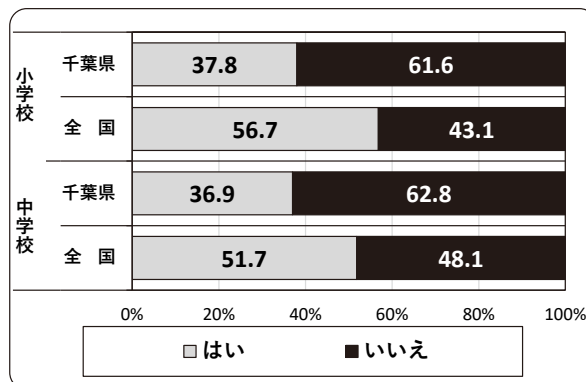


【経年変化】



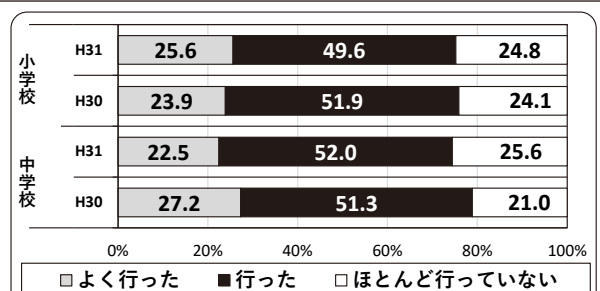
【学校 90-6】全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ⑥保護者や地域の人々の学校教育活動への協力・連携を進めるために活用している

【令和3年度調査結果】



【経年変化】（参考）

（前年度の）全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）



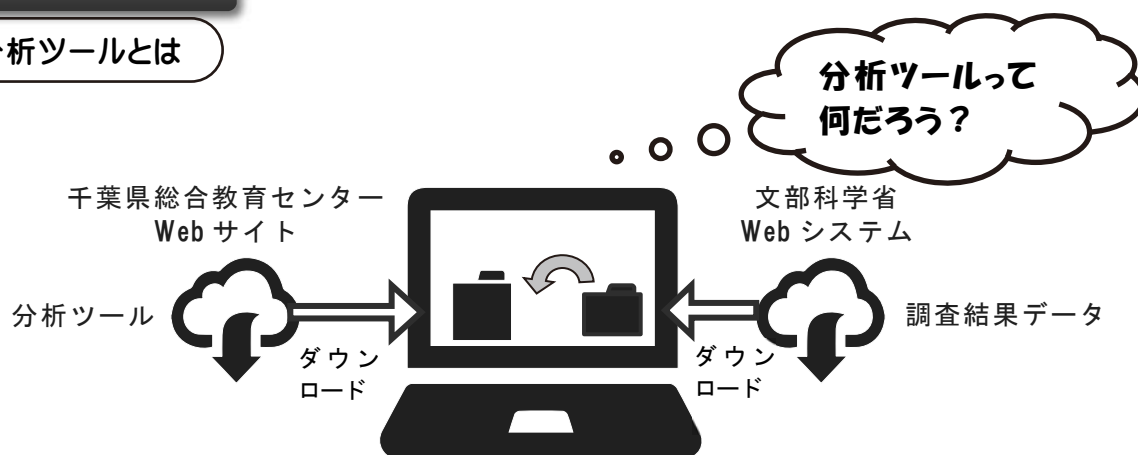
全国学力・学習状況調査の問題の活用についての質問（88-1～9）と、結果の活用についての質問（89、90-1～7、91）において、肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに全国に比べ低くなっている。（自校…）

Ⅲ 県の分析ツールの活用について

- 1 分析ツールについて
- 2 4つの分析シートの活用について

1 分析ツールについて

(1) 分析ツールとは



《分析ツールとは》

文部科学省から提供される調査結果データを簡単な操作で可視化して、全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく成果と、課題の実態把握や指導改善サイクルの確立を支援する自動計算ソフトです。

分析ツールの構成

3種のツール

教科・質問紙分析

誤答分析

クロス集計

4つのシート

教科・質問紙分析

経年分析

誤答分析

クロス集計

各シートは両面印刷を行うことによって、1枚で印刷されます。指導改善を行うには、この4つの分析シートを活用することが大切です。

ここからダウンロードします！

(2) 分析ツールの入手方法

○千葉県総合教育センターのWebサイト(<https://www.ice.or.jp/nc/>)

(トップページ > 調査・研究 > 全国学力・学習状況調査 > 令和3年度調査)



※分析ツールをダウンロードする際に必要なパスワードは、令和3年9月22日付事務連絡を御覧ください。

「分析ツール」ダウンロードのほか、授業改善のヒントとなるリンクページを紹介しています。

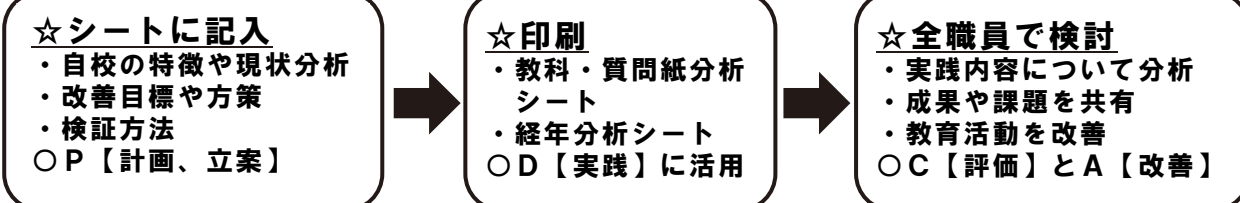
- ◆県教育委員会「ちばっ子チャレンジ100」「『ちばのやる気』学習ガイド」ほか
- ◆国立教育政策研究所「学習指導の改善・充実に向けた説明会資料」「授業アイディア例」ほか印刷して活用できる素材や授業アイディアなどの情報収集に役立ちます。

1 分析ツールについて

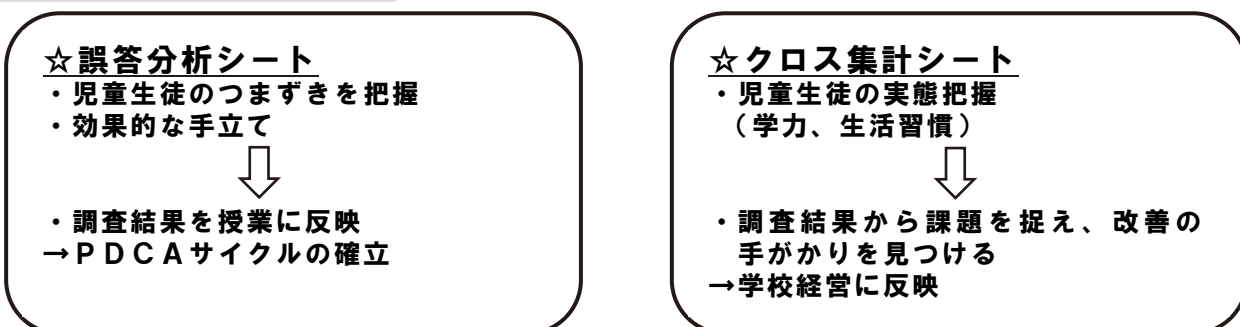
(3) 分析ツールの活用場面

全国学力・学習状況調査について、自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有することが大切です。調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善することが学校現場に求められています。

①職員会議や校内研修での活用



②授業の指導改善での活用



○先生方の指導力が向上すれば、児童生徒の理解も深まります。授業者個人の教科指導だけでなく、学校全体の研究主題の設定に役立てることもできます。

③保護者や地域との連携で活用

☆各教科の状況や、生活習慣、学習習慣などの現状や課題、改善策を示したりするなど、結果だけでなく、因果関係につながる分析を行って伝えるようにすることも大切

○家庭や地域との連携に活用できます。学校だよりやホームページ、保護者会の資料、学校評価などにも結果を掲載することで、保護者や地域の方々に対して、学校の取組に対する理解や協力を得ることに役立てられます。

④小学校教育と中学校教育の連携での活用

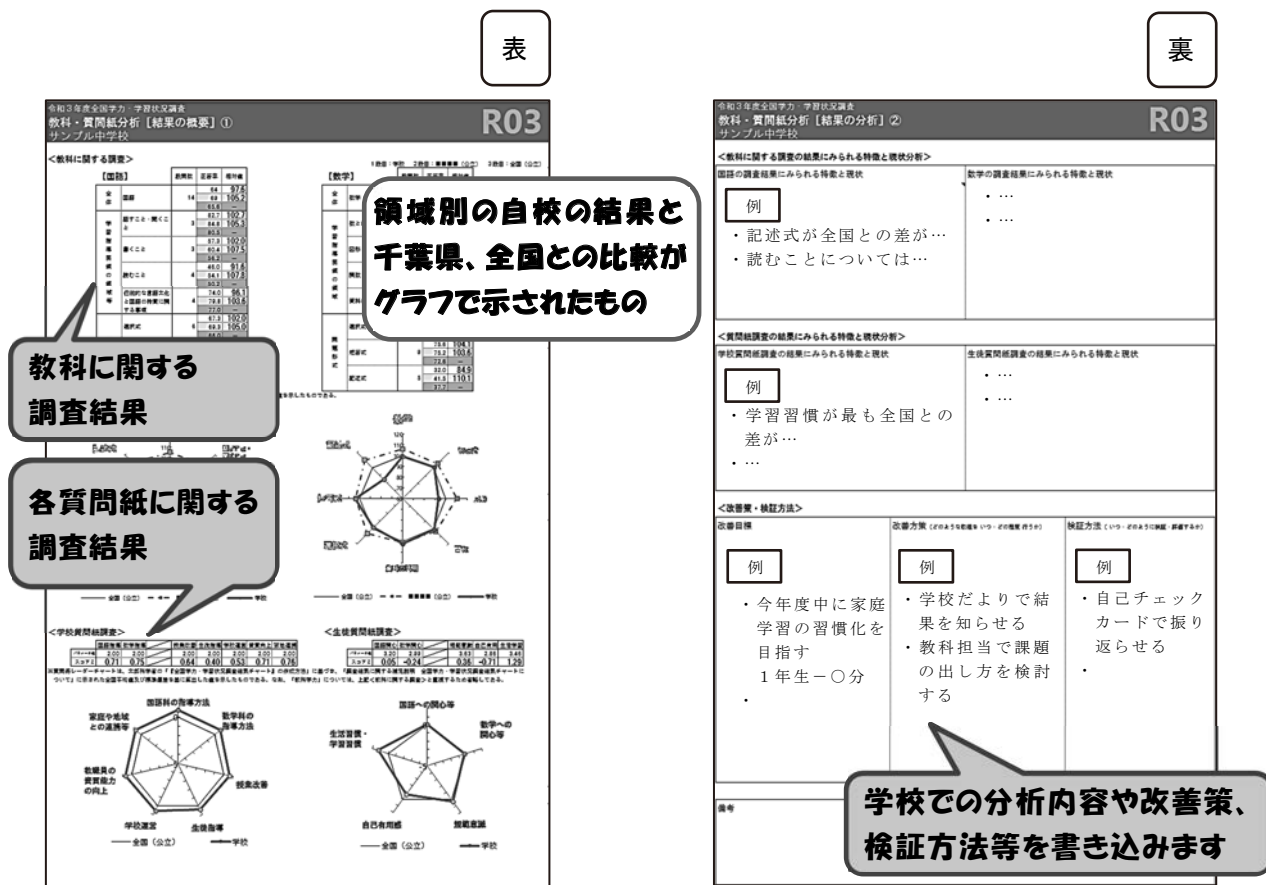
☆合同研修や小学校からの引継ぎ事項、成果や課題の共有が大切

○小学校教育と中学校教育の連携に活用できます。分析シートを使って互いの指導の成果や課題、児童生徒の実態についてなど、情報の共有を行うこともできます。

2 4つの分析シートの活用について

(1) 教科・質問紙分析シート

教科（国語、算数・数学、追加科目）や質問紙（児童生徒質問紙、学校質問紙）の結果がチャート図に示されます。多角形の形状や面積に着目して、課題がみられる項目や成果を確認することができます。さらに、過去の調査結果を同時に読み込ませることにより、経年変化をみることができ、指導改善の成果を確認することができます。



☆表面には、教科に関する調査の結果が領域別に数値の表とレーダーチャートで表示されます。裏面には、学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込むことができます。

※調査が実施されなかった令和2年度分については作成できませんが、本年度及び平成31年度までのものは、それぞれの年度の教科・質問紙分析ツールを使うと作成できます。

教科に関する調査

☆全国（公立）の平均正答率を100として、教科ごとに「出題内容」、「学習指導要領の領域等」、「問題形式」の各区分の平均正答率を相対値で示したもの
→区分ごとに調査結果の傾向と課題を把握

2 4つの分析シートの活用について

質問紙に関する調査

☆児童生徒質問紙調査で全国（公立）の平均値を下回っている領域や、質問紙調査結果のレーダーチャートで低くなっている領域を中心に、文部科学省から送付された「報告書」で領域に含まれる質問内容を確認

→領域ごとの調査結果の傾向と課題を把握

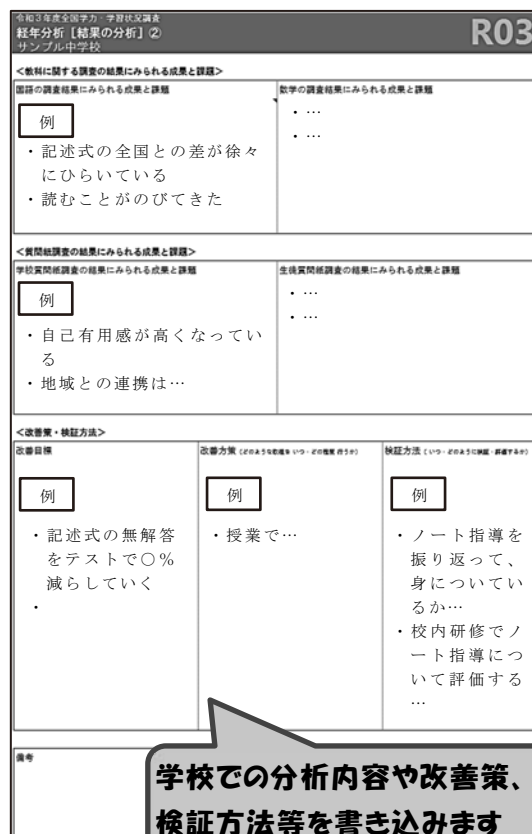
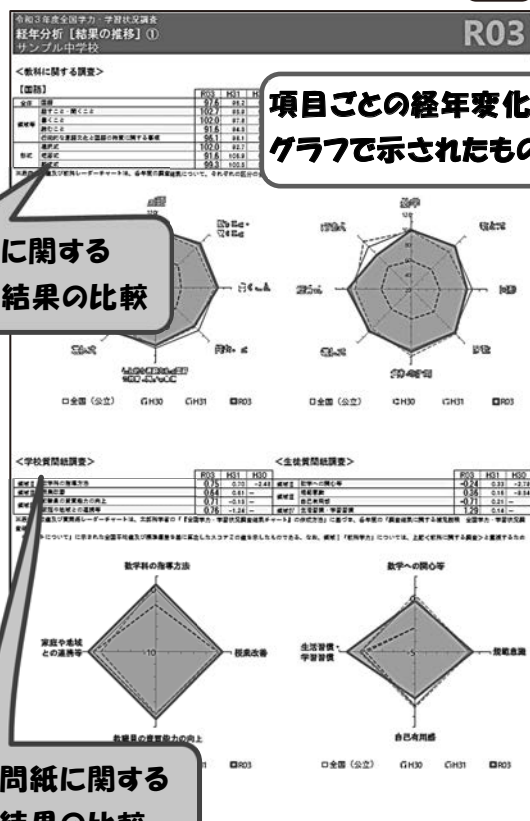
クロス集計ツールを用いて学力との相関を把握

☆学校質問紙調査の結果で示された学校・教員の意識や取組と、児童生徒質問紙調査の結果で示された児童生徒の関心や態度を対比して分析することも効果的です。

(2) 経年分析シート

表

裏



☆表面のレーダーチャートで指導改善の成果等を分析することができます。裏面は、学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込むことができます。

☆「経年分析【3年（または2年）】」シートには、それぞれのレーダーチャートについて、本年度調査、平成31年度調査及び平成30年度調査の3年分（または今年度調査及び平成31年度調査の2年分）を重ねて示しています。

→指導改善の取組に対して、成果が現れているかを確認します。

(3) 誤答分析シート

表

出題の趣旨

解答の状況

設問の概要

解答類型と反応率

誤答率に注目

「10%以上に注目する」など、
実態に応じて目安とする数値を
決め、課題として分析できます

解答類型別に改装の割合が
グラフで示されたもの

校内研修等、学校全体で分析し、課題や方策を共有しましょう

裏

学習指導要領に おける領域・内容

解答類型別反応率にみられる特徴とつまずきの分析

学習指導の改善方策

関連する問題

【例①】

- ・本設問のように、データの数が偶数である場合には大きさ順に並べたときのちょうど真ん中にあたるデータがないことに気が付かず、一番近い値を解答したと考えられる など

【例②】

- ・ 同様な記録を利用し、代表値や最大値、最小値、範囲の値を求め、それらを用いて記録の特徴を捉える活動を取り入れる など

実態把握や定着度を図ること。また、評価にも役立てられます。

【表面】

- ☆上段 ・シートに示されている設問と全国、県、自校の平均正答率が分かります。
- ☆中段 ・誤答につながった原因を考え、つまずきを把握することで、指導計画の立案に役立てられます。
- ・解答類型を見て、誤答率が10%以上の設問は、課題があるといえます。
- ☆下段 ・中段に数値で示されている反応率をグラフ化したものです。

【裏面】

- ☆上段 ・実際に学習する学年など、設問に関する詳細が分かります。
- ☆中段 ・空欄になっているので、報告書を参考にした考察や話合いの記録から、つまずき分析結果や課題を記入できます。
- （校内研修や、学年会、教科会などの話合いに使用すると便利）
- ☆下段 ・学習指導の改善方策の欄は、空欄になっているので、つまずきを防ぐための具体的な手立てや手立てを講じる時期などを記入できます。
- ・関連する問題の欄にある過去の調査問題を振り返り等に使えます。

誤答分析シートを活用した、PDCAサイクル

P（指導計画の立案）

☆例示したシート（左ページ〈P.38 例①〉）の設問の場合（具体例）

ステップ1

- ・解答類型と反応率 解答類型2（誤答率10%以上）12.0%
- 原因を考え、つまずきを把握し、指導計画を立案する。

ステップ2

- ・解答類型別反応率にみられる特徴
- つまずきの分析を記入する。
- （参考：報告書、部会等で行った話合いの記録等）
- 課題や改善点を明確にする（左ページ〈P.38 例①〉）。
- ※文部科学省の報告書や解説等などが参考になります。また、記入するとき、上段にある学習指導要領における領域・内容を見ると、この設問にある、「D 資料の活用」を実際に学習するのは1年生だと分かります。

D（授業実践）

- ☆P（プラン）で作成した指導改善案を実際に取り入れた授業実践
- 可能な限りメモを残し、先生方同士で授業を見学し合い、次のC（チェック）で確認できるような情報を収集する。

2 4つの分析シートの活用について

C（定着度、達成度の把握）

☆授業ごと、単元ごとに、児童生徒の定着度、達成度の把握

→発言やノート、提出物の他に、確認チェックシートや過去の調査問題を活用する。

→過去の調査問題等を活用して、児童生徒の理解度を高める。

※誤答分析シート裏面下段に表示される過去の調査問題の活用

※「ちばっ子チャレンジ 100」や『『ちばのやる気』学習ガイド』もチェックツールとして有効

A（指導の振り返り）

☆誤答分析シートの学習指導の改善方策へ授業以後に把握した児童生徒の定着度、達成度を記録し、共有（次年度の計画立案へ役立てるため）

→常に教師の指導改善、学力向上への意識を高める。

PDCAサイクルから指導改善サイクルへ

☆例示したシート（P.38）の設問

・「代表値を用いて、データの傾向を的確に読み取ることができるようにする」ことを改善の方策として記入する。

・報告書等を参考に具体的な手立てを記入する。

・他学年とのつながりや、つながりを生かした手立て等も書き加える。

・（例示したシートは）中学校1年生の学習内容なので、1年生の授業を担当する先生全員で共有し、指導に生かす。

・次年度1年生を担当する先生方にも引き継ぐことで、学校全体で指導改善に取り組むことにつなげる。

・シートは必ずファイルして保管し、次の分析や研究に生かす。

→PDCAサイクルに則った指導改善サイクルが確立されていきます。

まとめ

【誤答分析シート】を活用した指導改善のまとめ

・〔どうつまずいたか〕 誤答率の高い解答類型（10%以上）に着目

・〔いつつまずいたか〕 学習指導要領における学習学年に着目

→学習学年と情報を共有してつまずきを未然に防止

・〔なぜつまずいたか〕 「報告書」（国立教育政策研究所）の「学習指導に当たって」を参照し、つまずきの原因を探る

・〔どのような手立てを打つか〕 授業実践を通じて改善する方法を探る

(4) クロス集計シート

クロス集計ツールを使って作成できる「クロス集計シート」です。児童生徒の生活習慣や学習環境を、4段階に分けた学力層（四分位）を用いて、正答率との相関関係を確認することができます。学力に応じた指導の工夫等に役立ちます。

表

裏

令和3年度全国学力・学習状況調査
クロス集計【生徒質問紙一教科】①
カシノ小中学校

以下に掲載の集計表/グラフは、調査実施日に教科に関する調査を一つ以上実施し、かつ、生徒質問紙調査を実施した生徒の結果を対象としています。

質問番号 質問事項

(54) 数学の授業の内容はよく分かりますか

＜四分位によるクロス＞

選択肢	上段：回答者数 下段：回答者の割合 (%)									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
選択肢 1	25	7	10	6	2	0	0	0	0	0
選択肢 2	10	6	2	0	0	0	0	0	0	0
選択肢 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選択肢 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選択肢 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選択肢 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選択肢 7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選択肢 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選択肢 9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選択肢 10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

0% 50% 100%

国語

数学

選択肢 1 選択肢 2 選択肢 3 選択肢 4 選択肢 5 選択肢 6 選択肢 7 選択肢 8 選択肢 9 選択肢 10

解答の状況

四分位による集計

☆四分位の層別に、表示されているシートの各選択肢を選んだ児童生徒数の割合を示しています。

☆四分位層ごとに特異の反応率を示している質問、特に、グラフの各選択肢の境界が対角状に推移している質問は、質問の回答状況と教科の正答率との間に強い相関があると判断できます。

令和3年度全国学力・学習状況調査
クロス集計【生徒質問紙一教科】②
カシノ小中学校

以下に掲載の集計表/グラフは、調査実施日に教科に関する調査を一つ以上実施し、かつ、生徒質問紙調査を実施した生徒の結果を対象としています。

質問番号 質問事項

(54) 数学の授業の内容はよく分かりますか

＜クロス集計の結果＞

選択肢	回答者数	回答者数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
			国語	数学
1 当てはまる	7	28.0	72.4	74.1
2 どちらかといえば、当てはまる	10	40.0	58.6	58.1
3 どちらかといえば、当てはまらない	6	24.0	66.7	50.0
4 当てはまらない	8	32.0	57.1	40.6
5	0	0.0	—	—
6	0	0.0	—	—
7	0	0.0	—	—
無回答	0	0.0	—	—
合計	25	100.0	64.3	59.3

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%

国語 数学

選択肢 1 選択肢 2 選択肢 3 選択肢 4 選択肢 5 選択肢 6 選択肢 7 選択肢 8 選択肢 9 選択肢 10

正答率との相関関係

相関がみられない

相関がみられる

☆選択した質問の選択肢別に、回答した児童生徒の平均正答率を示しています。

☆グラフの先端が階段状に推移している質問は、質問の回答状況と教科の正答率との間に強い相関があると判断できます。

☆児童生徒質問紙調査で課題がみられた項目や質問について、教科に関する調査結果との相関を分析することができます。

→児童生徒の生活習慣や学習習慣と学力との相関関係を確認する。

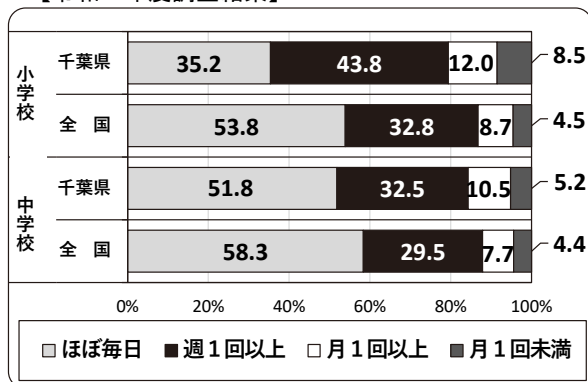
☆クロス集計は、質問紙への回答状況と教科の正答率との相関関係を示すものであり、必ずしも因果関係を示すものではないことを踏まえます。その上で、回答状況の背景にある「真の要因」をしっかりと把握して、学習習慣や生活習慣の改善方策を考えていくことが重要です。

ICTを活用した学習に関する取組状況

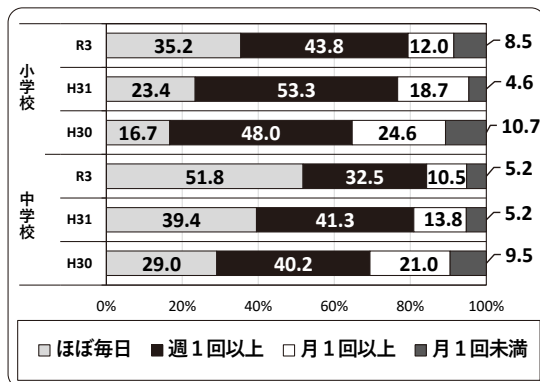
児童生徒質問紙 26～29 学校質問紙 63～75

☆前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板など）などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか 【学校質問紙66】

【令和3年度調査結果】



【経年変化】



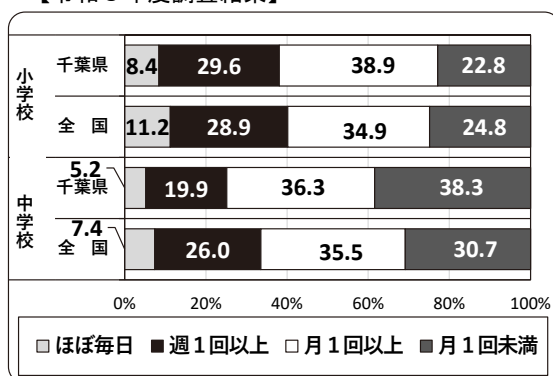
【千葉県の状況】

小学校、中学校ともに、年々ICT機器を活用した授業の割合は増えていますが、令和3年度の結果をみると、全国に比べ低くなっています！



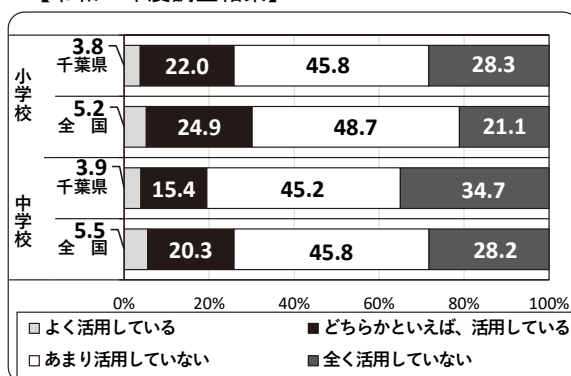
☆前年度までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか 【児童生徒質問紙26】

【令和3年度調査結果】



☆あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ③児童〔生徒〕同士がやりとりする場合 【学校質問紙72】

【令和3年度調査結果】



【千葉県の状況】

児童生徒質問紙、学校質問紙ともに、授業におけるICT機器の活用が全国に比べ低くなっており、小学校、中学校ともに課題となっています！

ICT機器を効果的に活用し、学力向上を図っていきましょう！



Ⅳ 課題別実践アイデア例

各アイデア例の学力向上のための視点一覧

ページ	課題	全国学力・学習状況調査		教科指導								学校経営		
		調査結果の活用	調査問題	教科名	教科の特性	授業展開例	言語活動	場面設定	表	学習形態	実践プログラム	教育課程の編成	校内研修	家庭との連携
44	伝え合う力			国語			○		○		○			
45	読むこと		○	国語	○	○	○							
46	読むこと			国語	○	○	○				○			
47	読むこと	教科		国語		○	○							
48	説明する力			算数			○		○					
49	説明する力	教科		算数	○	○	○		○					
50	記述する力	教科		算数		○			○		○			
51	記述する力	教科		算数				○	○	○				
52	資質・能力の育成			理科	○									
53	コミュニケーション			英語					○					
54	振り返り	質問紙				○		○						
55	ICT活用							○	○	○				
56・57	組織的な活用	教科・質問紙									○	○	○	○
58	研修での活用	教科・質問紙									○		○	
59	自己肯定感	質問紙						○	○	○				

※ 表を参考に、実態に応じて活用してください。

課題

「全国学力・学習状況調査」の国語の問題において 自分の考えをもち、伝え合う力が弱い

手立て

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用し、
児童・生徒の思考によりそった授業づくりを行う

具体例

POINT① 考えをもつまでの学習過程を重視する

○自分の考えをもつための手立てを充実させる

- ・働かせたい「言葉による見方・考え方」を意識した発問を準備する。考える時間を確保する。
- ・互いの立場や意図、条件をはっきりさせ、分かったことや疑問点を整理する過程を丁寧に行う。
- ・思考の過程を可視化する。
- ・考えを形成する際、そう考えた理由や根拠を明確にする。

《「思考ツール」①や「考えるための技法」②を、各教科・領域で横断的に活用》

児童生徒が意識して考える視点の移動ができるよう、国語科以外の教科・領域でも共通理解を図り、活用する。

→自分の考えを整理したり、正確に捉えたりすることができる。

① 県総セ カリキュラム開発部

『思考スキルに応じた思考ツール活用』

② 小・中 総合的な学習の時間
学習指導要領

POINT② 対話によって自分の考えを高める

○考えが独りよがりにならず、立場や条件に沿って伝え合えるよう、まとめ、表現する視点を確認する

○文末表現やつなげる言葉を工夫するなど、既習事項を取り入れながら書き、思考を統合させる

○自分の考えと比較しながら友達の考えを聞き、良いところを柔軟に取り入れて、考えを再構築する場を設定する（話し合う活動を通して考えを深める）

《頭の中のイメージや考えを言葉で表現できるよう、系統的に語彙を広げる》

小学校第3・第4学年

様子や行動、気持ちや性格を表す語句

小学校第5・第6学年 思考に関わる語句

中学校第1学年 事象や行為、心情

中学校第2学年 抽象的な概念

中学校第3学年 理解・表現に必要な語句

【学習指導要領 第2章第2節2語彙】

POINT③ 言語活動を充実させ、認めて称賛する場を増やす

○伝え合うことの「手応えと喜び」を感じる成功体験を重ねる

- ・生活ノートやミニスピーチ（スモールステップから。心理的負担を配慮。）の活用。

- ・学校行事などの、心が揺さぶられた体験後の作文（共有 評価・反響の場づくり）。

→認められることで自己肯定につながり、積極的な表現や書くことへの自信につながる。

→記述を通して自分の考えを整理し、理解を深める。共有から自他の良い点を学べる。

課題

「全国学力・学習状況調査」の国語科（小学校）

目的に応じて文章を読み、分かったことをまとめることに課題がある

手立て

「言葉による見方・考え方」を働かせた授業づくりを行う

具体例

POINT① 文章の要旨を捉えて、「読み」でもった課題から学習計画を立てる

○文章に何が書かれているのか、内容の大体を捉える
（初読前に語句の意味を調べる）

- ・何がどのように書かれているのか（文章全体の構成）を捉えて読む。
- ・読みの問い（課題）をもち、読みの目的を明確にする。

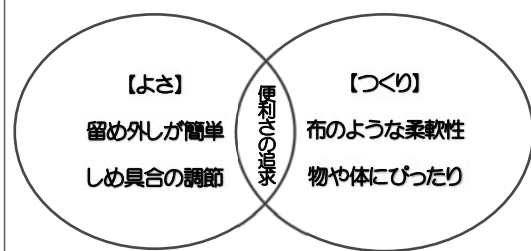
「身近にある便利なものを調べて伝えよう」
【学習計画】
① 段落のまとまりを読んで見出しを付ける。
② 仕組みについて中心となる語や文を見付けて読む。
③ 文章と図を結び付けて、必要な情報を読む。
④ 筆者の考えを捉えて自分の考えをまとめる。

POINT② 「言葉による見方・考え方」を働かせて、必要な情報を見付けて整理する

○「読むこと」の目的に応じて、図や表の見出しやリード文と文章を線で結び付けて読むことで内容を深く理解する

- ・ICT 機器を活用して、文章と図を結び付けた画面を共有しながら、情報を、思考ツール等を活用してまとめる。

調べたもの



POINT③ 「言葉による見方・考え方」を働かせて、分かったことを自分の言葉でまとめる

○目的に応じて文章と図や表を結び付けて読み、見付けた情報をもとに自分の考えをまとめる

- ・自分の見付けた情報を他者と交流し、目的に応じた内容になっているか比較・検討する。
- ・どのような読み方をして、自分の考えをまとめたのかについて振り返る。

《ふりかえり》
文章と図をつなげて「便利さ」に着目して読んだら、筆者の考えがよくわかりました。便利さについて、なぜ必要なのかっていうところまで考えた。ちのくらしをよりよくしていくのだと思いました。

課題

「全国学力・学習状況調査」国語科（中学校）

主語を捉える力

手立て

ゴールが明確な言語活動を設定し主体的な学びを創出する
～『竹取物語』を小学校2年生に向けリライトしよう～

具体例

POINT① 見いだす 学習のゴールを知り、見通しをもつ

○見通しをもたせる

- ・「既習の『竹取物語』を小学校2年生にも分かりやすいように現代語訳し、絵本を作る」というゴールに向け、単元の見通しをもたせる。
- ・学習計画と本単元で身に付けたい力（主述の関係を捉える）を意識させる。

課題意識をもたせる

・古文には、しばしば主語が省略されていることがある。小学校2年生にも分かりやすいように現代語訳するには「誰（何）が」をはっきり記述することが大切である。そのために、主語についての知識を深めることが必要となる。

学習目標を生徒に意識させることで、確かな力を身に付けさせることができます。また、学習計画を活用することで主体的な学びに結び付けます。

POINT② 自分で取り組む・広げ深める 解決の見通しをもつ

○「主語の役割」「主述の関係」について理解を深める

- ・原文は必ずしも直訳する必要はなく、小学校2年生でも「だれがどうした」「なにがどんなだ」などがはっきり分かるように訳を工夫することを意識させる。
- ・様々な絵本を参考に、検討させる。
- ・主語をつくる助詞について理解を深める。

検討
① 翁は名前を・・・
② 翁の名前は・・・

名をば、さぬきの造となむいひける。

よろづのことに使ひけり。

野山にまじりて竹を取りつつ、

今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。

【原文】

とよばれている人が

POINT③ まとめあげる 自分の言葉でまとめを書く

○学習活動を通してどのような力を身に付けることができたか、自分の言葉で書く

- ・できた絵本を実際に読み聞かせる（オンライン会議システムの活用）。
- ・学習目標に照らして、「何ができるようになったか」「何が身に付いたか」について振り返り、自分の言葉でまとめあげる。

次につなげる振り返りをする

・学習の振り返りは、単元の途中でも行い、「粘り強さ」「自己の学習の調整」を見取り、そのことを通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

『竹取物語』以外の様々な古文を活用することも考えられます。また、日本語の特徴として、主語を省略した方がよい場合もありますが、それはどのような時か、ということについても考えさせます。

課題

【国語】古典を主体的に読むことができない

手立て

古典を脚本化する言語活動の取組

POINT① 言語活動の見本を示し、分析させて学習の見通しをもたせる

POINT② 個々に教材を選び、学習を進めていく

POINT③ 学習で作成した表現物を共有し、古典に親しみ読みを深める

具体例

POINT① 言語活動の見本を示し、分析させて学習の見通しをもたせる

○教師が作成した見本で学習のゴールを示す

- ・古典（枕草子）の魅力を紹介し、興味をもたせる。
- ・古典（枕草子）を脚本化した見本を生徒に見せる。

○見本を分析して学習の見通しをもたせる

- ・古典がどのように脚本として書かれているのか、見本を読んで確認する。
- ・見本の脚本に書かれていることから、どのような学習をどのような順にしたら良いか考えさせる。

先生のような脚本を書いて
みたい。
どの話（章段）で書こうかな。
たくさん読んでみよう。



POINT② 個々に教材を選び、学習を進めていく

○古典（枕草子）のどの章段で脚本を作るのか多読をして決める

- ・現代語訳の本や原文を多読しながら、気に入った章段を選ぶ。

○選んだ章段の内容を脚本にする

- ・台詞やト書きなど脚本の書き方を確認する。
- ・個々に脚本を書き進める。



POINT③ 学習で作成した表現物を共有し、古典に親しみ読みを深める

- ・個々で書き上げた脚本をグループや学級全体で交流し、古典の面白さや現代でも共感できること、脚本を書いた感想などを共有する。
（時間があれば、作成した脚本で実際に演じてみると良い。）

課題

【算数】式や図を言葉で説明できない

手立て

次の3つの活動に様々な単元において取り組む

POINT① 自力解決において、考えを、式・図・言葉で表現する

POINT② ペアやグループでの対話を取り入れ、表現力を高める

POINT③ 全体共有の場で児童の考えをつなぐ

具体例

POINT① 自力解決において、考えを、式・図・言葉で表現する

○低学年から図・言葉でも考えを表現する

- ・具体物操作 → 解決の過程を図で表現する。
- ・問題場面に沿って図に表す。

○式、図、言葉を関連付ける

- ・色分け、ナンバリングなどをし、言葉での説明が図や式とどのように関連しているのかを分かりやすくする。
- ・自力解決後の学び合いを想定し、分かりやすく表現する。

【様々な図】

ブロック図 ○の図 テープ図
線分図 数直線 関係図
液量図 面積図 ペン図 等

POINT② ペアやグループでの対話を取り入れ、表現力を高める

- ・全員が考えを説明する機会を持ち、アウトプットすることにより、自分の考えを確実なものにする。
- ・説明する、質問される、答えるというやりとりによって、よりよい説明になる。

○同じ考えをもつ児童同士の対話の例

- ・それぞれの表現を比べ、検討し、より分かりやすい表現へと高める。

○異なる考えをもつ児童同士の対話の例

- ・友達のかいた図や式だけを見て、どのように考えたのか推測し、説明する。

Aさんの説明は、
図と関連付けて
あって分かり
やすいね。

どちらの図の方
が分かりやすい
かな？



POINT③ 全体共有の場で児童の考えをつなぐ

- ・Aがかいた図を見て、Bが式を立て、Cが説明をする、などの児童の考えをつなぐ活動を行い、説明する力を高める。

課題

「全国学力・学習状況調査」の算数の図形の領域の問題において
自分の考えを自分の言葉で書くことができない

手立て

- POINT① 図形の指導の際には、必要とする情報を選び取る時間を設ける
POINT② 面積を求める学習では、量の保存性や量の加法性を再確認する
POINT③ 自分の考えを筋道立てて説明できる機会を設ける

具体例

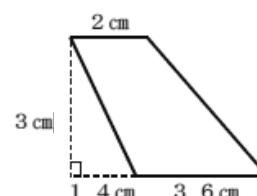
POINT① 図形の面積を求める際に必要な情報を図形から選びだせるようにする

○求積のために必要な情報を正しく読み取ることができるかを
評価する

- ・問題提示の工夫。
(例) 数値を入れず、マス数を数える。求積の際に、使用しない
辺の長さを与える。底辺を常に下に出来るようにしない。
- ・底辺や高さなどを図から読み取る。
- ・底辺や高さを判断した理由を発表する。

○図形と求積公式を関連付けているかを評価する問題を検討し、
評価計画の中に位置付ける

評価問題(例)

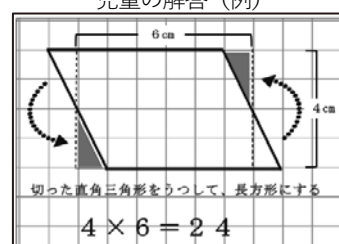


POINT② 「図形を分割して並び替えても面積は変わらないこと」 「2つの図形を組み合わせた図形の面積はその和になること」 を操作を用いて確認する

○量の保存性や量の加法性を感得する

- ・マス目で数える。
- ・図形を動かし、面積が変わらないことを視覚的に理解する。
- ・移動前と移動後の面積の和を比較し、確認する。

児童の解答(例)



POINT③ 自分の考えを筋道立てて説明できるように発表の機会を設ける

○自分の考えや答えを単に伝えるだけでなく、その理由や主張
の根拠を明確に示す

- ・「底辺に垂直に交わる線で切って、台形に分けて長方形にしました。」など、数学的な表現を用いて発表する。
- ・「なぜ分けたの?」「そうすることでどんなよさがあるのかな?」などの具体物操作に関連する切り返しの発問を通して、児童の思考の可視化に努める。



課題

「全国学力・学習状況調査」の算数の記述式において 無解答率が高い

手立て

毎時間の授業の「積み重ね」で、児童の書く力を高める

具体例

POINT① 見いだす 課題を「自分自身のこと」として捉える

○課題を発見し、解決の糸口を考え、解決の見通しをもつ

- ・前時までの学習との違いを捉える。
- ・解決の糸口（もし～だったら、～できるのに）を考える。
- ・既習をどのように工夫したら課題が解決できるか、話し合う。

例えば異分母分数のたし算・ひき算の導入では

- ①今までと違い、分母が同じではない。
- ②もし、2つの数の分母が同じだったら、計算できる。
- ③分母を同じ数にそろえる方法はないだろうか。
→通分する

教師からの課題の提示や、一部の児童の意見だけでの課題を設定する等はいけません。「どう思う」「本当にそうかな」と問いかけ、児童に深く考える機会と時間を与えることが大切です。

POINT② 広げ深める よりよい表現や考えにレベルアップする

○端末を活用し、友達の考えを共有・比較して自分の考えをよりよいものに仕上げる

- ・自分の考えを、学習支援クラウドを活用してまとめる。
- ・児童同士で考えを交流する。
- ・友達の考えを自分の端末に取り入れ、よりよいものにまとめあげる。



自分の考えを端末でまとめる。

友達の考えを端末に送信してもらい、自分の考えと比較しながら、よりよい表現にまとめていく。



もらった考えを端末上で整理し、考えを深めていく。

POINT③ まとめあげる 自分の言葉でまとめを書く

○学習活動を通してまとめた考えを、自分の言葉で書く

- ・端末にある自分や友達の考え方をもとに、自分の考えを深め、まとめる。
- ・友達と自分との違い、自分の考えの変容などに着目して書く。

- ①端末に書かれていることを使って学習事項のまとめを書く。
- ②端末上の考えを整理したり友達と自分の考えを比較したりすることで、気付いたことや、自分の考えの変容（なぜ、どのように変容したか）などに着目して、「振り返り」を書く。

児童が主体的に学習に取り組むことによって、「まとめ」や「振り返り」を自分の言葉で書けるようになります。話し合い活動を行うときに、まとめや振り返りを意識して活動させましょう。

課題

「全国学力・学習状況調査」の算数の記述などで 子供の表現力に課題がある

手立て

対話を通して子供の表現力の向上を図る

具体例

先生の話す時間が長ければ長いほど、子供が思考し表現する時間が減ります。
子供が考え、表現する時間を確保するために、先生が話す時間の縮減を図りましょう。

POINT① 事前チェック 「先生が話す時間」を減らすために

○チェックポイント

- ・子供の発言を復唱していないか。
- ・子供が単語で答えられるような発問ばかりしていないか。
- ・授業の大事なポイントを先生が話をしていないか。

- ①先生が復唱すると、子供は「先生の分かりやすい説明を聞けばいい」と友達の発言をしっかり聞く必然性や必要感がなくなります。
- ②子供に単語で答えられるような質問をしても、子供の表現力は伸びません。主語・述語を適切に用いて説明ができるような発問を心がけましょう。
- ③大事なことは、「子供が発見し、子供の言葉で子供同士が伝え合うようにする」ことです。

POINT② 指導改善 対話を通じて、子供が思考し表現する機会や時間を増やす

○改善ポイント

- ・友達の発言の復唱は、子供にさせる。
- ・発問は、思考を揺さぶることができるように吟味し、焦点化する。
- ・対話を通して、子供の気付きを大切にする。

- ①子供の発言の後、先生がすぐに話さず、子供たちに「どう思う？」と投げかけ、友達の話を聞く習慣を身に付けさせるとともに、友達の意見に対して自分の意見をもつように指導しましょう。もし、復唱が必要なときは、「今の考え、もう一度言える人？」などと子供に復唱させましょう。このような子供と子供の発言をつなぐ取組が、子供の思考し表現する力を育てます。

- ②例えば1年生の「くりさがりのあるひきざん」ならば、「どうやって引けばいいでしょうか？」と聞くだけでなく、「13-9の9は、どうやって引けばいい？数図ブロックで説明できるかな？」と、引けない9を焦点化させるとともに、どんな活動をしたらいのか、子供が見通しをもてるようにしましょう。

- ③本時の内容で大切なことを先生が説明してしまうと、子供は先生の話等待つようになり、深く考えなくなってしまう。自分たちで大切なことに気付いたときは、積極的にその発見を伝えようとしています。この「伝えたい」と思う気持ちが、思考し表現する力を伸ばします。「伝えたい」と思う「大発見」を子供ができるようにしましょう。

課題

【理科】主体的に探究するための資質・能力の育成不足

手立て

次の3場面を、様々な単元において設定する

POINT① 事象を論理的に整理・表現する場面

POINT② 科学的な概念を働かせて様々な活動に取り組む場面

POINT③ 情報を批判的に判断する場面

具体例

POINT① 事象を論理的に整理・表現

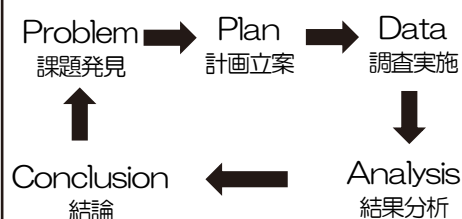
OPPDAC サイクルの充実

- ・PPDAC サイクルに基づく探究活動。
- ・対照実験の重要性。

○実験や観察のアブストラクト(全体像)を作成&共有

- ・目的 - 手順 - 結果 - 考察 - 展望を端的に表現。
- ・アブストラクトを共有し、表現を推敲。

【PPDAC サイクル】



POINT② 科学的な概念を働かせた取組

○専門用語の定義の明確化

- ・具体例や経験から、自分たちで定義を検討。
- ・自分たちの定義と学術的な定義の差を検討。

○専門用語を用いたアウトプット

- ・エネルギーやイオン等の専門用語を用いた表現。
- ・身近な現象を、専門用語を用いて解釈&説明。

(例) エネルギーの視点から、オルゴールが鳴る仕組みを説明してみよう。



POINT③ 情報を批判的に判断

○情報の真偽を判断

- ・情報の根拠を明らかにしようとする姿勢。
- ・根拠の真偽を明らかにしようとする姿勢。

○事象の関係を判断

- ・因果関係や相関関係等、誤認しやすい関係に留意。
- ・今回、観察された関係を一般化。

(例)

Aが増加したら、Bも増加した。したがって、Bを増加させたいのであれば、Aを増加させればよい。

・・・本当か？



課題

【英語】自分の考えやその理由を書く能力が低い

手立て

コミュニケーションにおける目的・場面・状況の設定と多様な表現の理解

POINT① 目的・場面・状況設定の明確化

POINT② コミュニケーションにおける背景理解

POINT③ 書くこと・話すことにおける多様な伝え方の理解

具体例

POINT① 目的・場面・状況設定の明確化

○自分自身を表現する機会をつくりだす

- 特定の言語材料を使って表現することを主の目的にするのではなく、学習した言語材料を使って表現したり、理解したりする目的・場面・状況を明確に設定することで、実際に近いコミュニケーションを生み出すことができる。そして、それが学習意欲につながることが期待できる。

(例) 現在完了が言語材料の単元

×現在完了（経験）を使って英作文を書かせる活動
○ALTへおススメの場所紹介する活動

冬休みに日本国内で旅行をしたい！行ったことがない所に行ってみたい。日本の文化を体験したい！

私は○○へ行ったときに、そこで□をつくったことがい思い出！それを伝えてみよう。

×現在完了（継続）を使って英作文を書かせる活動
○外国人の転校生へ助言する活動

どんな部活動があるのだろう。みんなはどんな習い事しているのだろう。

ぼくは2年間卓球部に所属しているから、熱めてみよう。小2のときからピアノを習っていることも伝えてみよう。

POINT② コミュニケーションにおける背景理解

○言語文化や慣習に基づく適切な表現を学ばせる

- 実際に近いコミュニケーションを生み出すためには、その国の言語文化を理解する必要がある。指導者がこれらを理解し、伝えていくことで学びに深まりが生まれる。
- 右の例は、日本語（文化）に基づく解釈をすると、混乱が生じる可能性があることを示している。

(例) 否定疑問文への返答

外国の友人

Do you like dancing?
「きみ、踊るの好き？」

Really?
Don't you like dancing?
「本当に？好きじゃないの？」

日本人の私

No, I don't.
「いや、好きじゃありません。」

Yes, I do. X
「うん、好きです。」

No, I don't. O
「うん、好きじゃないです。」

POINT③ 書くこと・話すことにおける多様な伝え方の理解

○場面に応じた適切な表現を学ばせる

- 同じテーマや、同じ内容を表現するのでも、手段（やり取り・発表・書く）や場面（フォーマルな場・カジュアルな場）、目的（交流や面接など）によって伝え方は変わってくる。これらを理解することによって、多様な表現を習得することができるようになる。

(例) 中学校での思い出を伝える

ALTとやり取りする

面接形式で伝える

クラスメイトに発表する

学級の掲示物として作成する

高校の先生等に送附で発表する

ALTの知り合いに手紙を書く

課題

「全国学力・学習状況調査」の児童生徒の質問紙において 振り返りを計画的に位置付ける必要性がある

手立て

- POINT① 働かせた見方・考え方を板書し、まとめに使えるようなポイントをノートに残す習慣をつけ、振り返る際の材料とする
POINT② 学習の過程を振り返る時間を設け、全体で共有する
POINT③ 振り返るポイントを明確にする

具体例

POINT① 働かせた見方・考え方を板書したり、授業中に大切だと感じたポイントを記録する習慣をつけたりし、振り返りの際の材料とする

振り返る際に、自分自身の学習の足跡を振り返らせるために、

- 本時の学習における自分の見通しを書かせる
- 大切な気づきやアイデアを吹き出しなどを用いて記録に残させる
 - ・自分にはなかった考えやアイデアを大切にさせる。
- 働かせた見方や考え方を板書に残す



POINT② 本時の学習を振り返る時間を確保し、全体で共有する場を設ける

- 新たな自分を発見し、授業の構成を見直し、熟考できる時間を確保する
- 振り返りを効果的に活用する
 - ・授業の終末場面で紹介し、全体で共有する。
 - ・ポートフォリオを活用し、資料の一つとする。
- 発表の形態を工夫する
 - ・ICT機器等を活用して、一斉に画面に提示する 等。
- 次の時間の学習へつながる振り返りとする
 - ・本時の学習を振り返るだけでなく、新たに生まれた疑問や次への課題も書く。
 - ・次の授業の導入場面で紹介し、既習内容を想起したり、本時の学習のめあてを明確にしたりする。

振り返りの具体例

平行四辺形も、長方形や三角形に形を変えれば求められることがわかった。
次の図形も、長方形や三角形に変えれば求められると思う。

POINT③ 振り返りのポイントを明確にする

- どのような問題を解決したのか？【＝ 問題】
- 問題を解決するために自分がどのように考えを進めたのか？【＝ 自分の考え、思考過程】
- 問題を解決するための友達の考えにはどのようなものがあるのか？【＝ 友達の考え】
- 話し合った結果、どの考え方や方法がよりよいものだったか？【＝ 価値付け】
- 大切な考え方や方法、技能のポイントや覚えておくべき知識は何か？【＝ まとめ】

課題

問題を解決するための思考力や、自分の考えを適切に表現する力が低い

手立て

「思考し、表現する力」を高める活動の中で効果的にICTを活用する

具体例

POINT① 個に応じた学習の充実（自身の考えをしっかり形成する）

○自分の考えをノートに書く時間を確保するとともに、適切な支援をする

- ・問題解決の方法を見通す時間を確保し、共有する。
 - ・クラウドを用いて、既習事項や考え方のヒントを必要な時にタブレットで見られるようにする。
- ※まずは自分の考えをしっかり形成する。

- ・問題解決に必要な見方・考え方を一覧にして掲示
- ・問題解決の見通しをプロジェクターやタブレットで共有
- ・やることは言葉の指示だけでなく可視化（UDの視点）

POINT② 「思考し、表現する力」を高める対話活動

○書いたものを共有し、自身の考えを広げ深める

- ・ペアやグループでノートを見せながら自分の考えを伝え合う機会を設ける。
 - ・カメラ機能を用いてノートを撮影し、共有する。
- ※様々な考えに触れることで、自身の思考力、表現力を高める。

- ・ノートを用いた発表（見せるノートを意識）
- ・話し方、聞き方の視点を明示
- ・ICTを用いて考えを共有することで、効果的、効率的な比較検討を実施

POINT③ 自分の言葉でまとめを書く

○自分の言葉で、学習問題に対するまとめや問題解決に有効だった見方・考え方を記述する

- ・ペアやグループでの対話活動、全体での比較検討の場面で、様々な考えに触れる。
 - ・教師は比較検討の中で出てきた意見から、ねらいに迫るものを吹き出し等で強調する。
- ※身に付けた知識及び技能、考え方等を定着させる。

- ・自分の言葉でまとめを書く時間をしっかり確保
- ・まとめを書けるような授業展開とノート指導
- ・カメラ機能とクラウドを用いて、書いた内容を共有

課 題

「全国学力・学習状況調査」における 教科・質問紙調査の結果を組織的に活用できていない

手立て

教科・質問紙調査での課題に対し、「推進体制の構築」「授業改善」「家庭の協力」「教育課程の編成」の4つの観点を意識して施策を立てる

具体例

POINT

調査の結果から自校の課題をつかみ、4観点を網羅した取組を行う

- 1 「推進体制の構築」（校内研修、学テの分析等）
 - 2 「授業改善」（学習規律、実践プログラムの活用、まとめを自分の言葉で書く等）
 - 3 「家庭の協力」（家庭学習の確認依頼、生活習慣について保護者会で話題にする等）
 - 4 「教育課程の編成」（朝学習の実施、放課後10分間学習等）
- 一部の教師や教科担当だけでなく、学校全体で4観点を意識化し、組織的に取り組む。

＜4観点を網羅した施策をたて、学力向上に成果がみられた小学校の取組（北総地区）＞

「推進体制の構築」

① 調査問題の分析

- 全国学力・学習状況調査や総合学力調査の結果を各学年で分析
- 誤答、無解答の割合を取り出し、実態を把握

大問	小問	設問内容	誤答割合	無解答割合
5	1	240gの30%は何gかを求めて選ぶ	13.4%	0%
	2	割合の文章から、もとにする量と比べられる量を読み取る	33.4%	0%
	3イ	いちごが好きな人数と割合をもとに全体の人数を求める	46.7%	20%

② 指導方法の工夫

- 授業で使える指導方法を提示
- 「全国学力・学習状況調査を活用したアイディア例」の指導案を単元一覧に位置付け

学習過程	指導方法
見いだす	・本時の考えのもととなることを、既習事項で振り返る場面を設定 ・具体物を使って提示 ・実生活の中から素材などを提示
自分で取り組む	・既習事項を振り返らせ、見通しをもたせる ・考えの手立てとなるキーワード（考えのもと）を出させる

「授業改善」

① 調査問題から授業づくり

- 全国学力・学習状況調査を全職員で解き、今求められている力を分析
- 誤答の多い問題に対しての授業づくり

② 話型の活用

- 話型のモデルや聞き手の型を掲示
- 授業で活用できるよう、「話す・聞くチェックシート」を作り、児童の意識化を図る



授業づくりの様子

	話し方の型	聞き方の型
1 ・ 2 年	自分の考えを 分かりやすく話そう。 ○ブロック、図などをつかって話そう ・ブロックをつかって… ○じゅんじょが分かることばをつかって話そう	友だちの考えを さいごまでしっかりと聞こう。 ○話す人に体をむけ、うなずきながら聞こう ・うんうん ○どんな考えか、しずかに聞こう ・なるほど・わかったよ・そうなんだ・へえ
3 ・ 4 年	自分の考えを 分かりやすく話そう。 ○絵や図、表を使って話そう ・この図のように… ○けつろんを言ってから、理由を	自分の考えと くらべながら聞こう。 ○話し手に、はんのうしながら聞こう ・わかるわかる・そうだよ・それでそれで ○自分の考えと同じところ、ちがうところを

「家庭の協力」

- ① 毎日の家庭での学習習慣の確立
(10分) × (学年) を学習の目安時間として、年度始めに手紙や学校便りを活用して保護者に協力依頼
- ② 「家庭学習がんばり表」の活用
実施時間や振り返りを記入するようにし、児童の取組を教師が把握

/ ()		宿 題		分
保護者印	担任印	自学	計画	分
/ ()		宿 題		分
保護者印	担任印	自学	計画	分

「教育課程の編成」

○ 朝の10分間の活動

- ・月、水 ➡ 読書タイム
- ・火、金 ➡ はげみの時間 (学習の基礎・基本の定着を図る)
- ・木 ➡ 聴く聞くドリル (聞く力を高める)

課題

【校内研修】「全国学力・学習状況調査」の研修における活用率が低い

手立て

- POINT① 校内研修 1：実施直後の自校の実態分析
 POINT② 校内研修 2：調査問題のねらいの把握と「授業づくり」の検討
 POINT③ 校内研修 3：調査問題を生かした授業実践

具体例

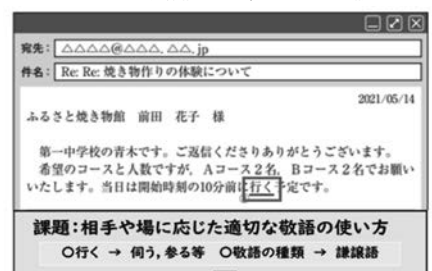
POINT① 校内研修 1：実施直後の自校の実態分析

- 国語、算数・数学等の年度当初の実態把握
- ・児童生徒の解答の写しを取り、職員研修で仮採点を行い、年度当初に実態を把握する。
- 児童生徒質問紙の重点設問に関する実態把握
- ・児童生徒の学習への意識や授業への取組状況、家庭学習の状況等を把握する。



POINT② 校内研修 2：調査問題のねらいの把握と「授業づくり」の検討

- 調査問題のねらいを把握
- ・仮採点により、調査問題のねらいや求められている資質・能力を把握する。
- 調査問題のねらいをもとに「授業づくり」を検討
- ・これまでの授業の振り返りを行い、「どのような授業づくりを行っていけばよいか」を検討する。



実生活の場面を想定した言語活動を位置付けた学習

R3 中学校国語④ より

POINT③ 校内研修 3：調査問題を生かした授業実践

- 「思考し、表現する力」を高める授業実践
- ・実践モデルプログラムを取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。
 - ・調査問題を生かした研究授業を行う。
 - ・授業とリンクした「主体的に取り組める家庭学習」の在り方を検討する。



課題

児童生徒質問紙6「自分にはよいところがあると思う」から 自己肯定感が低い子が多い

手立て

自分の考えを表す場面を設定し、表現したことを認め、評価する

具体例

POINT① 主体的に取り組める課題を設定し、表現の場を設ける

○生活に関わる課題、必要感のある課題など、自分ごととして捉えることのできる課題を設定する

- ・児童生徒がもっている疑問から課題を作りあげる。
- ・身近な生活や社会に関連する課題を設定する。

○課題の解決に向けて、自分の考えを表現する場面を意図的に設ける

- ・自分の考えを整理する時間を確保する。
- ・自分の考えを全体、グループに伝える場を設定する。

- ・疑問に思っていること
「なぜ…」、「どうして…」
- ・解決したいこと
「どうしたら…」
- ・興味・関心をもったこと
「さらに詳しく…」
- ・可能性
「～できるだろうか？」

POINT② 認め合いのできる場面設定と学習形態を工夫する

○対話的な学習活動をねらった場面を設定する

- ・協働して解決できる場面の設定。
- ・多面的な見方や複数の考え方を引き出せる場面の設定。

○課題や場面に応じた学習形態を工夫する

- ・「班学習」
いろいろな考え方があることに気づき、相違点、共通点を整理して思考を深める。
- ・「ペア学習」
相手との意見の違いを比較しながら、自分の考えを深め、よりよいものにしようとする。

- 話し合いの場でのルール
- ・相手の話を目を見ながら反応してしっかりと聞く。
 - ・自分の考えを、根拠を明確にして伝える。
 - ・仲間の意見、考えを肯定的に受け入れる。
 - ・仲間のよいところを具体的に称賛する。

POINT③ 自分の取組を振り返る場面と、認め、評価する場面を設ける

○「自分がやった」という実感をもたせる

- ・自分が分かったこと、できるようになったことを振り返りシート、自己評価カード等に記録を残し、成果を確かめられるようにする。

○表現したことを認め、評価する

- ・児童生徒の振り返りに対し、児童生徒の変化に気づき、適切に評価し、具体的な場面を取り上げて褒めることができるようにする。

褒めるときポイント

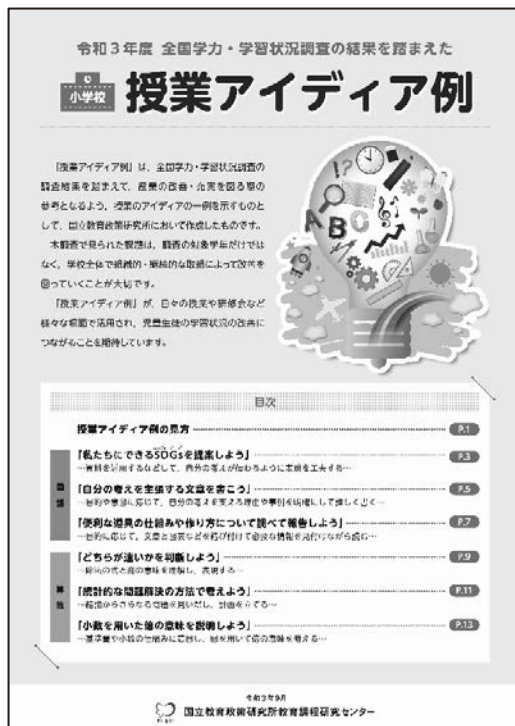
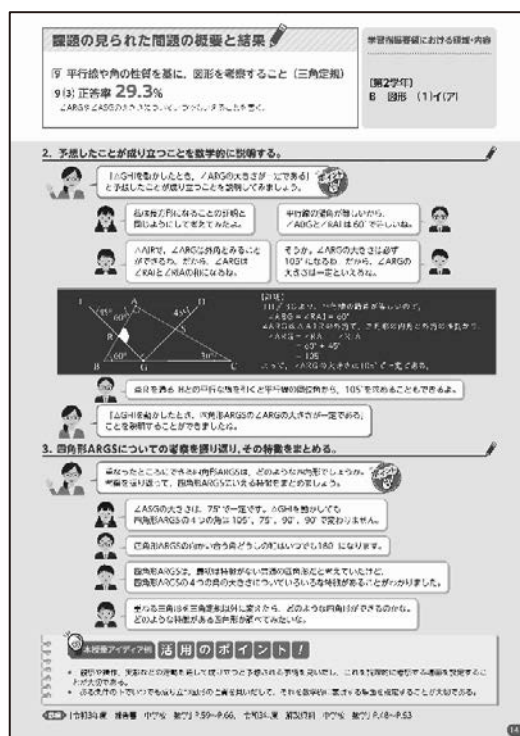
- ・具体的な場면을認め褒める。
- ・タイミングよく褒める。
- ・思いを汲み取って褒める。

授業アイディア例

检索！



**分析結果を
授業改善に
活用して
いきましょう！**

[illegible]

V 質問紙調査回答結果集計データ

- 1 児童生徒質問紙調査
- 2 学校質問紙調査

回答結果集計 [児童・生徒質問紙] 千葉県－児童・生徒（公立）

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,594	756	44,571	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

1段目：千葉県（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（％） 2段目：全国（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（％）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢										その他	無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(1) 小	朝食を毎日食べていますか	小学校	千葉県 全国	85.5 85.8	9.0 9.1	4.0 3.9	1.4 1.2							0.0 0.0	0.0 0.0	94.5 94.9	-0.4	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
(1) 中		中学校	千葉県 全国	80.0 81.8	11.9 11.0	5.4 4.9	2.6 2.2							0.0 0.0	0.0 0.0	91.9 92.8	-0.9	
(2) 小	毎日、同じくらいの時刻に寝て いますか	小学校	千葉県 全国	37.2 38.3	43.0 42.9	16.3 15.5	3.5 3.2							0.0 0.0	0.0 0.0	80.2 81.2	-1.0	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
(2) 中		中学校	千葉県 全国	34.3 36.3	43.8 43.5	17.7 16.5	4.1 3.7							0.0 0.0	0.1 0.0	78.1 79.8	-1.7	
(3) 小	毎日、同じくらいの時刻に起きて いますか	小学校	千葉県 全国	53.4 55.0	36.8 35.4	8.1 7.9	1.7 1.6							0.0 0.0	0.0 0.0	90.2 90.4	-0.2	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
(3) 中		中学校	千葉県 全国	54.9 57.6	37.2 35.1	6.6 6.1	1.3 1.1							0.0 0.0	0.1 0.0	92.1 92.7	-0.6	
(4) 小	携帯電話・スマートフォンやコン ピュータの使い方について、家の 人と約束したことを守っています か	小学校	千葉県 全国	39.0 38.0	31.2 32.1	4.1 4.7	0.8 0.9	11.8 11.8	13.1 12.4					0.0 0.0	0.1 0.0	70.2 70.1	0.1	1. きちんと守っている 2. だいたい守っている 3. あまり守っていない 4. 守っていない 5. 携帯電話・スマートフォンやコン ピュータは持っているが、約束はない 6. 携帯電話・スマートフォンやコン ピュータを持っていない
(4) 中		中学校	千葉県 全国	32.3 30.9	37.5 37.0	6.4 6.6	1.6 1.5	18.7 18.9	3.3 4.8					0.1 0.1	0.2 0.1	69.8 67.9	1.9	
(5) 小	普段（月曜日から金曜日）、1日 当たりどれくらいの時間、テレビ ゲーム（コンピュータゲーム、携 帯式のゲーム、携帯電話やスマ ートフォンを使ったゲームも含む） をしますか	小学校	千葉県 全国	17.0 15.5	13.6 13.5	19.4 20.4	25.6 26.8	16.7 16.5	7.5 7.2					0.0 0.0	0.1 0.1		1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない	
(5) 中		中学校	千葉県 全国	17.5 16.7	15.7 15.6	23.9 24.7	23.0 23.0	12.3 12.4	7.2 7.3					0.0 0.1	0.3 0.3			
(6) 小	自分には、よいところがあると思 いますか	小学校	千葉県 全国	33.7 36.2	42.5 40.7	16.1 15.5	7.6 7.5							0.0 0.0	0.0 0.0	76.2 76.9	-0.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
(6) 中		中学校	千葉県 全国	31.9 34.5	41.8 41.7	18.0 16.6	8.2 7.1							0.0 0.0	0.1 0.0	73.7 76.2	-2.5	
(7) 小	将来の夢や目標を持っていますか	小学校	千葉県 全国	60.6 60.2	20.7 20.1	10.6 10.8	8.1 8.9							0.0 0.0	0.0 0.0	81.3 80.3	1.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
(7) 中		中学校	千葉県 全国	39.2 40.5	28.6 28.1	20.0 19.5	12.0 11.8							0.0 0.0	0.1 0.1	67.8 68.6	-0.8	
(8) 小	自分でやると決めたことは、やり 遂げるようにしていますか	小学校	千葉県 全国	34.5 35.9	48.9 48.4	14.6 13.8	2.0 1.9							0.0 0.0	0.0 0.0	83.4 84.3	-0.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
(8) 中		中学校	千葉県 全国	35.2 34.7	48.5 49.5	13.9 13.7	2.2 2.0							0.0 0.0	0.1 0.1	83.7 84.2	-0.5	
(9) 小	難しいことでも、失敗を恐れない で挑戦していますか	小学校	千葉県 全国	23.1 24.4	46.3 46.5	25.2 24.0	5.3 5.1							0.0 0.0	0.0 0.0	69.4 70.9	-1.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
(9) 中		中学校	千葉県 全国	18.9 20.0	45.2 45.9	29.6 28.3	6.2 5.6							0.0 0.0	0.1 0.1	64.1 65.9	-1.8	
(10) 小	人が困っているときは、進んで助 けていますか	小学校	千葉県 全国	42.7 43.6	45.7 45.1	9.9 9.8	1.7 1.6							0.0 0.0	0.0 0.0	88.4 88.7	-0.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
(10) 中		中学校	千葉県 全国	41.3 41.6	47.2 46.9	9.7 9.8	1.7 1.6							0.0 0.0	0.1 0.1	88.5 88.5	0.0	
(11) 小	いじめは、どんな理由があっても いけないことだと思いますか	小学校	千葉県 全国	82.1 84.1	14.3 12.7	2.5 2.2	1.0 0.9							0.0 0.0	0.0 0.0	96.4 96.8	-0.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
(11) 中		中学校	千葉県 全国	79.2 81.4	16.0 14.5	3.3 2.8	1.3 1.2							0.0 0.0	0.1 0.1	95.2 95.9	-0.7	
(12) 小	人の役に立つ人間になりたいと思 いますか	小学校	千葉県 全国	73.9 75.4	21.3 20.1	3.5 3.3	1.2 1.2							0.0 0.0	0.0 0.0	95.2 95.5	-0.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
(12) 中		中学校	千葉県 全国	72.4 74.3	22.0 20.7	3.8 3.5	1.7 1.5							0.0 0.0	0.1 0.0	94.4 95.0	-0.6	

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]
千葉県－児童・生徒（公立）

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,594	756	44,571	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

1段目：千葉県（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（%） 2段目：全国（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（%）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢										その他	無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
(13) 小	学校に行くのは楽しいと思 いますか	小学校	千葉県 全国	46.7 47.9	36.2 35.5	11.7 11.4	5.4 5.2							0.0 0.0	0.0 0.0	82.9 83.4	-0.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない		
(13) 中		中学校	千葉県 全国	42.1 43.3	37.6 37.8	13.5 12.8	6.7 6.0							0.0 0.0	0.1 0.0	79.7 81.1	-1.4			
(14) 小		自分の思っていることや感じて いることをきちんと言葉で表すこ とができますか	小学校	千葉県 全国	25.3 26.7	43.8 43.6	24.6 23.8	6.2 5.9							0.0 0.0	0.0 0.0	69.1 70.3		-1.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
(14) 中			中学校	千葉県 全国	31.5 32.8	41.6 42.4	21.7 20.2	5.2 4.5							0.0 0.0	0.1 0.0	73.1 75.2		-2.1	
(15) 小	自分と違う意見について考えるの は楽しいと思えますか		小学校	千葉県 全国	26.3 26.6	43.2 43.5	23.4 23.1	7.1 6.8							0.0 0.0	0.0 0.0	69.5 70.1	-0.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
(15) 中			中学校	千葉県 全国	28.6 29.3	45.1 45.4	21.1 20.5	5.0 4.6							0.0 0.0	0.1 0.1	73.7 74.7	-1.0		
(16) 小		友達と協力するのは楽しいと思 いますか	小学校	千葉県 全国	70.7 72.0	22.8 21.9	4.9 4.5	1.6 1.5							0.0 0.0	0.0 0.0	93.5 93.9	-0.4		1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
(16) 中			中学校	千葉県 全国	62.8 65.8	29.4 27.5	5.9 5.1	1.7 1.5							0.0 0.0	0.1 0.1	92.2 93.3	-1.1		
(17) 小	家で自分で計画を立てて勉強をし ていますか（学校の授業の予習や 復習を含む）		小学校	千葉県 全国	28.9 31.2	43.1 42.8	21.3 19.8	6.6 6.1							0.1 0.0	0.0 0.0	72.0 74.0	-2.0	1. よくしている 2. ときどきしている 3. あまりしていない 4. 全くしていない	
(17) 中			中学校	千葉県 全国	19.8 19.4	43.5 44.1	27.0 27.1	9.7 9.4							0.0 0.0	0.1 0.0	63.3 63.5	-0.2		
(18) 小		学校の授業時間以外に、普段（月 曜日から金曜日）、1日当たりど れくらいの時間、勉強をしますか （学習塾で勉強している時間や家 庭教師の先生に教わっている時 間、インターネットを活用して学 ぶ時間も含む）	小学校	千葉県 全国	12.3 11.6	14.4 15.3	32.5 35.6	26.0 24.5	11.2 9.5	3.5 3.5					0.0 0.0	0.0 0.0	59.2 62.5	-3.3		1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない 5. 30分より少ない 6. 全くしない
(18) 中			中学校	千葉県 全国	14.7 12.3	31.6 29.5	32.7 34.1	12.1 14.1	5.7 6.4	3.1 3.5					0.1 0.1	0.1 0.1	79.0 75.9	3.1		
(19) 小	土曜日や日曜日など学校が休みの 日に、1日当たりどれくらいの時 間、勉強をしますか（学習塾で勉 強している時間や家庭教師の先生 に教わっている時間、インター ネットを活用して学ぶ時間も含 む）		小学校	千葉県 全国	9.9 8.6	6.6 6.6	13.7 14.5	30.3 31.3	29.6 28.9	9.7 10.2					0.0 0.0	0.0 0.0	60.5 61.0	-0.5	1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない	
(19) 中			中学校	千葉県 全国	13.8 10.2	19.1 16.6	25.8 26.7	21.5 24.1	13.2 15.0	6.4 7.4					0.1 0.1	0.1 0.0	80.2 77.6	2.6		
(20) 小		学習塾の先生や家庭教師の先生に 教わっていますか（インターネット を通じて教わっている場合も含 む）	小学校	千葉県 全国	47.9 52.6	28.8 25.7	5.8 5.6	9.4 8.5	8.0 7.6						0.1 0.1	0.1 0.0		1. 教わっていない 2. 学校の勉強より進んだ内容や、難しい 内容を教わっている 3. 学校の勉強でよく分からなかった内容 を教わっている 4. 上記2、3の両方の内容を教わっている 5. 上記2、3のどちらともいえない		
(20) 中			中学校	千葉県 全国	28.3 36.4	24.4 19.0	8.8 10.1	34.4 30.0	3.9 4.4						0.1 0.1	0.1 0.1				
(21) 小	学校の授業時間以外に、普段（月 曜日から金曜日）、1日当たりど れくらいの時間、読書をしますか （教科書や参考書、漫画や雑誌は 除く）		小学校	千葉県 全国	8.3 7.4	11.3 10.8	19.0 19.2	22.7 23.8	14.3 14.7	24.3 24.0					0.0 0.0	0.0 0.0	38.6 37.4		1.2	1. 2時間以上 2. 1時間以上、2時間より少ない 3. 30分以上、1時間より少ない 4. 10分以上、30分より少ない 5. 10分より少ない 6. 全くしない
(21) 中			中学校	千葉県 全国	5.9 5.5	9.0 8.6	15.6 14.8	23.7 21.2	11.9 12.4	33.7 37.4					0.1 0.2	0.1 0.1	30.5 28.9		1.6	
(22) 小		あなたの家には、およそどれくら い本がありますか（〔一般の〕雑 誌、新聞、教科書は除く）	小学校	千葉県 全国	10.1 11.1	17.8 18.9	33.6 33.7	20.3 19.2	13.0 12.1	5.1 4.9					0.0 0.0	0.0 0.0	38.4 36.2	2.2	1. 0～10冊 2. 11～25冊 3. 26～100冊 4. 101～200冊 5. 201～500冊 6. 501冊以上	
(22) 中			中学校	千葉県 全国	12.4 14.6	19.8 19.8	32.5 31.5	18.0 17.2	12.5 12.2	4.5 4.5					0.1 0.1	0.2 0.1	35.0 33.9	1.1		
(23) 小	新聞を読んでいますか		小学校	千葉県 全国	4.9 5.1	9.7 9.7	13.2 14.7	72.1 70.4							0.0 0.1	0.1 0.0	27.8 29.5	-1.7		1. ほぼ毎日読んでいる 2. 週に1～3回程度読んでいる 3. 月に1～3回程度読んでいる 4. ほとんど、または、全く読まない
(23) 中			中学校	千葉県 全国	2.7 3.4	6.5 7.0	11.4 12.6	79.1 76.7							0.0 0.0	0.4 0.3	20.6 23.0	-2.4		
(24) 小		今住んでいる地域の行事に参加し ていますか	小学校	千葉県 全国	19.5 26.7	31.0 31.4	26.8 22.8	22.6 19.0							0.0 0.0	0.1 0.1	50.5 58.1	-7.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
(24) 中			中学校	千葉県 全国	10.8 16.3	24.7 27.4	28.8 27.0	35.4 29.1							0.0 0.0	0.2 0.1	35.5 43.7	-8.2		

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]
千葉県－児童・生徒（公立）

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,594	756	44,571	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

1段目：千葉県（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（％） 2段目：全国（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（％）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢										その他	無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(25) 小	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	小学校	千葉県	16.8	34.5	32.8	15.7							0.0	0.1	51.3	-1.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		小学校	全国	17.8	34.6	32.4	15.1							0.0	0.1	52.4		
(25) 中		中学校	千葉県	11.1	28.8	37.4	22.4							0.0	0.1	39.9	-3.9	
		中学校	全国	12.6	31.2	36.2	19.8							0.0	0.1	43.8		
(26) 小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	小学校	千葉県	8.4	29.6	38.9	22.8							0.2	0.1	38.0	-2.1	1. ほぼ毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 月1回未満
		小学校	全国	11.2	28.9	34.9	24.8							0.1	0.1	40.1		
(26) 中		中学校	千葉県	5.2	19.9	36.3	38.3							0.1	0.1	25.1	-8.3	
		中学校	全国	7.4	26.0	35.5	30.7							0.1	0.2	33.4		
(27) 小	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達〔生徒〕と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか	小学校	千葉県	7.7	27.2	32.1	32.8							0.1	0.1	34.9	-4.1	1. ほぼ毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 月1回未満
		小学校	全国	10.0	29.0	29.1	31.7							0.1	0.1	39.0		
(27) 中		中学校	千葉県	7.5	22.5	29.8	40.0							0.0	0.2	30.0	-4.8	
		中学校	全国	9.7	25.1	28.2	36.8							0.1	0.2	34.8		
(28) 小	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	小学校	千葉県	66.0	28.8	3.4	1.5							0.2	0.0	94.8	0.3	1. 役に立つと思う 2. どちらかといえば、役に立つと思う 3. どちらかといえば、役に立たないと思う 4. 役に立たないと思う
		小学校	全国	66.1	28.4	3.5	1.7							0.2	0.0	94.5		
(28) 中		中学校	千葉県	57.8	35.0	4.8	2.3							0.0	0.2	92.8	-0.4	
		中学校	全国	60.4	32.8	4.5	2.2							0.0	0.1	93.2		
(29) 小	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小学校	千葉県	3.9	4.3	12.0	21.6	29.7	19.5	8.9				0.0	0.0	41.8	0.4	1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない 5. 30分より少ない 6. 全く使っていない 7. スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない
		小学校	全国	3.9	4.4	11.6	21.5	29.5	20.0	9.0				0.0	0.0	41.4		
(29) 中		中学校	千葉県	2.9	4.6	13.3	23.2	34.4	18.8	2.4				0.2	0.2	44.0	1.8	
		中学校	全国	2.7	4.3	12.5	22.7	34.5	19.3	3.6				0.2	0.1	42.2		
(30) 小	あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか	小学校	千葉県	83.0	13.2	3.1	0.4							0.1	0.1	96.2	-0.7	1. いつも話している 2. ほとんどいつも話している 3. ときどき話す 4. 全く話さない
		小学校	全国	85.1	11.8	2.5	0.4							0.1	0.1	96.9		
(30) 中		中学校	千葉県	88.0	7.7	2.9	0.7							0.0	0.6	95.7	-0.6	
		中学校	全国	89.2	7.1	2.6	0.6							0.0	0.5	96.3		
(31) 小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	小学校	千葉県	31.6	50.4	15.1	2.8							0.1	0.0	82.0	-0.6	1. 伝えていた 2. どちらかといえば、伝えていた 3. どちらかといえば、伝えていなかった 4. 伝えていなかった
		小学校	全国	33.8	48.8	14.6	2.7							0.0	0.0	82.6		
(31) 中		中学校	千葉県	35.5	47.3	14.1	3.0							0.0	0.1	82.8	-0.9	
		中学校	全国	36.8	46.9	13.2	3.0							0.0	0.1	83.7		
(32) 小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	小学校	千葉県	22.8	39.1	26.2	9.9	1.9						0.0	0.0	61.9	-1.6	1. 発表していた 2. どちらかといえば、発表していた 3. どちらかといえば、発表していなかった 4. 発表していなかった 5. 考えを発表する機会はなかった
		小学校	全国	23.6	39.9	25.5	9.1	1.7						0.0	0.0	63.5		
(32) 中		中学校	千葉県	19.9	39.2	26.7	11.2	2.9						0.0	0.1	59.1	-2.9	
		中学校	全国	21.0	41.0	25.5	9.9	2.6						0.1	0.1	62.0		
(33) 小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	小学校	千葉県	29.6	48.2	18.8	3.3							0.0	0.0	77.8	-0.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		小学校	全国	30.3	47.9	18.4	3.3							0.0	0.0	78.2		
(33) 中		中学校	千葉県	32.9	46.7	17.0	3.3							0.0	0.1	79.6	-1.4	
		中学校	全国	33.5	47.5	15.8	3.1							0.0	0.1	81.0		
(34) 小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか	小学校	千葉県	21.8	42.8	28.3	7.1							0.0	0.0	64.6	-2.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		小学校	全国	23.8	43.4	26.5	6.3							0.0	0.0	67.2		
(34) 中		中学校	千葉県	15.9	38.8	34.9	10.3							0.0	0.1	54.7	-4.8	
		中学校	全国	17.9	41.6	31.6	8.8							0.0	0.1	59.5		
(35) 小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	小学校	千葉県	37.1	42.7	15.4	4.8							0.0	0.0	79.8	-1.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		小学校	全国	39.5	41.9	14.2	4.3							0.0	0.0	81.4		
(35) 中		中学校	千葉県	21.3	49.5	22.8	6.3							0.0	0.1	70.8	-3.5	
		中学校	全国	23.5	50.8	20.2	5.4							0.0	0.1	74.3		

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]
千葉県—児童・生徒（公立）

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,594	756	44,571	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

1段目：千葉県（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（%） 2段目：全国（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（%）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢										その他	無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
(36) 小	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	小学校	千葉県	62.1	33.3	3.8	0.7							0.0	0.0	95.4	-0.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	62.2	33.3	3.8	0.7							0.0	0.0	95.5			
(36) 中		中学校	千葉県	66.9	29.2	3.2	0.6							0.0	0.1	96.1	-0.4		
		中学校	全国	67.1	29.4	2.8	0.6							0.0	0.1	96.5			
(37) 小	学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	小学校	千葉県	30.6	46.3	18.2	4.0	0.8						0.0	0.1	76.9	-1.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない 5. 学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を行っていない	
		小学校	全国	33.0	45.8	16.9	3.6	0.7						0.0	0.1	78.8			
(37) 中		中学校	千葉県	32.2	43.8	17.6	4.9	1.4						0.0	0.2	76.0	-1.8		
		中学校	全国	33.9	43.9	16.2	4.5	1.4						0.0	0.1	77.8			
(38) 小	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか	小学校	千葉県	30.8	46.3	18.6	4.1							0.0	0.1	77.1	-1.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	32.6	45.7	17.6	3.9							0.0	0.1	78.3			
(38) 中		中学校	千葉県	25.7	47.7	21.5	4.8							0.0	0.3	73.4	-1.2		
		中学校	全国	26.3	48.3	20.5	4.6							0.0	0.3	74.6			
(39) 小	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小学校	千葉県	33.2	41.0	20.7	5.1							0.0	0.1	74.2	1.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	31.7	41.3	21.5	5.3							0.0	0.2	73.0			
(39) 中		中学校	千葉県	22.6	41.3	27.5	8.5							0.0	0.1	63.9	-6.3		
		中学校	全国	28.2	42.0	22.6	7.0							0.0	0.2	70.2			
(40) 小	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	小学校	千葉県	31.8	40.4	21.2	6.5							0.0	0.1	72.2	-1.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	32.3	41.1	20.2	6.3							0.0	0.1	73.4			
(40) 中		中学校	千葉県	28.1	44.5	20.8	6.5							0.0	0.1	72.6	-1.3		
		中学校	全国	28.3	45.6	19.8	6.2							0.0	0.1	73.9			
(41) 小	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	小学校	千葉県	28.0	43.5	22.6	5.7							0.0	0.1	71.5	-2.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	30.3	43.2	20.9	5.5							0.0	0.1	73.5			
(41) 中		中学校	千葉県	24.3	44.3	24.0	7.2							0.0	0.2	68.6	-1.2		
		中学校	全国	25.1	44.7	23.2	6.9							0.0	0.2	69.8			
(42) 小	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	小学校	千葉県	43.2	36.0	15.8	4.9							0.0	0.1	79.2	-1.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	45.6	35.5	14.3	4.3							0.0	0.3	81.1			
(42) 中		中学校	千葉県	48.3	37.6	10.5	3.2							0.0	0.4	85.9	-0.3		
		中学校	全国	48.8	37.4	10.2	3.3							0.0	0.4	86.2			
(43) 小	国語の勉強は好きですか	小学校	千葉県	22.3	36.4	27.5	13.8							0.0	0.0	58.7	0.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	22.7	35.7	27.2	14.3							0.0	0.0	58.4			
(43) 中		中学校	千葉県	21.3	35.9	28.5	14.2							0.0	0.1	57.2	-3.6		
		中学校	全国	23.5	37.3	26.8	12.4							0.0	0.1	60.8			
(44) 小	国語の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉県	67.0	25.4	5.4	2.0							0.0	0.1	92.4	-0.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	69.6	23.6	4.8	1.9							0.0	0.0	93.2			
(44) 中		中学校	千葉県	57.0	33.4	7.0	2.5							0.0	0.1	90.4	-1.2		
		中学校	全国	60.0	31.6	6.0	2.2							0.0	0.1	91.6			
(45) 小	国語の授業の内容はよく分かりますか	小学校	千葉県	38.4	45.1	13.1	3.3							0.0	0.1	83.5	-0.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	39.5	44.7	12.5	3.2							0.0	0.0	84.2			
(45) 中		中学校	千葉県	28.0	48.5	18.3	5.0							0.0	0.2	76.5	-3.6		
		中学校	全国	31.5	48.6	15.8	4.0							0.1	0.1	80.1			
(46) 小	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小学校	千葉県	63.3	27.9	6.6	2.2							0.0	0.1	91.2	-0.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	65.2	26.6	6.0	2.0							0.0	0.0	91.8			
(46) 中		中学校	千葉県	49.3	37.0	10.1	3.3							0.1	0.2	86.3	-2.4		
		中学校	全国	53.7	35.0	8.4	2.7							0.1	0.1	88.7			
(47) 小	国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	小学校	千葉県	36.4	44.3	16.2	3.1							0.0	0.1	80.7	-1.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		小学校	全国	38.3	43.9	14.7	3.0							0.0	0.1	82.2			
(47) 中		中学校	千葉県	31.7	46.8	17.5	3.8							0.0	0.1	78.5	-3.3		
		中学校	全国	35.5	46.3	15.0	3.1							0.0	0.1	81.8			

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]
千葉県－児童・生徒（公立）

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,594	756	44,571	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

1段目：千葉県（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（％） 2段目：全国（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（％）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢										その他	無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(48) 小	国語の授業では、目的に応じて、 自分の考えを話したり必要に応じて 質問したりしていますか	小学校	千葉県	22.5	38.7	30.0	8.7							0.0	0.1	61.2	-2.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	25.4	38.4	28.0	8.0							0.0	0.1	63.8		
(48) 中		中学校	千葉県	20.9	37.0	31.7	10.1							0.0	0.2	57.9	-3.4	
			全国	22.7	38.6	29.5	9.1							0.0	0.1	61.3		
(49) 小	国語の授業では、目的に応じて、 自分の考えとそれを支える理由との 関係が分かるように書いたり表現 を工夫して書いたりしていますか	小学校	千葉県	23.6	45.1	25.3	5.9							0.0	0.1	68.7	-2.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	26.3	45.3	23.2	5.0							0.0	0.1	71.6		
(49) 中	国語の授業では、目的に応じて、 自分の考えが伝わるように根拠を 明確にして書いたり表現を工夫して 書いたりしていますか	中学校	千葉県	26.1	44.5	23.6	5.6							0.0	0.2	70.6	-4.0	
			全国	28.6	46.0	20.6	4.6							0.0	0.1	74.6		
(50) 小	国語の授業では、目的に応じて文章 を読み、感想や考えをもったり、 自分の考えを広げたりしていますか	小学校	千葉県	32.0	40.5	21.6	5.7							0.1	0.1	72.5	-1.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	33.8	40.5	20.4	5.2							0.1	0.1	74.3		
(50) 中	国語の授業では、目的に応じて文章 を読み、内容を解釈して自分の 考えを広げたり深めたりしていますか	中学校	千葉県	30.2	44.1	20.6	4.9							0.0	0.2	74.3	-2.7	
			全国	32.2	44.8	18.5	4.3							0.0	0.2	77.0		
(51) 小	今回の国語の問題では、解答を文章 で書く問題がありました。それ らの問題についてどのように解答 しましたか	小学校	千葉県	79.8	17.5	2.0								0.4	0.2	79.8	-1.5	1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2. 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった 3. 書く問題は全く解答しなかった
			全国	81.3	16.2	1.8								0.4	0.2	81.3		
(51) 中		中学校	千葉県	70.6	25.8	3.3								0.0	0.3	70.6	-3.1	
			全国	73.7	23.1	2.9								0.0	0.2	73.7		
(52) 小	算数〔数学〕の勉強は好きですか	小学校	千葉県	37.7	27.2	19.4	15.6							0.0	0.1	64.9	-2.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	40.5	27.3	18.2	13.9							0.0	0.1	67.8		
(52) 中		中学校	千葉県	31.5	27.8	22.9	17.7							0.0	0.1	59.3	0.2	
			全国	31.2	27.9	23.3	17.5							0.0	0.1	59.1		
(53) 小	算数〔数学〕の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉県	73.7	18.9	5.0	2.3							0.0	0.1	92.6	-1.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	76.2	17.6	4.2	1.9							0.0	0.1	93.8		
(53) 中		中学校	千葉県	47.2	35.7	12.4	4.6							0.0	0.2	82.9	-1.2	
			全国	49.3	34.8	11.4	4.3							0.1	0.1	84.1		
(54) 小	算数〔数学〕の授業の内容はよく 分かりますか	小学校	千葉県	48.9	33.3	13.0	4.6							0.0	0.1	82.2	-2.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	51.6	33.0	11.4	3.9							0.0	0.1	84.6		
(54) 中		中学校	千葉県	36.3	38.5	17.9	7.1							0.1	0.2	74.8	0.2	
			全国	35.6	39.0	18.3	6.9							0.1	0.1	74.6		
(55) 小	算数〔数学〕の授業で学習したことは、 将来、社会に出たときに役に 立つと思いますか	小学校	千葉県	70.7	20.9	6.0	2.3							0.0	0.1	91.6	-1.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	72.8	19.8	5.3	2.0							0.0	0.1	92.6		
(55) 中		中学校	千葉県	35.2	37.2	19.4	7.9							0.1	0.2	72.4	-2.2	
			全国	37.8	36.8	18.1	7.1							0.1	0.1	74.6		
(56) 小	算数〔数学〕の授業で学習したことを、 普段の生活の中で活用でき ないか考えますか	小学校	千葉県	38.7	34.5	18.6	8.2							0.0	0.1	73.2	-0.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	39.3	34.6	18.4	7.6							0.0	0.1	73.9		
(56) 中		中学校	千葉県	19.8	30.3	32.1	17.6							0.0	0.2	50.1	-0.5	
			全国	19.7	30.9	31.9	17.4							0.1	0.1	50.6		
(57) 小	算数〔数学〕の問題の解き方が分 からないときは、あきらめずにい ろいろな方法を考えますか	小学校	千葉県	46.7	33.6	14.8	4.8							0.0	0.1	80.3	-2.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	49.4	33.3	13.3	4.0							0.0	0.1	82.7		
(57) 中		中学校	千葉県	37.5	37.2	18.7	6.4							0.0	0.2	74.7	-1.1	
			全国	38.3	37.5	18.1	6.0							0.0	0.1	75.8		
(58) 小	算数〔数学〕の授業で公式やきまりを 習うとき、そのわけを理解す るようにしていますか	小学校	千葉県	52.9	35.0	9.4	2.6							0.0	0.1	87.9	-1.1	1. そうしている 2. どちらかといえば、そうしている 3. どちらかといえば、そうしていない 4. そうしていない
			全国	54.0	35.0	8.7	2.2							0.0	0.1	89.0		
(58) 中		中学校	千葉県	44.7	37.7	12.7	4.5							0.0	0.4	82.4	-1.1	
			全国	45.6	37.9	12.1	4.1							0.0	0.2	83.5		
(59) 小	算数〔数学〕の授業で問題の解き 方や考え方が分かるようにノート に書いていますか	小学校	千葉県	63.0	27.8	7.3	1.8							0.0	0.1	90.8	-1.1	1. 書いている 2. どちらかといえば、書いている 3. どちらかといえば、書いていない 4. 書いていない
			全国	66.0	25.9	6.3	1.6							0.0	0.1	91.9		
(59) 中		中学校	千葉県	58.5	30.1	7.8	3.2							0.0	0.4	88.6	2.0	
			全国	58.0	28.6	8.6	4.6							0.0	0.2	86.6		

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]
千葉県－児童・生徒（公立）

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,594	756	44,571	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

1段目：千葉県（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（％）

2段目：全国（公立）の各校種の児童・生徒数の割合（％）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢										その他	無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(60) 小	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	小学校	千葉	78.1	19.5	1.7								0.4	0.2	78.1	-1.8	1. 全ての書く問題で最後まで解答を書くとうと努力した 2. 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった 3. 書く問題は全く解答しなかった
		全国	79.9	17.9	1.5									0.4	0.2	79.9		
(60) 中	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか	中学校	千葉	53.0	40.4	6.0								0.0	0.6	53.0	-4.8	
		全国	57.8	36.6	5.2									0.0	0.4	57.8		
(61) 小	英語の勉強は好きですか	小学校	千葉	41.2	29.9	17.4	11.3							0.0	0.1	71.1	2.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	38.2	30.1	18.8	12.8								0.0	0.1	68.3		
(61) 中		中学校	千葉	30.8	27.8	22.7	18.4							0.0	0.2	58.6	1.9	
		全国	28.7	28.0	23.7	19.4								0.0	0.1	56.7		
(62) 小	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	小学校	千葉	39.5	35.0	18.5	6.8							0.0	0.2	74.5	-0.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	39.2	35.4	18.2	7.0								0.0	0.1	74.6		
(62) 中	1、2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	中学校	千葉	29.0	36.3	24.2	10.3							0.0	0.2	65.3	-2.4	
		全国	30.5	37.2	22.5	9.7								0.0	0.1	67.7		
(63) 小	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）	小学校	千葉	32.1	16.1	18.7	32.8							0.1	0.2	48.2	3.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	29.5	14.9	18.9	36.5								0.1	0.1	44.4		
(63) 中	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）	中学校	千葉	17.4	18.5	27.6	36.1							0.0	0.4	35.9	1.1	
		全国	16.5	18.3	27.9	36.9								0.0	0.2	34.8		
(64) 小	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	小学校	千葉	30.0	25.3	16.2	21.6	6.6						0.0	0.1	55.3	0.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない 5. 思い出せない
全国		29.8	25.4	16.1	21.7	6.9							0.0	0.1	55.2			
(64) 中		中学校	千葉	36.4	28.2	15.3	14.6	5.1						0.0	0.3	64.6	1.8	
		全国	34.6	28.2	16.2	15.5	5.3						0.1	0.1	62.8			
(65) 小	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	小学校	千葉	29.4	33.9	21.5	10.1	4.9						0.0	0.1	63.3	-1.3	
		全国	29.8	34.8	20.8	9.1	5.3						0.0	0.1	64.6			
(65) 中		中学校	千葉	11.6	24.9	33.3	23.8	6.1						0.0	0.3	36.5	-1.1	
		全国	11.3	26.3	33.5	22.4	6.3						0.1	0.2	37.6			
(66) 小	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	小学校	千葉	30.1	31.5	21.0	12.3	4.9						0.0	0.2	61.6	-1.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない 5. 思い出せない
		全国	31.6	31.5	20.4	11.3	5.2						0.0	0.1	63.1			
(66) 中		中学校	千葉	21.1	25.8	24.8	22.4	5.5						0.0	0.4	46.9	-1.5	
		全国	21.9	26.5	24.7	21.0	5.7						0.0	0.2	48.4			
(67) 小	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）	小学校	千葉	9.4	31.0	78.9	9.2	62.2	10.1	11.4	4.2			0.0	0.2	/	1. 先生に聞いた 2. 友達に聞いた 3. 家族に聞いた 4. 上記1、2、3以外の人に聞いた 5. 自分で調べた 6. 分からないことをそのままにした 7. 分からないことがなかった 8. 思い出せない	
		全国	9.2	31.9	78.8	9.4	62.4	10.1	10.3	4.9			0.0	0.2				
(67) 中		中学校	千葉	7.8	42.7	45.1	12.8	59.9	13.0	6.9	6.6			0.0	0.3			
		全国	7.2	43.9	44.3	12.3	61.6	14.3	6.3	6.9			0.0	0.2				
(68) 小	解答時間は十分でしたか（国語）	小学校	千葉	37.5	33.4	23.9	4.6							0.0	0.6	70.9	0.6	1. 時間が余った 2. ちょうどよかった 3. やや足りなかった 4. 全く足りなかった
		全国	35.6	34.7	24.4	4.8							0.0	0.5	70.3			
(68) 中		中学校	千葉	32.9	42.5	21.5	2.7							0.0	0.3	75.4	0.1	
		全国	33.1	42.2	21.7	2.8							0.1	0.2	75.3			
(69) 小	解答時間は十分でしたか（算数）	小学校	千葉	55.8	27.1	13.7	2.9							0.0	0.5	82.9	1.2	1. 時間が余った 2. ちょうどよかった 3. やや足りなかった 4. 全く足りなかった
		全国	53.0	28.7	14.7	3.1							0.0	0.5	81.7			
(69) 中	〔数学〕	中学校	千葉	44.6	36.7	15.6	2.7							0.0	0.3	81.3	0.8	
		全国	44.7	35.8	16.1	3.1							0.0	0.2	80.5			

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）

小学校・中学校調査

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（G1-1）、（G1-2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%） 2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(1) 小	調査対象日現在の学校の全学年の児童数、生徒数	小学校	千葉県	2.1	8.7	25.5	29.4	27.6	6.6				0.0			1. 4 9人以下 2. 5 0人以上、9 9人以下 3. 1 0 0人以上、2 4 9人以下 4. 2 5 0人以上、4 9 9人以下 5. 5 0 0人以上、7 9 9人以下 6. 8 0 0人以上
(1) 中		中学校	千葉県	2.2	6.1	22.0	36.9	26.7	5.8				0.3			
(2) 小	調査対象日現在の第6学年の児童数、第3学年の生徒数（特別支援学級の児童数、生徒数を除く）	小学校	千葉県	4.4	8.6	11.1	10.2	30.0	22.4	10.8	1.9	0.5	0.1			1. 1 0人以下 2. 1 1人以上、2 0人以下 3. 2 1人以上、3 0人以下 4. 3 1人以上、4 0人以下 5. 4 1人以上、8 0人以下 6. 8 1人以上、1 2 0人以下 7. 1 2 1人以上、1 6 0人以下 8. 1 6 1人以上、2 0 0人以下 9. 2 0 1人以上
(2) 中		中学校	千葉県	1.9	2.5	3.0	5.0	17.6	21.2	15.2	13.5	20.1	0.0			
(3) 小	調査対象日現在の学校の全学年の学級数（特別支援学級を除く）	小学校	千葉県	2.1	37.8	27.9	22.2	6.1	3.2	0.5			0.1			1. 5学級以下 2. 6学級以上、1 1学級以下 3. 1 2学級以上、1 7学級以下 4. 1 8学級以上、2 3学級以下 5. 2 4学級以上、2 9学級以下 6. 3 0学級以上
(3) 中		中学校	千葉県	0.3	10.7	19.8	20.1	16.3	12.9	9.6	6.1	3.9	0.3			
(4) 小	調査対象日現在の第6学年、第3学年の学級数（特別支援学級を除く）	小学校	千葉県	30.8	29.6	22.9	12.2	2.9	0.7	0.1	0.3	0.3	0.3			1. 1学級 2. 2学級 3. 3学級 4. 4学級 5. 5学級 6. 6学級 7. 7学級 8. 8学級以上 9. 複式学級
(4) 中		中学校	千葉県	8.5	18.5	21.2	16.0	13.8	9.9	6.3	5.2	0.0	0.6			
(5) 小	調査対象日現在の学校の全教員数（副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・栄養教諭・講師（常勤）等）	小学校	千葉県	0.0	1.7	22.9	14.8	18.9	16.0	11.6	5.7	8.3	0.0			1. 4人以下 2. 5人以上、9人以下 3. 1 0人以上、1 4人以下 4. 1 5人以上、1 9人以下 5. 2 0人以上、2 4人以下 6. 2 5人以上、2 9人以下 7. 3 0人以上、3 4人以下 8. 3 5人以上、3 9人以下 9. 4 0人以上
(5) 中		中学校	千葉県	0.0	0.0	7.2	16.5	17.4	22.0	13.8	8.8	14.0	0.3			
(6) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕のうち、就学援助を受けている児童〔生徒〕の割合	小学校	千葉県	7.8	29.0	34.0	18.0	5.3	2.5	1.3	0.9	0.4	0.8	36.8	11.4	1. 在籍していない 2. 5%未満 3. 5%以上、1 0%未満 4. 1 0%以上、1 5%未満 5. 1 5%以上、2 0%未満 6. 2 0%以上、2 5%未満 7. 2 5%以上、3 0%未満 8. 3 0%以上、5 0%未満 9. 5 0%以上
(6) 中		中学校	千葉県	3.9	19.8	32.8	29.5	8.3	2.8	1.1	0.8	0.6	0.6	23.7	8.7	
(7) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕は授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小学校	千葉県	37.8	48.3	10.7	3.0						0.1	86.1	-2.4	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
(7) 中		中学校	千葉県	70.0	28.1	1.1	0.6						0.3	98.1	2.1	
(8) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	小学校	千葉県	17.3	62.0	18.3	1.7						0.7	79.3	-6.0	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(8) 中		中学校	千葉県	44.9	51.0	3.9	0.0						0.3	95.9	-2.0	
(9) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小学校	千葉県	36.8	54.0	8.3	0.0						0.9	90.8	-3.8	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(9) 中		中学校	千葉県	39.4	49.3	10.7	0.3						0.3	88.7	-4.0	
(10) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学習規律（他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど）を維持しましたか	小学校	千葉県	51.1	45.0	3.2	0.1						0.7	96.1	-0.8	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(10) 中		中学校	千葉県	77.4	21.5	0.6	0.3						0.3	98.9	0.1	
(11) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	小学校	千葉県	56.0	41.7	1.7	0.0						0.7	97.7	-1.0	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(11) 中		中学校	千葉県	59.2	39.1	0.8	0.0						0.8	98.3	-0.3	

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）

小学校・中学校調査

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（G1.1）、（G1.2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（％） 2段目：全国（公立）の学校数の割合（％）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選 択 肢 凡 例
			全国	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(12) 小	校長として、現在、最も学びたいと感じていることは何ですか	小学校	千葉	5.6	3.4	6.3	11.2	47.5	11.5	12.3	1.7	0.4	0.0			1. リーダーシップに関する新しい研究や理論 2. 国や地方自治体の最新の教育政策 3. 教育の質を向上させるためのデータの活用方法 4. よりよい教育課程の編成 5. 教員の資質能力の向上の方法 6. 授業のよりよい観察方法や、教職員へのより効果的なフィードバックの方法 7. 教職員同士が協力し合う職場環境の作り方 8. 人事管理 9. 財務管理
全国			6.4	4.1	6.2	10.7	46.6	8.7	15.9	1.2	0.2	0.1				
(12) 中		中学校	千葉	3.0	4.4	7.4	13.5	44.4	7.4	17.9	1.7	0.0	0.3			
			全国	6.0	4.4	7.1	13.1	41.9	8.4	17.5	1.3	0.3	0.1			
(13) 小	教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	小学校	千葉	34.5	38.8	15.6	6.1	0.1	4.9				0.0	73.3	-0.6	1. 週1回以上、または、それ以上行った 2. 月に数回程度行った 3. 学期に数回程度行った 4. 年に数回程度行った 5. 行わなかった 6. 特に問題を抱えていなかった
全国			36.2	37.7	16.1	5.1	0.2	4.6				0.1	73.9			
(13) 中		中学校	千葉	26.4	32.5	19.8	10.5	0.8	9.4				0.6	58.9	3.4	
			全国	23.6	31.9	24.6	11.3	0.3	8.1				0.2	55.5		
(14) 小	教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	小学校	千葉	53.0	33.2	9.0	2.2	0.0	2.4				0.1	86.2	1.7	1. 週1回以上、または、それ以上行った 2. 月に数回程度行った 3. 学期に数回程度行った 4. 年に数回程度行った 5. 行わなかった 6. 特に問題を抱えていなかった
全国			53.7	30.8	9.8	3.2	0.1	2.2				0.2	84.5			
(14) 中		中学校	千葉	46.0	28.1	14.9	6.6	0.0	4.1				0.3	74.1	5.8	
			全国	37.4	30.9	17.6	8.2	0.2	5.5				0.2	68.3		
(15) 小	学校として、必要な場合に、変化に柔軟に対応していますか	小学校	千葉	64.7	34.8	0.4	0.0						0.1	99.5	-0.1	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
全国			69.7	29.9	0.2	0.0						0.1	99.6			
(15) 中		中学校	千葉	65.0	33.6	0.8	0.0						0.6	98.6	-0.8	
			全国	67.1	32.3	0.4	0.0						0.2	99.4		
(16) 小	学校として、業務改善に取り組んでいますか	小学校	千葉	35.3	61.0	3.4	0.0						0.3	96.3	-1.2	1. よく取り組んでいる 2. どちらかといえば、取り組んでいる 3. あまり取り組んでいない 4. 全く取り組んでいない
全国			42.3	55.2	2.2	0.0						0.2	97.5			
(16) 中		中学校	千葉	33.6	61.7	4.4	0.0						0.3	95.3	-1.1	
			全国	40.0	56.4	3.4	0.0						0.1	96.4		
(17) 小	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	小学校	千葉	47.5	51.1	1.5	0.0						0.0	98.6	-0.1	1. よく取り組んでいる 2. どちらかといえば、取り組んでいる 3. あまり取り組んでいない 4. 全く取り組んでいない
全国			54.4	44.3	1.2	0.0						0.1	98.7			
(17) 中		中学校	千葉	46.8	51.5	1.1	0.0						0.6	98.3	0.3	
			全国	51.1	46.9	1.9	0.0						0.2	98.0		
(18) 小	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	小学校	千葉	24.7	69.2	6.1	0.0						0.0	93.9	-0.5	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
全国			30.2	64.2	5.4	0.0						0.1	94.4			
(18) 中		中学校	千葉	25.9	64.7	8.8	0.0						0.6	90.6	0.0	
			全国	26.9	63.7	9.1	0.1						0.1	90.6		
(19) 小	児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	小学校	千葉	21.6	70.4	7.9	0.1						0.0	92.0	-1.6	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
全国			31.1	62.5	6.3	0.0						0.1	93.6			
(19) 中		中学校	千葉	22.0	70.0	7.7	0.0						0.3	92.0	-0.7	
			全国	29.8	62.9	7.1	0.0						0.1	92.7		
(20) 小	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小学校	千葉	26.3	63.8	9.9	0.0						0.0	90.1	-4.1	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
全国			37.6	56.6	5.6	0.1						0.1	94.2			
(20) 中		中学校	千葉	17.1	60.3	21.5	0.6						0.6	77.4	-7.2	
			全国	26.1	58.5	15.1	0.2						0.2	84.6		
(21) 小	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	小学校	千葉	33.9	60.4	5.6	0.0						0.1	94.3	-1.3	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
全国			41.2	54.4	4.3	0.0							0.1	95.6		
(21) 中	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	中学校	千葉	33.9	58.7	6.6	0.0						0.8	92.6	-1.7	
			全国	38.9	55.4	5.6	0.0						0.1	94.3		
(22) 小	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	小学校	千葉	60.7	38.2	1.1	0.0						0.0	98.9	0.4	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
全国			61.8	36.7	1.4	0.0						0.1	98.5			
(22) 中		中学校	千葉	48.2	46.8	4.4	0.0						0.6	95.0	-2.2	
			全国	54.3	42.9	2.6	0.0						0.1	97.2		

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）
 ・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

小学校・中学校調査

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（G1-1）、（G1-2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%）

2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）

質問番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(23) 小	授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	小学校	千葉県	58.7	38.4	2.9	0.0						0.0	97.1	-1.0	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国		63.4	34.7	1.7	0.0						0.1	98.1		
(23) 中		中学校	千葉県	36.1	55.1	8.0	0.0						0.8	91.2	-2.7	
		全国		45.9	48.0	5.8	0.0						0.2	93.9		
(24) 小	児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小学校	千葉県	17.2	55.8	26.1	0.9						0.0	73.0	-9.4	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国		26.3	56.1	17.0	0.4						0.1	82.4		
(24) 中		中学校	千葉県	14.9	54.3	29.8	0.8						0.3	69.2	-8.5	
		全国		22.4	55.3	21.6	0.6						0.1	77.7		
(25) 小	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	小学校	千葉県	23.4	54.0	22.0	0.5						0.1	77.4	1.5	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国		22.1	53.8	23.5	0.5						0.1	75.9		
(25) 中	教員は、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	中学校	千葉県	27.8	52.1	19.6	0.3						0.3	79.9	4.3	
		全国		21.6	54.0	23.8	0.4						0.2	75.6		
(26) 小	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	小学校	千葉県	20.9	63.9	15.1	0.1						0.0	84.8	0.2	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国		21.9	62.7	15.2	0.2						0.1	84.6		
(26) 中		中学校	千葉県	22.0	64.7	12.9	0.0						0.3	86.7	2.2	
		全国		20.5	64.0	15.1	0.1						0.2	84.5		
(27) 小	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	小学校	千葉県	37.3	59.1	3.6	0.0						0.0	96.4	0.0	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国		41.5	54.9	3.5	0.0						0.1	96.4		
(27) 中		中学校	千葉県	46.0	51.5	2.2	0.0						0.3	97.5	0.7	
		全国		42.9	53.9	3.1	0.0						0.2	96.8		
(28) 小	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	小学校	千葉県	23.3	58.5	17.9	0.1						0.3	81.8	-5.6	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国		30.7	56.7	12.4	0.1						0.1	87.4		
(28) 中		中学校	千葉県	19.3	53.2	26.7	0.6						0.3	72.5	-6.6	
		全国		23.5	55.6	20.2	0.4						0.2	79.1		
(29) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか	小学校	千葉県	9.7	69.8	20.0	0.3						0.3	79.5	-5.8	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
		全国		18.5	66.8	14.2	0.4						0.1	85.3		
(29) 中		中学校	千葉県	15.2	70.5	13.8	0.6						0.0	85.7	-0.3	
		全国		18.4	67.6	13.7	0.2						0.1	86.0		
(30) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができますか	小学校	千葉県	5.3	51.9	41.1	1.5						0.3	57.2	-11.1	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
		全国		9.7	58.6	30.5	1.1						0.1	68.3		
(30) 中		中学校	千葉県	9.6	64.2	25.6	0.6						0.0	73.8	-1.8	
		全国		12.1	63.5	23.8	0.4						0.1	75.6		
(31) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができますか	小学校	千葉県	8.5	67.1	23.8	0.4						0.3	75.6	-6.8	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
		全国		16.9	65.5	17.1	0.4						0.1	82.4		
(31) 中		中学校	千葉県	13.5	70.2	15.2	0.6						0.6	83.7	-2.9	
		全国		19.3	67.3	13.1	0.2						0.2	86.6		
(32) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	小学校	千葉県	8.6	57.1	33.1	0.8						0.4	65.7	-10.1	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
		全国		13.0	62.8	23.5	0.5						0.1	75.8		
(32) 中		中学校	千葉県	13.2	68.0	17.9	0.8						0.0	81.2	-2.4	
		全国		17.9	65.7	16.0	0.2						0.2	83.6		
(33) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができますか	小学校	千葉県	22.6	66.0	10.4	0.8						0.1	88.6	-1.3	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
		全国		31.3	58.6	9.6	0.4						0.1	89.9		
(33) 中		中学校	千葉県	39.7	53.7	6.1	0.6						0.0	93.4	-1.8	
		全国		41.6	53.6	4.5	0.1						0.1	95.2		

令和３年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）

小学校・中学校調査

・以下の集計値は、５月２７日に実施した調査の結果を集計した値である。

		小学校数		中学校数													
千葉県（公立）		756		363													
※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。																	
※質問番号（３）～（５）、（C1-1）、（C1-2）の選択肢の内容については、『学校質問紙 補足資料』を参照。																	
		各校種の1項目：千葉県（公立）の学校数の割合（％）										2 項目：全国（公立）の学校数の割合（％）					
質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
(34) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、授業において、児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	小学校	千葉県	21.2	60.2	17.6	0.3						0.8	81.4	-6.3	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった	
			全国	30.3	57.4	12.0	0.2					0.2	87.7				
(34) 中		中学校	千葉県	19.3	59.5	20.4	0.6					0.3	78.8	-5.7			
			全国	26.5	58.0	15.1	0.2					0.2	84.5				
(35) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	小学校	千葉県	38.0	55.0	6.2	0.0						0.8	93.0	-3.6	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった	
			全国	50.0	46.6	3.2	0.0					0.2	96.6				
(35) 中		中学校	千葉県	30.0	60.1	9.6	0.0					0.3	90.1	-5.0			
			全国	39.8	55.3	4.7	0.0					0.2	95.1				
(36) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	小学校	千葉県	13.8	70.0	15.5	0.0						0.8	83.8	-4.3	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった	
			全国	21.2	66.9	11.5	0.1					0.3	88.1				
(36) 中		中学校	千葉県	15.4	66.9	16.5	0.6					0.6	82.3	-4.6			
			全国	19.6	67.3	12.8	0.1					0.2	86.9				
(37) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	小学校	千葉県	11.4	62.2	25.8	0.0						0.7	73.6	-7.8	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった	
			全国	16.5	64.9	18.3	0.1					0.2	81.4				
(37) 中		中学校	千葉県	6.6	56.7	35.3	0.8					0.6	63.3	-9.3			
			全国	12.3	60.3	27.1	0.2					0.2	72.6				
(38) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れましたか	小学校	千葉県	7.1	59.7	32.0	0.4						0.8	66.8	-6.3	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった	
			全国	11.7	61.4	26.5	0.3					0.2	73.1				
(38) 中		中学校	千葉県	8.0	50.1	39.9	1.7					0.3	58.1	-9.5			
			全国	10.0	57.6	31.8	0.4					0.2	67.6				
(39) 小	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを８００字（４００字詰め原稿用紙２枚）程度で児童にまとめさせたことがありましたか	小学校	千葉県	11.4	43.4	39.3	5.3						0.7	54.8	-0.6	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった	
			全国	10.8	44.6	40.9	3.5					0.2	55.4				
(39) 中		中学校	千葉県	5.8	24.0	54.5	15.2					0.6	29.8	-10.5			
			全国	7.1	33.2	51.5	8.0					0.2	40.3				
(40) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか	小学校	千葉県	23.1	52.5	22.0	1.7	0.0					0.7	99.3	-0.5	1. 週に１回程度、または、それ以上行った 2. 月に数回程度行った 3. 学期に数回程度行った 4. 年に数回程度行った 5. 行わなかった	
			全国	20.7	49.3	26.6	3.2	0.1				0.2	99.8				
(40) 中		中学校	千葉県	7.4	28.1	45.7	17.9	0.8				0.0	99.1	0.4			
			全国	9.3	30.9	41.4	17.1	1.1				0.2	98.7				
(41) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	小学校	千葉県	27.5	62.0	10.2	0.1						0.1	89.5	-1.2	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない	
			全国	31.6	59.1	8.9	0.2					0.2	90.7				
(41) 中		中学校	千葉県	28.7	54.0	16.8	0.3					0.3	82.7	-5.4			
			全国	33.0	55.1	11.4	0.2					0.2	88.1				
(42) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、学級生活をよりよくするために、学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか	小学校	千葉県	34.8	59.7	5.4	0.0						0.1	94.5	0.0	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない	
			全国	40.5	54.0	5.3	0.1					0.1	94.5				
(42) 中		中学校	千葉県	32.2	61.4	6.3	0.0					0.0	93.6	-0.3			
			全国	37.5	56.4	5.8	0.1					0.1	93.9				
(43) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童〔生徒〕が意思決定できるような指導を行っていますか	小学校	千葉県	27.1	66.1	6.6	0.0						0.1	93.2	-0.1	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない	
			全国	34.4	58.9	6.6	0.1					0.1	93.3				
(43) 中		中学校	千葉県	28.7	62.0	9.4	0.0					0.0	90.7	-1.4			
			全国	31.7	60.4	7.6	0.1					0.1	92.1				
(44) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、特別の教科 道徳において、児童〔生徒〕自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	小学校	千葉県	32.9	63.9	3.0	0.0						0.1	96.8	-0.2	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない	
			全国	40.8	56.2	2.8	0.0					0.2	97.0				
(44) 中		中学校	千葉県	49.0	48.8	2.2	0.0					0.0	97.8	-0.1			
			全国	49.2	48.7	1.9	0.0					0.1	97.9				

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）
 ・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

小学校・中学校調査

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（C1.1）、（C1.2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%） 2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(45) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童〔生徒〕の学習改善に生かすことを心がけましたか	小学校	千葉県	33.3	61.0	4.8	0.0						0.9	94.3	-1.5	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	36.9	58.9	3.9	0.0						0.2	95.8		
(45) 中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童〔生徒〕の学習改善に生かすことを心がけましたか	中学校	千葉県	30.3	65.3	4.1	0.0						0.3	95.6	-0.2	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	34.9	60.9	4.0	0.0						0.2	95.8		
(46) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意味や価値を実感できるようにしましたか	小学校	千葉県	35.1	60.1	4.1	0.0						0.8	95.2	-1.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	40.8	55.8	3.2	0.0						0.2	96.6		
(46) 中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意味や価値を実感できるようにしましたか	中学校	千葉県	32.5	63.4	3.6	0.0						0.6	95.9	0.2	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	35.8	59.9	4.1	0.0						0.3	95.7		
(47) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか	小学校	千葉県	22.5	60.3	16.0	0.5						0.7	82.8	-1.6	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	24.8	59.6	15.2	0.2						0.2	84.4		
(47) 中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか	中学校	千葉県	30.0	59.0	10.5	0.3						0.3	89.0	0.7	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	30.0	58.3	11.3	0.2						0.2	88.3		
(48) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童〔生徒〕に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	小学校	千葉県	57.5	39.4	2.4	0.0						0.7	96.9	-1.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	67.6	30.7	1.5	0.0						0.2	98.3		
(48) 中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童〔生徒〕に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	中学校	千葉県	57.3	42.4	0.3	0.0						0.0	99.7	1.9	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	61.6	36.2	2.0	0.0						0.1	97.8		
(49) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小学校	千葉県	23.3	58.2	17.1	0.5						0.9	81.5	-3.9	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	27.0	58.4	13.9	0.5						0.2	85.4		
(49) 中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	中学校	千葉県	25.9	62.0	11.3	0.6						0.3	87.9	1.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	25.5	61.0	12.7	0.6						0.2	86.5		
(50) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小学校	千葉県	5.6	45.4	47.6	0.7						0.8	51.0	-5.6	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	7.8	48.8	42.2	1.0						0.2	56.6		
(50) 中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	中学校	千葉県	14.9	58.4	26.4	0.3						0.0	73.3	0.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	15.1	57.8	26.2	0.6						0.2	72.9		
(51) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか	小学校	千葉県	19.4	73.0	6.7	0.1						0.7	92.4	1.0	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	22.0	69.4	8.2	0.1						0.3	91.4		
(51) 中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか	中学校	千葉県	34.4	58.7	6.3	0.0						0.6	93.1	-1.7	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	35.8	59.0	4.9	0.1						0.3	94.8		
(52) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか	小学校	千葉県	22.0	66.7	10.6	0.1						0.7	88.7	-4.1	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	29.9	62.9	6.9	0.1						0.2	92.8		
(52) 中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか	中学校	千葉県	28.1	56.5	15.2	0.3						0.0	84.6	-3.7	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	32.0	56.3	11.3	0.1						0.3	88.3		
(53) 小	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか	小学校	千葉県	19.6	67.6	12.2	0.0						0.7	87.2	-2.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	24.5	65.1	10.1	0.1						0.2	89.6		
(53) 中	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか	中学校	千葉県	38.3	56.7	4.4	0.0						0.6	95.0	0.7	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	39.7	54.6	5.3	0.1						0.3	94.3		
(54) 小	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか	小学校	千葉県	24.1	69.4	5.8	0.0						0.7	93.5	-0.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		小学校	全国	30.6	63.3	5.8	0.1						0.2	93.9		
(54) 中	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行いましたか	中学校	千葉県	34.2	59.0	6.3	0.0						0.6	93.2	0.5	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	全国	35.9	56.8	7.0	0.0						0.2	92.7		

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）

小学校・中学校調査

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県（公立）		小学校数	中学校数													
		756	363													
※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。																
※質問番号（３）～（５）、（G1.1）、（G1.2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。																
各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（％）																
2段目：全国（公立）の学校数の割合（％）																
質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
(55) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小学校	千葉 全国	46.0 48.6	46.3 46.0	6.6 5.0	0.3 0.2						0.8 0.2	92.3 94.6	-2.3	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		中学校	千葉 全国	37.7 40.0	53.7 52.7	8.0 6.7	0.3 0.5						0.3 0.2	91.4 92.7	-1.3	
(56) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小学校	千葉 全国	9.5 14.2	51.2 52.9	37.7 32.0	0.7 0.7						0.9 0.2	60.7 67.1	-6.4	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		中学校	千葉 全国	17.1 18.5	57.6 57.3	24.2 23.3	0.8 0.7						0.3 0.2	74.7 75.8	-1.1	
(57) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小学校	千葉 全国	15.1 17.2	65.7 65.0	18.3 17.5	0.1 0.1						0.8 0.3	80.8 82.2	-1.4	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		中学校	千葉 全国	15.4 16.0	62.0 62.1	22.0 21.3	0.3 0.3						0.3 0.3	77.4 78.1	-0.7	
(58) 小	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか	小学校	千葉 全国	28.3 30.8	61.0 61.1	9.7 7.8	0.1 0.1						0.9 0.2	89.3 91.9	-2.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		中学校	千葉 全国	14.0 17.1	58.7 59.1	26.4 22.9	0.8 0.7						0.0 0.2	72.7 76.2	-3.5	
(59) 小	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか	小学校	千葉 全国	36.1 42.7	59.3 54.4	3.8 2.7	0.0 0.0						0.8 0.2	95.4 97.1	-1.7	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		中学校	千葉 全国	41.9 43.0	52.9 53.5	4.7 3.1	0.0 0.0						0.6 0.3	94.8 96.5	-1.7	
(60) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行いましたか	小学校	千葉 全国	33.6 39.2	58.6 53.7	6.7 6.8	0.0 0.1						1.1 0.2	92.2 92.9	-0.7	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		中学校	千葉 全国	34.4 36.8	54.3 52.7	10.7 10.0	0.6 0.3						0.0 0.2	88.7 89.5	-0.8	
(61) 小	調査対象学年の児童に対する英語の指導に当たって、前年度までに、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組みましたか	小学校	千葉 全国	39.0 45.4	51.6 48.1	8.2 6.2	0.4 0.1						0.8 0.2	90.6 93.5	-2.9	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		中学校	千葉 全国	37.5 45.0	52.6 48.3	9.6 6.4	0.3 0.2						0.0 0.2	90.1 93.3	-3.2	
(62) 小	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会などを十分に設けていますか	小学校	千葉 全国	13.9 15.6	46.2 52.0	38.1 30.9	1.3 1.4						0.5 0.2	60.1 67.6	-7.5	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		中学校	千葉 全国	25.6 32.0	58.7 56.4	13.2 10.2	2.5 1.2						0.0 0.1	84.3 88.4	-4.1	
(63) 小	コンピュータなどのＩＣＴ機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか	小学校	千葉 全国	31.1 35.9	56.1 54.5	12.3 9.3	0.3 0.2						0.3 0.1	87.2 90.4	-3.2	1.よくできている 2.できている 3.あまりできていない 4.全くできていない
		中学校	千葉 全国	32.5 35.3	54.0 53.3	12.7 10.8	0.0 0.4						0.8 0.1	86.5 88.6	-2.1	

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）
 ・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

小学校・中学校調査

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（G1-1）、（G1-2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%） 2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(64) 小	コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、遠隔・オンライン授業を行うための準備ができていますか	小学校	千葉県 全国	7.0 9.3	26.7 30.1	48.1 42.5	17.9 18.1						0.3 0.1	33.7 39.4	-5.7	1. よくできている 2. できている 3. あまりできていない 4. 全くできていない
(64) 中		中学校	千葉県 全国	12.7 9.8	28.7 29.7	41.9 42.1	16.8 18.3						0.0 0.1	41.4 39.5	1.9	
(65) 小	コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、校務改善を行うための準備ができていますか	小学校	千葉県 全国	11.1 14.1	58.9 60.0	28.4 24.8	1.3 0.9						0.3 0.1	70.0 74.1	-4.1	1. よくできている 2. できている 3. あまりできていない 4. 全くできていない
(65) 中		中学校	千葉県 全国	10.5 14.2	56.5 57.3	31.1 26.9	1.9 1.4						0.0 0.1	67.0 71.5	-4.5	
(66) 小	前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板など）などのICT機器を活用した授業を、1クラス当たり、どの程度行いましたか	小学校	千葉県 全国	35.2 53.8	43.8 32.8	12.0 8.7	8.5 4.5						0.5 0.2	79.0 86.6	-7.6	1. ほぼ毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 月1回未満
(66) 中		中学校	千葉県 全国	51.8 58.3	32.5 29.5	10.5 7.7	5.2 4.4						0.0 0.1	84.3 87.8	-3.5	
(67) 小	教員は、学習履歴（スタディ・ログ）をはじめとした様々な教育データを、児童〔生徒〕の状況に応じた指導に活用していますか	小学校	千葉県 全国	3.8 7.0	30.8 36.9	53.3 46.4	11.6 9.6						0.4 0.1	34.6 43.9	-9.3	1. よく活用している 2. どちらかといえば、活用している 3. あまり活用していない 4. 全く活用していない
(67) 中		中学校	千葉県 全国	2.8 6.1	26.2 33.0	58.1 49.2	12.4 11.6						0.6 0.1	29.0 39.1	-10.1	
(68) 小	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	小学校	千葉県 全国	28.7 34.9	52.1 49.9	18.0 14.7	0.9 0.4						0.3 0.1	80.8 84.8	-4.0	1. ある 2. どちらかといえば、ある 3. どちらかといえば、ない 4. ない
(68) 中		中学校	千葉県 全国	26.4 31.6	44.1 46.8	27.5 20.2	1.7 1.2						0.3 0.2	70.5 78.4	-7.9	
(69) 小	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ（教員は除く）がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	小学校	千葉県 全国	25.4 22.3	32.4 31.5	19.3 24.0	22.8 22.1						0.1 0.1	57.8 53.8	4.0	1. ある 2. どちらかといえば、ある 3. どちらかといえば、ない 4. ない
(69) 中		中学校	千葉県 全国	23.4 21.7	32.0 30.4	19.6 23.6	25.1 24.3						0.0 0.1	55.4 52.1	3.3	
(70) 小	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ①教職員間の連絡	小学校	千葉県 全国	25.1 40.8	38.4 37.3	29.6 18.0	6.9 3.8						0.0 0.1	63.5 78.1	-14.6	1. よく活用している 2. どちらかといえば、活用している 3. あまり活用していない 4. 全く活用していない
(70) 中		中学校	千葉県 全国	31.4 43.6	39.4 37.0	22.9 15.8	6.3 3.5						0.0 0.1	70.8 80.6	-9.8	
(71) 小	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ②教職員と児童〔生徒〕がやりとりする場面	小学校	千葉県 全国	8.1 10.6	26.2 34.1	45.6 41.0	19.8 14.2						0.3 0.1	34.3 44.7	-10.4	1. よく活用している 2. どちらかといえば、活用している 3. あまり活用していない 4. 全く活用していない
(71) 中		中学校	千葉県 全国	5.5 11.2	27.5 30.3	46.3 41.2	20.7 17.2						0.0 0.1	33.0 41.5	-8.5	
(72) 小	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ③児童〔生徒〕同士がやりとりする場面	小学校	千葉県 全国	3.8 5.2	22.0 24.9	45.8 48.7	28.3 21.1						0.1 0.1	25.8 30.1	-4.3	1. よく活用している 2. どちらかといえば、活用している 3. あまり活用していない 4. 全く活用していない
(72) 中		中学校	千葉県 全国	3.9 5.5	15.4 20.3	45.2 45.8	34.7 28.2						0.8 0.2	19.3 25.8	-6.5	
(73) 小	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ④教職員と家庭との連絡	小学校	千葉県 全国	13.0 10.8	32.8 28.8	34.3 35.9	19.8 24.4						0.1 0.2	45.8 39.6	6.2	1. よく活用している 2. どちらかといえば、活用している 3. あまり活用していない 4. 全く活用していない
(73) 中		中学校	千葉県 全国	13.5 13.0	35.0 30.9	32.0 34.7	19.0 21.1						0.6 0.3	48.5 43.9	4.6	
(74) 小	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ⑤児童〔生徒〕が1人で活用する場面	小学校	千葉県 全国	24.7 25.4	55.8 49.2	16.5 20.6	2.9 4.6						0.0 0.2	80.5 74.6	5.9	1. よく活用している 2. どちらかといえば、活用している 3. あまり活用していない 4. 全く活用していない
(74) 中		中学校	千葉県 全国	14.6 19.8	45.5 42.8	30.3 29.6	9.4 7.7						0.3 0.2	60.1 62.6	-2.5	

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）

小学校・中学校調査

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。
※質問番号（3）～（5）、（G1.1）、（G1.2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(75) 小	あなたの学校では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPＣ・タブレット等の端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小学校	千葉県 全国	0.9 3.2	1.5 3.4	13.1 13.9	52.0 54.6	17.3 13.6	15.2 11.2				0.0 0.1	2.4 6.6	-4.2	1. 毎日持って帰って、毎日利用させている 2. 毎日持って帰って、時々利用させている 3. 時々持って帰って、時々利用させている
(75) 中		中学校	千葉県 全国	0.3 4.8	2.8 3.8	12.1 12.2	50.1 52.3	19.3 16.1	14.9 10.7				0.6 0.1	3.1 8.6	-5.5	4. 持ち帰らせていない 5. 持ち帰ってはいいけないこととしている 6. まだ配備されていない
(76) 小	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童〔生徒〕に対する授業の中で、児童〔生徒〕の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	小学校	千葉県 全国	33.9 40.7	59.1 53.7	5.7 4.8	0.5 0.4						0.8 0.3	93.0 94.4	-1.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(76) 中		中学校	千葉県 全国	39.1 42.7	50.1 50.6	9.4 5.7	0.8 0.5						0.6 0.5	89.2 93.3	-4.1	
(77) 小	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小学校	千葉県 全国	8.3 17.0	36.2 42.1	37.8 31.6	17.1 9.1						0.5 0.2	44.5 59.1	-14.6	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(77) 中		中学校	千葉県 全国	12.4 23.5	36.9 41.5	38.6 27.1	12.1 7.8						0.0 0.2	49.3 65.0	-15.7	
(78) 小	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	小学校	千葉県 全国	8.6 18.1	28.4 39.3	30.3 27.7	32.3 14.8						0.4 0.2	37.0 57.4	-20.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(78) 中		中学校	千葉県 全国	11.3 26.2	29.5 38.9	31.4 23.1	27.5 11.7						0.3 0.1	40.8 65.1	-24.3	
(79) 小	平成31年度（令和元年度）の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有しましたか	小学校	千葉県 全国	5.2 12.5	26.5 35.6	37.8 34.5	30.0 17.2						0.5 0.2	31.7 48.1	-16.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(79) 中		中学校	千葉県 全国	5.8 14.9	20.7 33.6	41.9 33.6	31.4 17.8						0.3 0.2	26.5 48.5	-22.0	
(80) 小	職場見学や職場体験活動を行っていますか	小学校	千葉県 全国	45.6 44.2	54.2 55.7								0.1 0.1	45.6 44.2	1.4	1. 行っている 2. 行っていない
(80) 中		中学校	千葉県 全国	77.4 89.6	22.3 10.3								0.3 0.2	77.4 89.6	-12.2	
(81) 小	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	小学校	千葉県 全国	22.1 23.5	64.4 62.2	12.8 13.9	0.7 0.4						0.0 0.1	86.5 85.7	0.8	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
(81) 中		中学校	千葉県 全国	22.0 26.3	61.7 60.9	15.7 12.3	0.0 0.5						0.6 0.1	83.7 87.2	-3.5	
(82) 小	保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	小学校	千葉県 全国	54.1 54.2	42.1 41.5	3.7 3.9	0.1 0.2						0.0 0.1	96.2 95.7	0.5	1. よく参加している 2. 参加している 3. あまり参加していない 4. 全く参加していない
(82) 中		中学校	千葉県 全国	31.1 30.0	52.6 55.3	13.2 13.3	2.5 1.3						0.6 0.1	83.7 85.3	-1.6	
(83) 小	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、（82）の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	小学校	千葉県 全国	17.9 31.2	42.6 42.1	27.1 18.9	12.4 7.7						0.0 0.1	60.5 73.3	-12.8	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(83) 中		中学校	千葉県 全国	14.0 20.4	42.1 42.9	28.9 25.7	14.6 10.9						0.3 0.2	56.1 63.3	-7.2	
(84) 小	（82）の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小学校	千葉県 全国	40.3 45.8	53.0 48.9	3.4 2.6	0.1 0.3	3.0 2.4					0.0 0.1	93.3 94.7	-1.4	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない 5. 取組を行わなかった
(84) 中		中学校	千葉県 全国	25.1 32.6	62.8 57.2	6.1 4.5	0.6 0.9	5.5 4.7					0.0 0.1	87.9 89.8	-1.9	
(85) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）	小学校	千葉県 全国	29.1 40.6	55.8 50.0	14.2 8.8	0.4 0.4						0.5 0.2	84.9 90.6	-5.7	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(85) 中		中学校	千葉県 全国	27.5 34.0	53.2 51.5	17.6 13.6	1.4 0.7						0.3 0.2	80.7 85.5	-4.8	
(86) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童〔生徒〕に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（教科共通）	小学校	千葉県 全国	33.3 46.3	56.9 49.2	9.1 4.2	0.1 0.1						0.5 0.2	90.2 95.5	-5.3	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
(86) 中		中学校	千葉県 全国	30.3 37.0	57.0 54.9	12.1 7.7	0.0 0.2						0.6 0.2	87.3 91.9	-4.6	

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）

小学校・中学校調査

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。
※質問番号（3）～（5）、（G1-1）、（G1-2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

質問 番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(87) 小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童〔生徒〕が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童〔生徒〕の学習改善に生かしましたか（教科共通）	小学校	千葉県 全国	21.8 29.1	62.0 60.3	15.2 10.1	0.4 0.2						0.5 0.2	83.8 89.4	-5.6	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千葉県 全国	19.6 24.3	57.3 61.1	21.2 14.0	1.1 0.4						0.8 0.2	76.9 85.4	-8.5	
(88-1) 小	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか ①学習指導要領の理解を深めるため、調査対象学年・教科の教員で出題意図を確認している	小学校	千葉県 全国	85.3 91.0	13.9 8.8								0.8 0.2	85.3 91.0	-5.7	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	80.7 88.9	19.0 11.0								0.3 0.1	80.7 88.9	-8.2	
(88-2) 小	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか ②学習指導要領の理解を深めるため、調査対象学年・教科の教員以外の教員も出題意図を確認している	小学校	千葉県 全国	62.3 73.4	37.2 26.5								0.5 0.1	62.3 73.4	-11.1	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	50.4 61.5	49.3 38.3								0.3 0.2	50.4 61.5	-11.1	
(88-3) 小	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか ③学習指導要領の理解を深めるため、校内研修等で、個別の問題を題材として取り上げている	小学校	千葉県 全国	51.7 65.0	47.8 34.8								0.5 0.2	51.7 65.0	-13.3	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	35.8 46.8	64.2 53.1								0.0 0.2	35.8 46.8	-11.0	
(88-4) 小	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか ④問題全体を活用し、校内研修等を通じて、授業の改善を行っている	小学校	千葉県 全国	55.4 69.8	44.0 30.0								0.5 0.2	55.4 69.8	-14.4	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	47.1 59.9	52.9 39.9								0.0 0.2	47.1 59.9	-12.8	
(88-5) 小	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか ⑤学力・学習状況の把握のため、授業の中で取り上げている	小学校	千葉県 全国	62.0 77.9	37.3 22.0								0.7 0.2	62.0 77.9	-15.9	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	57.0 77.4	42.4 22.4								0.6 0.2	57.0 77.4	-20.4	
(88-6) 小	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか ⑥学力・学習状況の把握のため、児童〔生徒〕への家庭学習等の課題の参考としている	小学校	千葉県 全国	52.9 69.8	46.4 30.0								0.7 0.2	52.9 69.8	-16.9	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	45.5 64.7	54.5 35.1								0.0 0.2	45.5 64.7	-19.2	
(88-7) 小	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか ⑦学校が独自に実施するテストや、学力・学習状況調査等で作問する際に参考としている	小学校	千葉県 全国	31.9 49.4	67.5 50.4								0.7 0.2	31.9 49.4	-17.5	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	66.4 77.5	33.3 22.2								0.3 0.2	66.4 77.5	-11.1	
(88-8) 小	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか ⑧教員が独自に作成する教材の内容を検討する際に参考としている	小学校	千葉県 全国	49.7 66.1	49.5 33.6								0.8 0.3	49.7 66.1	-16.4	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	70.0 81.5	30.0 18.3								0.0 0.2	70.0 81.5	-11.5	
(88-9) 小	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか ⑨保護者や地域の人の学校教育活動への協力・連携を進めるために活用している	小学校	千葉県 全国	30.7 45.9	68.8 53.8								0.5 0.3	30.7 45.9	-15.2	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	32.8 43.6	66.7 56.0								0.6 0.4	32.8 43.6	-10.8	
(89) 小	平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小学校	千葉県 全国	19.7 25.5	66.8 66.6	13.0 7.7							0.5 0.2	86.5 92.1	-5.6	1. よく行った 2. 行った 3. ほとんど行わなかった
		中学校	千葉県 全国	13.5 20.3	64.7 67.4	21.5 12.1							0.3 0.1	78.2 87.7	-9.5	
(90-1) 小	全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ①児童〔生徒〕の傾向や課題を把握するために活用している	小学校	千葉県 全国	96.3 98.6	3.0 1.2								0.7 0.2	96.3 98.6	-2.3	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	92.6 97.0	6.6 2.9								0.8 0.2	92.6 97.0	-4.4	

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）

小学校・中学校調査

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（C1_1）、（C1_2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%） 2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）

質問番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(90-2) 小	全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ②学校が実施する学力・学習状況調査等、他の調査結果を組み合わせた分析を行っている	小学校	千葉県 全国	67.5 75.7	32.0 24.1								0.5 0.2	67.5 75.7	-8.2	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	60.9 73.2	39.1 26.7								0.0 0.2	60.9 73.2		
(90-3) 小	全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ③学校が独自に作成する教材の内容を検討する際に活用している	小学校	千葉県 全国	43.3 54.8	56.1 45.0								0.7 0.2	43.3 54.8	-11.5	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	54.5 65.1	45.5 34.7								0.0 0.2	54.5 65.1		
(90-4) 小	全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ④学校が独自に実施するテストや、学力・学習状況調査等で作問する際に参考としている	小学校	千葉県 全国	33.2 48.1	66.3 51.7								0.5 0.2	33.2 48.1	-14.9	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	64.2 77.0	35.5 22.8								0.3 0.2	64.2 77.0		
(90-5) 小	全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ⑤学力向上等の施策の成果・課題、費用対効果等の評価に活用している	小学校	千葉県 全国	62.0 67.0	37.4 32.8								0.5 0.2	62.0 67.0	-5.0	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	50.7 60.2	48.8 39.6								0.6 0.2	50.7 60.2		
(90-6) 小	全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ⑥保護者や地域の人の学校教育活動への協力・連携を進めるために活用している	小学校	千葉県 全国	37.8 56.7	61.6 43.1								0.5 0.2	37.8 56.7	-18.9	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	36.9 51.7	62.8 48.1								0.3 0.2	36.9 51.7		
(90-7) 小	全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ⑦課題が見られた点を中心として校内研修を実施し、授業改善に活用している	小学校	千葉県 全国	78.4 87.7	21.2 12.1								0.4 0.1	78.4 87.7	-9.3	1. はい 2. いいえ
		中学校	千葉県 全国	57.9 76.2	42.1 23.6								0.0 0.2	57.9 76.2		
(91) 小	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小学校	千葉県 全国	19.2 31.0	61.9 57.7	10.3 5.2	8.3 6.0						0.3 0.1	81.1 88.7	-7.6	1. よく行っている 2. どちらかといえば、行っている 3. ほとんど行っていない 4. 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない
		中学校	千葉県 全国	10.2 24.9	62.0 60.9	15.2 8.4	12.4 5.7						0.3 0.1	72.2 85.8		
(C1_1) 小	令和2年4月以降の新型コロナウイルス感染症の影響による地域一斉の学校の臨時休業等の期間	小学校	千葉県 全国	0.4 2.8	0.1 6.8	0.3 4.8	0.1 8.2	1.1 21.3	39.2 23.7	36.5 18.6	11.8 4.4	2.9 3.8	0.5 0.1			1. 10日未満 2. 10日以上、20日未満 3. 20日以上、30日未満 4. 30日以上、40日未満 5. 40日以上、50日未満 6. 50日以上、60日未満 7. 60日以上、70日未満 8. 70日以上、80日未満 9. 80日以上、90日未満 10. 90日以上
(C1_1) 中		中学校	千葉県 全国	0.6 3.2	0.3 6.9	0.3 5.4	0.0 8.3	1.9 21.9	36.1 22.6	38.8 18.5	11.0 4.5	3.3 3.1	0.3 0.1			
(C1_2) 小	C1_1の期間中の短縮授業・分散登校の日数	小学校	千葉県 全国	50.0 60.7	42.3 31.8	4.9 5.6	0.7 0.5	0.7 0.2	0.7 0.1	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.8 1.1			1. 10日未満 2. 10日以上、20日未満 3. 20日以上、30日未満 4. 30日以上、40日未満 5. 40日以上、50日未満 6. 50日以上、60日未満 7. 60日以上、70日未満 8. 70日以上、80日未満 9. 80日以上、90日未満 10. 90日以上
(C1_2) 中		中学校	千葉県 全国	44.6 58.3	48.5 34.2	4.7 5.4	0.0 0.4	0.3 0.2	0.8 0.1	0.3 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.8 1.4			
(C2_1) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ①教科書に基づく学習内容の指示	小学校	千葉県 全国	88.6 83.3	7.1 10.1	2.8 4.9	0.5 0.5						0.9 1.2	95.7 93.4	2.3	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
(C2_1) 中		中学校	千葉県 全国	80.2 83.4	14.0 9.1	3.6 5.0	1.4 1.1						0.8 1.4	94.2 92.5		
(C2_2) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ②学校が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	小学校	千葉県 全国	89.2 88.5	8.2 7.2	1.6 2.8	0.1 0.3						0.9 1.2	97.4 95.7	1.7	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
(C2_2) 中		中学校	千葉県 全国	85.1 87.8	11.6 7.5	1.4 2.9	1.1 0.4						0.8 1.4	96.7 95.3		

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）

小学校・中学校調査

・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（C1_1）、（C1_2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%） 2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）

質問番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(C2_3) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ③教科書会社その他民間が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	小学校	千葉県 全国	63.2 65.8	24.6 20.0	9.7 11.2	1.5 1.7						1.1 1.3	87.8 85.8	2.0	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
		中学校	千葉県 全国	30.9 45.9	29.5 23.7	32.2 24.6	6.3 4.2						1.1 1.5	60.4 69.6		
(C2_4) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ④児童〔生徒〕の自由研究や自主学習ノート等の学習	小学校	千葉県 全国	21.3 32.1	57.7 52.9	16.9 11.0	3.2 2.7						0.9 1.3	79.0 85.0	-6.0	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
		中学校	千葉県 全国	33.1 47.6	37.2 26.5	23.1 18.7	5.0 5.5						1.7 1.6	70.3 74.1		
(C2_5) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑤学校が作成した学習動画等を活用した学習	小学校	千葉県 全国	14.2 13.7	8.6 9.5	73.7 73.2	2.6 2.2						0.9 1.4	22.8 23.2	-0.4	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
		中学校	千葉県 全国	10.7 14.5	14.9 12.2	71.1 69.4	1.4 2.2						1.9 1.7	25.6 26.7		
(C2_6) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑥同時双方向型オンライン指導を通じた学習	小学校	千葉県 全国	0.7 2.2	2.1 3.5	93.5 90.5	2.8 2.5						0.9 1.3	2.8 5.7	-2.9	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
		中学校	千葉県 全国	1.7 3.7	2.2 3.7	92.8 88.7	1.9 2.4						1.4 1.6	3.9 7.4		
(C2_7) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑦都道府県や市町村教育委員会が作成した「問題集」・「復習ノート」等の教材（教育委員会のHPで配信されている場合を含む）を活用した学習	小学校	千葉県 全国	29.0 26.5	32.4 23.8	30.0 42.2	7.5 6.1						1.1 1.4	61.4 50.3	11.1	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
		中学校	千葉県 全国	22.6 26.9	24.8 15.9	37.7 46.9	14.0 8.7						0.8 1.6	47.4 42.8		
(C2_8) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑧都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画等を活用した学習	小学校	千葉県 全国	35.3 23.8	34.1 19.3	18.1 45.7	11.5 9.9						0.9 1.3	69.4 43.1	26.3	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
		中学校	千葉県 全国	29.8 23.3	26.4 13.2	27.5 49.9	15.4 11.9						0.8 1.6	56.2 36.5		
(C2_9) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑨公的機関や民間の音声・動画コンテンツ等を活用した学習（（5）及び（8）を除く）	小学校	千葉県 全国	18.5 15.3	27.1 20.9	41.8 49.8	11.5 12.6						1.1 1.4	45.6 36.2	9.4	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
		中学校	千葉県 全国	11.3 12.8	14.0 12.9	52.9 57.9	20.9 14.8						0.8 1.6	25.3 25.7		
(C2_10) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑩テレビ放送を活用した学習	小学校	千葉県 全国	22.1 15.0	30.0 19.9	35.2 52.6	11.6 11.2						1.1 1.3	52.1 34.9	17.2	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
		中学校	千葉県 全国	10.5 6.8	15.2 6.8	53.2 71.8	20.1 13.0						1.1 1.6	25.7 13.6		
(C2_11) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑪上記以外の民間のデジタル教材を活用した学習	小学校	千葉県 全国	11.2 7.8	15.5 11.4	59.5 66.7	12.6 12.8						1.2 1.3	26.7 19.2	7.5	1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない
		中学校	千葉県 全国	11.3 8.5	8.8 6.7	60.9 69.7	18.2 13.6						0.8 1.6	20.1 15.2		
(C3) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、調査対象児童〔生徒〕の学習状況や生活状況について、どのような手段で把握していましたか（複数選択可）	小学校	千葉県 全国	69.2 59.3	30.3 40.7	65.9 72.5	8.5 6.3	14.3 17.4	8.1 4.8	2.1 5.9	4.0 5.9	9.5 9.3	0.9 1.2			1. 登校日を設定して学校で直接行った 2. 家庭訪問により行った 3. 電話やFAXにより行った 4. 郵便により行った 5. 電子メールやSNSを使って行った 6. オンライン学習支援プラットフォーム・学習管理システム等を活用して行った 7. 同時双方向型オンラインシステムを活用して行った 8. 児童生徒が利用可能な相談窓口を周知・設置して行った 9. 1～8以外の手段により行った 10. 特に行わなかった
		中学校	千葉県 全国	78.0 70.0	36.6 46.4	69.4 71.7	9.4 8.2	12.9 15.7	11.0 7.5	3.3 7.6	9.1 7.9	5.2 3.2	0.8 1.4			
(C4) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、ICT環境がない家庭の児童〔生徒〕に対して何らかの支援（配慮）を行っていましたか（複数選択可）	小学校	千葉県 全国	26.3 9.8	16.9 5.3	10.2 6.5	50.1 45.8	0.8 4.3	2.0 2.8	27.9 43.0			0.9 1.3			1. PC・タブレット等の端末の貸与 2. モバイルルータ等の通信機器の貸与 3. 学校のPC教室等の開放 4. 紙媒体の教材や資料の配付 5. DVD等の映像資料の配付 6. 1～5以外の支援（配慮）を行った 7. 特に行わなかった
		中学校	千葉県 全国	30.0 13.3	19.6 7.7	15.2 11.3	53.2 47.7	1.7 5.6	2.5 2.8	22.3 37.1			0.8 1.5			

令和3年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計 [学校質問紙]
千葉県一学校（公立）
 ・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

小学校・中学校調査

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	756	363

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（C1_1）、（C1_2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%） 2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）

質問番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢									その他の 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(C5_1) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ①学校（送信側）のPC・タブレット等の端末が不足していた	小学校	千葉県 全国	27.8 22.3	15.6 11.2	15.2 11.3	40.3 53.8						1.1 1.3	55.5 65.1	-9.6	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	25.1 22.3	9.9 10.7	13.5 11.3	50.7 54.1						0.8 1.6	64.2 65.4	-1.2	
(C5_2) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ②学校の周辺機器（Webカメラやスキャナ等）が不足していた	小学校	千葉県 全国	19.4 14.2	11.5 9.2	19.6 17.2	48.5 58.1						0.9 1.3	68.1 75.3	-7.2	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	14.3 13.6	8.8 8.9	17.6 17.2	58.4 58.7						0.8 1.6	76.0 75.9	0.1	
(C5_3) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ③学校の通信環境（無線LAN等）が整っていなかった	小学校	千葉県 全国	31.2 21.4	15.2 11.9	19.4 17.2	33.1 48.2						1.1 1.3	52.5 65.4	-12.9	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	26.4 20.4	15.2 11.5	17.6 17.1	39.9 49.4						0.8 1.6	57.5 66.5	-9.0	
(C5_4) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ④学校のインターネット接続の通信速度が不十分だった	小学校	千葉県 全国	22.8 16.7	19.0 15.4	25.7 22.0	31.3 44.4						1.2 1.4	57.0 66.4	-9.4	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	21.5 16.7	13.5 14.1	24.2 21.4	39.9 46.2						0.8 1.7	64.1 67.6	-3.5	
(C5_5) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑤規則等（セキュリティポリシー等）が整っていなかった	小学校	千葉県 全国	23.4 17.9	21.0 16.2	23.9 24.2	30.4 40.3						1.2 1.4	54.3 64.5	-10.2	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	24.5 18.3	16.5 16.2	21.5 23.4	36.6 40.5						0.8 1.7	58.1 63.9	-5.8	
(C5_6) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑥市町村教育委員会や学校のシステム（センターサーバの容量等）が不十分だった	小学校	千葉県 全国	23.7 18.1	23.3 17.3	24.2 22.9	27.4 40.3						1.5 1.4	51.6 63.2	-11.6	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	19.6 18.0	16.3 16.8	25.9 21.9	37.5 41.6						0.8 1.6	63.4 63.5	-0.1	
(C5_7) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑦教職員のICT活用スキルが不足していた	小学校	千葉県 全国	4.4 5.6	14.9 15.3	51.9 49.6	27.8 28.1						1.1 1.5	79.7 77.7	2.0	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	5.0 5.5	11.0 14.0	47.4 46.9	35.5 32.0						1.1 1.6	82.9 78.9	4.0	
(C5_8) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑧家庭（受信側）のPC・タブレット等の端末（スマートフォンを含む）が不足していた	小学校	千葉県 全国	5.3 4.5	15.2 11.4	41.5 35.3	36.9 47.3						1.1 1.5	78.4 82.6	-4.2	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	5.0 5.5	18.5 14.7	38.6 34.0	36.6 44.0						1.4 1.7	75.2 78.0	-2.8	
(C5_9) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑨家庭の周辺機器（Webカメラ等）が不足していた	小学校	千葉県 全国	7.0 4.8	11.8 8.8	41.1 33.7	39.0 51.3						1.1 1.4	80.1 85.0	-4.9	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	5.5 5.6	13.5 11.0	38.3 33.1	41.9 48.6						0.8 1.7	80.2 81.7	-1.5	
(C5_10) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑩家庭の通信環境（無線LAN等）が整っていなかった	小学校	千葉県 全国	6.0 3.9	17.3 12.4	45.5 41.3	30.3 40.9						0.9 1.5	75.8 82.2	-6.4	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	2.8 4.0	18.2 14.9	46.0 41.3	32.0 38.2						1.1 1.6	78.0 79.5	-1.5	
(C5_11) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑪ICT活用に対して教職員からの協力を得るのが難しかった	小学校	千葉県 全国	29.2 34.6	45.0 42.8	20.6 16.5	4.0 4.7						1.2 1.4	24.6 21.2	3.4	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	30.0 30.5	36.9 42.4	23.4 19.5	8.8 5.9						0.8 1.7	32.2 25.4	6.8	

令和3年度全国学力・学習状況調査 回答結果集計 【学校質問紙】 千葉県一学校（公立）														小学校・中学校調査		
・以下の集計値は、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。																
		小学校数		中学校数												
千葉県（公立）		756		363												
※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。 ※質問番号（3）～（5）、（C1_1）、（C1_2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。																
各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%） 2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）																
質問番号	質問事項	校種	千葉県 全国	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
(C5-12) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑫ ICT活用に対して保護者からの支援を得るのが難しかった	小学校	千葉県 全国	19.6 22.2	45.5 41.9	27.5 26.3	6.3 8.3						1.1 1.3	33.8 34.6	-0.8	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	25.6 23.3	43.3 44.2	21.8 23.1	8.5 7.7						0.8 1.7	30.3 30.8	-0.5	
(C5-13) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑬ ICT活用に対して教育委員会が積極的ではなかった	小学校	千葉県 全国	39.3 38.9	42.3 38.3	13.1 16.1	4.4 5.3						0.9 1.3	17.5 21.4	-3.9	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	38.6 38.3	38.0 36.9	16.3 16.8	6.1 6.5						1.1 1.6	22.4 23.3	-0.9	
(C5-14) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑭ ICT活用の必要性を校長として十分に感じていなかった	小学校	千葉県 全国	62.2 60.2	31.1 29.6	3.8 7.0	1.7 1.8						1.2 1.4	5.5 8.8	-3.3	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	64.7 62.1	27.5 28.5	4.7 6.0	1.9 1.8						1.1 1.6	6.6 7.8	-1.2	
(C5-15) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑮ オンラインでの配信やWeb上の学習のための教材が不足していた	小学校	千葉県 全国	10.7 9.0	20.2 16.6	37.8 38.1	30.3 35.0						0.9 1.3	68.1 73.1	-5.0	1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる
		中学校	千葉県 全国	7.4 9.1	16.0 15.7	39.9 37.3	35.8 36.2						0.8 1.6	75.7 73.5	2.2	
(C6) 小	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間が終了した以降に当該休業への対応としてどのようなことを行いましたか（複数選択可）	小学校	千葉県	96.2	85.2	93.5	36.9	55.8	19.6	38.4	81.1	93.4	0.9	1. 児童〔生徒〕の心身の状況のチェック 2. 学習内容の定着が不十分である児童〔生徒〕の把握 3. 児童〔生徒〕の学習状況及び成果の確認 4. 学習内容の定着が不十分である児童〔生徒〕を対象とした補習（放課後や休み時間）の実施 5. 時間割編成の工夫（1コマを40分としたうえで1日のコマ数を増やすなど） 6. 土曜日の活用 7. 次年度以降を見越した教育課程編成 8. 授業における学習活動の重点化 9. 長期休業期間の短縮 10. 学校行事の見直し 11. 追加的な人材（非常勤の者を含む）の配置 12. 1～11以外の対応を行った 13. 特に行っていない		
全国			96.5	82.9	91.2	46.4	40.4	15.6	35.4	77.6	91.2	1.2				
(C6) 中		中学校	千葉県	96.4	68.3	87.6	32.5	62.5	20.1	32.5	66.9	94.5	0.8			
			全国	96.5	71.1	88.8	38.8	45.8	17.6	34.2	66.2	90.5	1.4			
(C7) 小	新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在（令和3年5月）とを比較して、どのような変化があったと思いますか 児童〔生徒〕同士の関係	小学校	千葉県 全国	2.0 1.4	6.9 6.6	76.5 78.7	9.8 9.6	0.3 0.4	4.1 2.9				0.5 0.4	8.9 8.0	0.9	1. よくなった 2. どちらかといえば、よくなった 3. 変わらない 4. どちらかといえば、悪くなった 5. 悪くなった 6. 分からない
(C7) 中		中学校	千葉県 全国	1.1 2.0	10.7 9.0	75.8 76.9	8.3 8.1	0.6 0.5	3.3 3.2				0.3 0.4	11.8 11.0	0.8	
			千葉県 全国	2.4 1.8	7.9 7.8	80.6 82.8	5.4 4.7	0.1 0.1	3.0 2.5				0.5 0.4	10.3 9.6	0.7	
(C8) 中		中学校	千葉県 全国	1.7 2.4	14.0 11.4	78.8 80.1	2.5 3.4	0.6 0.2	2.2 2.2				0.3 0.3	15.7 13.8	1.9	
(C9) 小	新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在（令和3年5月）とを比較して、どのような変化があったと思いますか 教員と保護者の関係	小学校	千葉県 全国	1.9 1.5	8.2 8.1	72.6 73.6	11.0 11.2	0.5 0.5	5.3 4.7				0.5 0.5	10.1 9.6	0.5	1. よくなった 2. どちらかといえば、よくなった 3. 変わらない 4. どちらかといえば、悪くなった 5. 悪くなった 6. 分からない
		(C9) 中	中学校	千葉県 全国	1.4 1.7	10.2 8.5	76.6 77.6	5.2 7.2	0.6 0.4	5.5 4.2				0.6 0.4	11.6 10.2	
千葉県 全国				44.4 41.3	29.9 36.2	15.5 15.5	8.5 6.2	1.1 0.5					0.7 0.4	74.3 77.5	-3.2	
(C10) 中		中学校	千葉県 全国	47.1 44.8	33.9 35.8	11.0 14.3	6.1 4.3	1.4 0.5					0.6 0.3	81.0 80.6	0.4	
(C11) 小	新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在（令和3年5月）とを比較して、児童〔生徒〕からの相談内容に変化があったのはどれですか（複数選択）	小学校	千葉県 全国	49.9 46.2	37.2 39.9	32.7 29.1	20.2 19.6	5.7 5.3	29.2 32.8				0.7 0.4	1. 学校における不安・ストレスに関する相談が増えた 2. 生活リズムの乱れに関する相談が増えた 3. 友人関係に関する相談が増えた 4. 家庭環境に関する相談が増えた 5. その他の内容に関する相談が増えた 6. 特になし		
		(C11) 中	中学校	千葉県 全国	61.2 55.5	47.7 47.0	34.4 32.1	35.3 29.3	10.5 8.3	16.8 24.0						
千葉県 全国																

研究報告

第 4 4 8 号

令和 4 年 2 月 4 日

編集発行者 千葉県総合教育センター所長

酒井 昌史

発行所 千葉県総合教育センター

〒261-0014 千葉市美浜区若葉 2 丁目 1 3 番

TEL 0 4 3 (2 7 6) 1 1 6 6

FAX 0 4 3 (2 7 2) 5 1 2 8
